

4. 質問紙調査

【注釈：掲載データについて】

H23北海道：全ての小中学校（札幌市を除く）※国の調査問題を活用し北海道独自に調査を実施

H22北海道：抽出校と希望利用校の合算（札幌市を除く）

H24全国：抽出

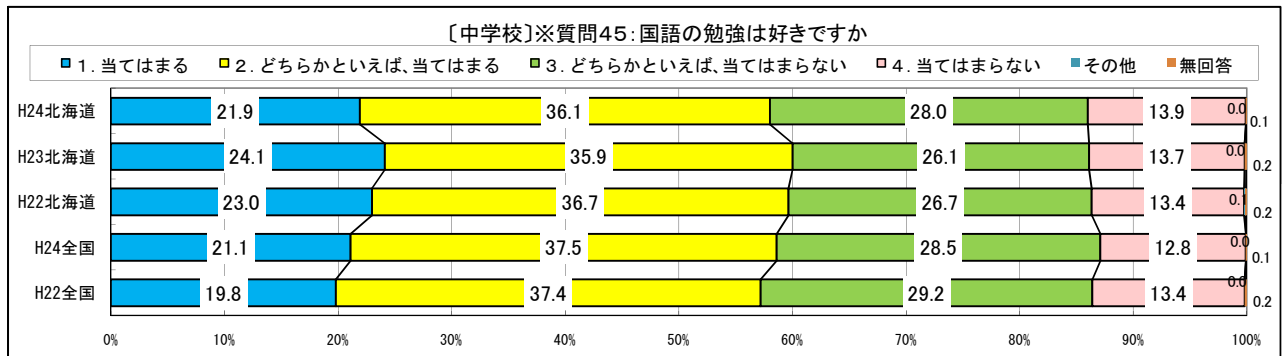
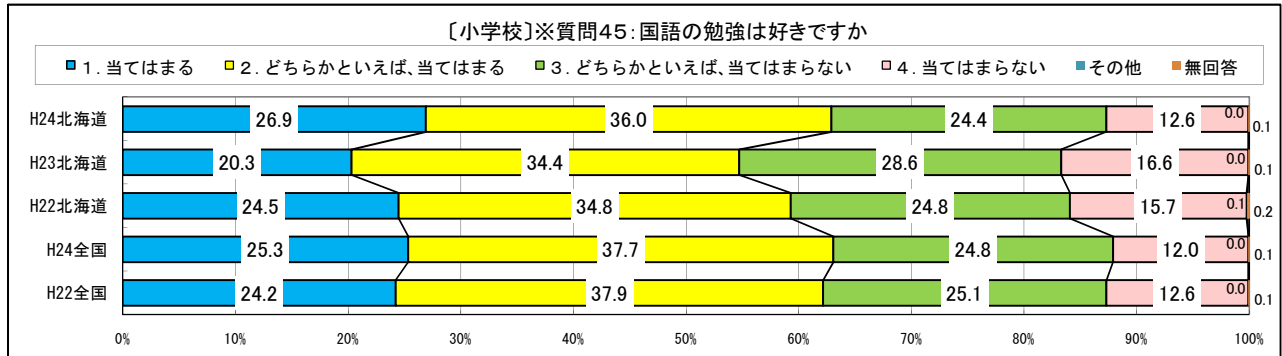
H22全国：抽出

※H23は全国データなし

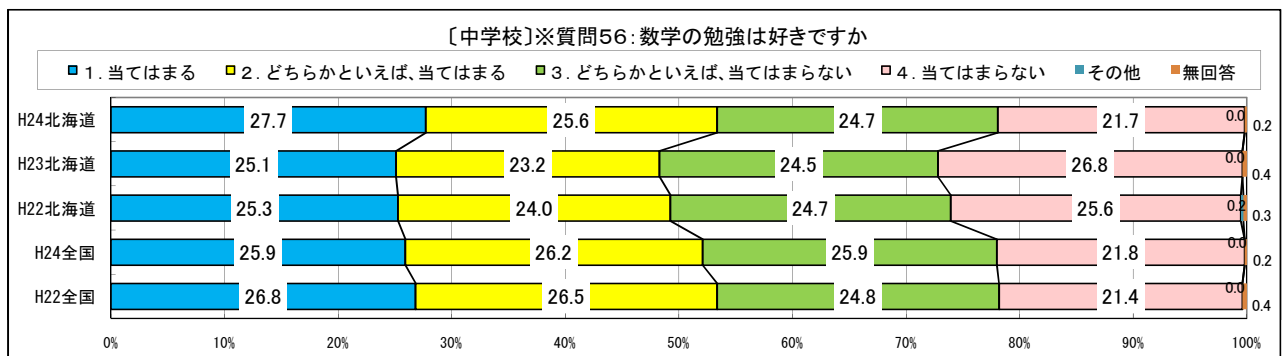
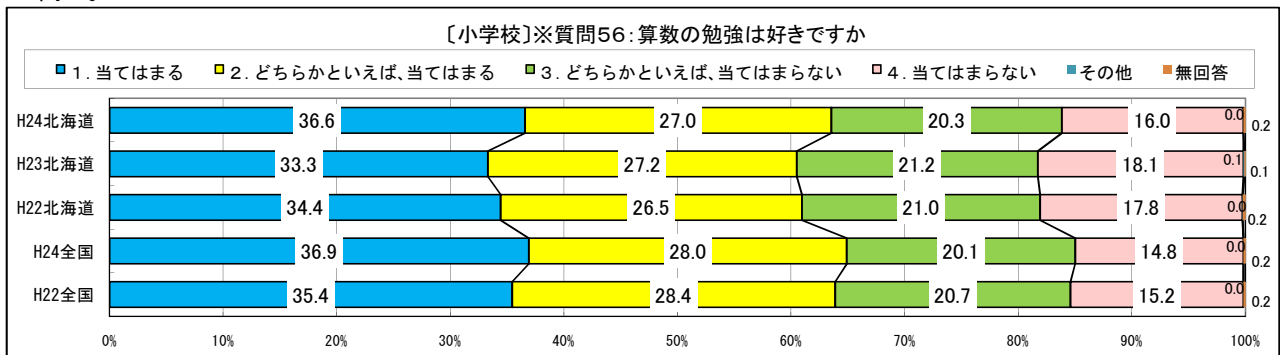
○ 児童生徒質問紙

<学習に対する関心・意欲・態度>

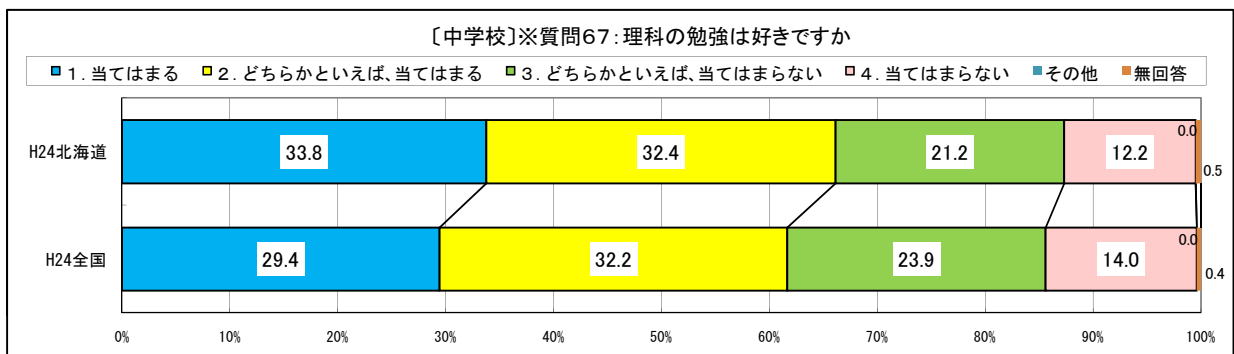
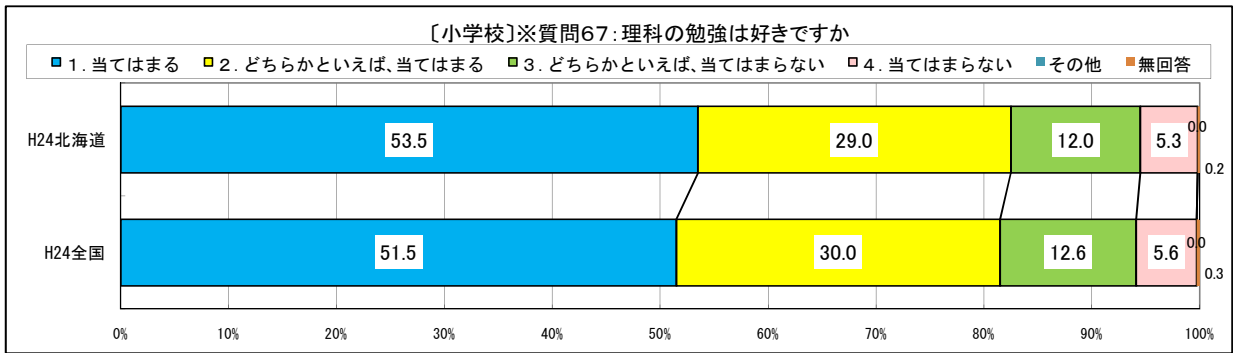
○ 国語の勉強は好きと回答している児童生徒の割合は、昨年度と比べて、小学校調査において、8.2ポイント高く、中学校調査において、2.0ポイント低い。全国と比べて、小学校調査において、0.1ポイント低く、中学校調査において0.6ポイント低い。



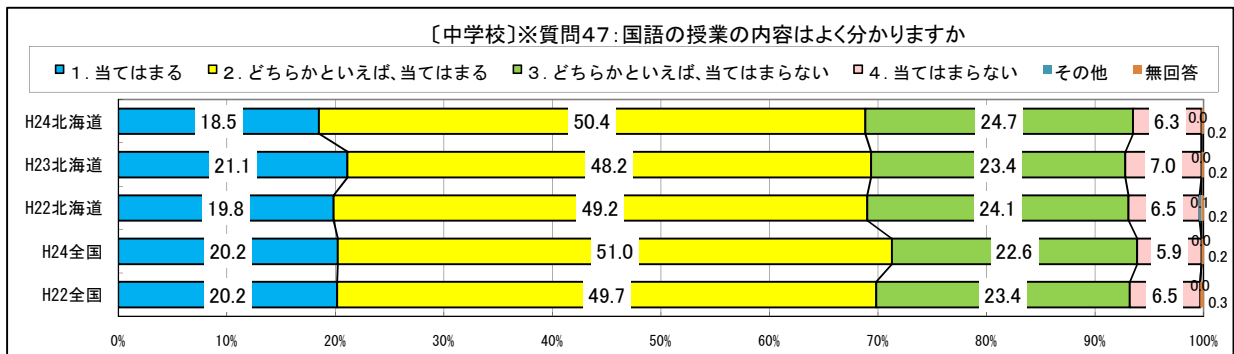
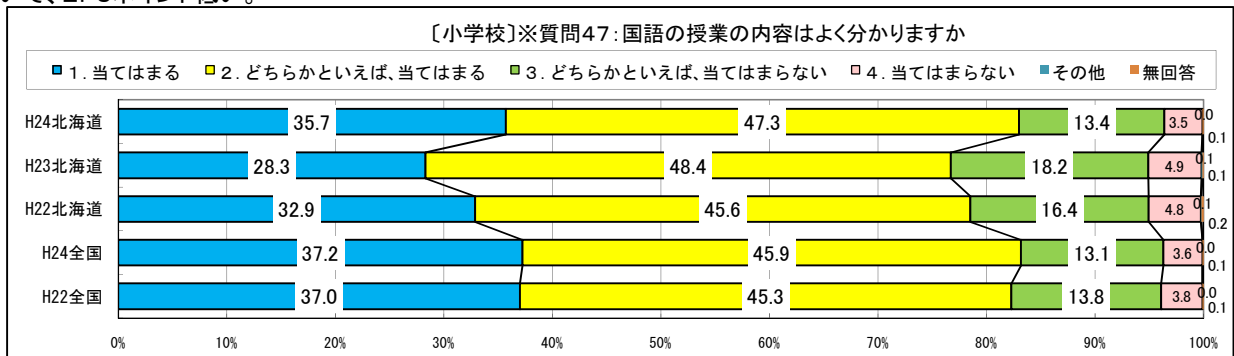
○ 算数・数学の勉強は好きと回答している児童生徒の割合は、昨年度と比べて、小学校調査において、3.1ポイント高く、中学校調査において、5.0ポイント高い。全国と比べて、小学校調査において、1.3ポイント低く、中学校調査において、1.2ポイント高い。



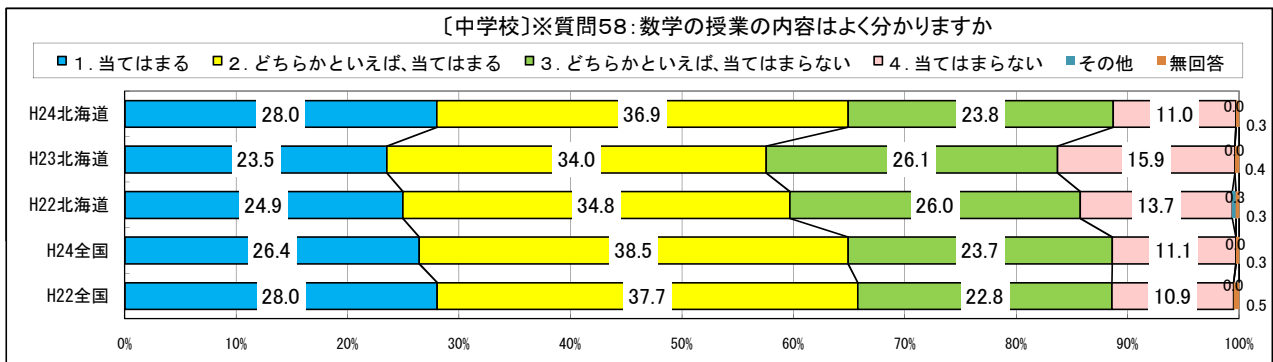
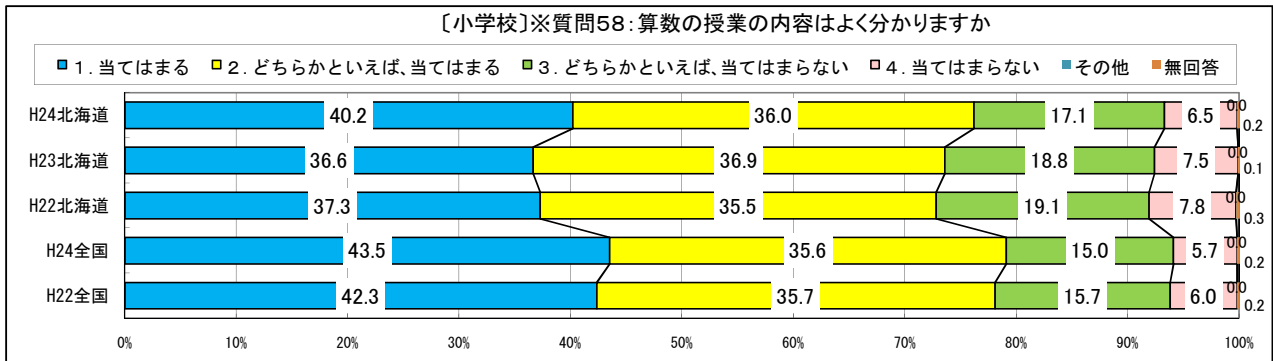
○ 理科の勉強は好きと回答している児童生徒の割合は、全国と比べて、小学校調査において、1.0ポイント高く、中学校調査において、4.6ポイント高い。



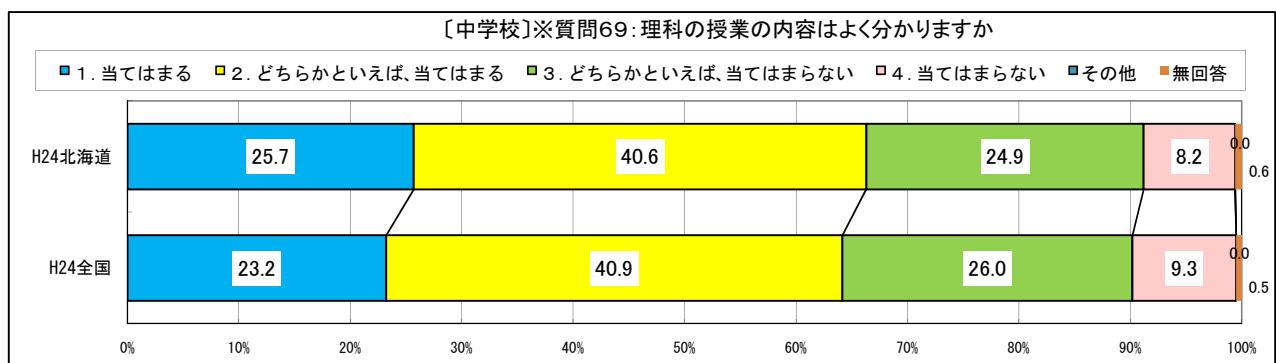
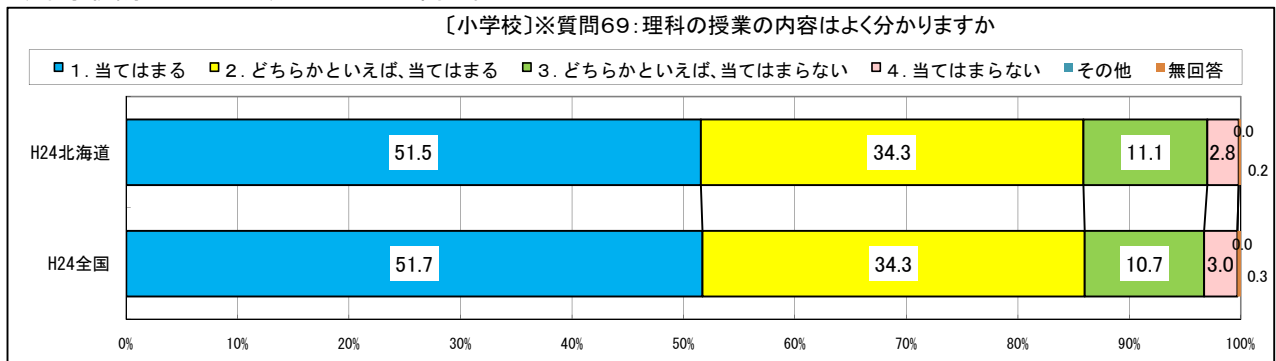
○ 国語の授業の内容はよく分かると回答している児童生徒の割合は、昨年度と比べて、小学校調査において、6.3ポイント高く、中学校調査において、0.4ポイント低い。全国と比べて、小学校調査において、0.1ポイント低く、中学校調査において、2.3ポイント低い。



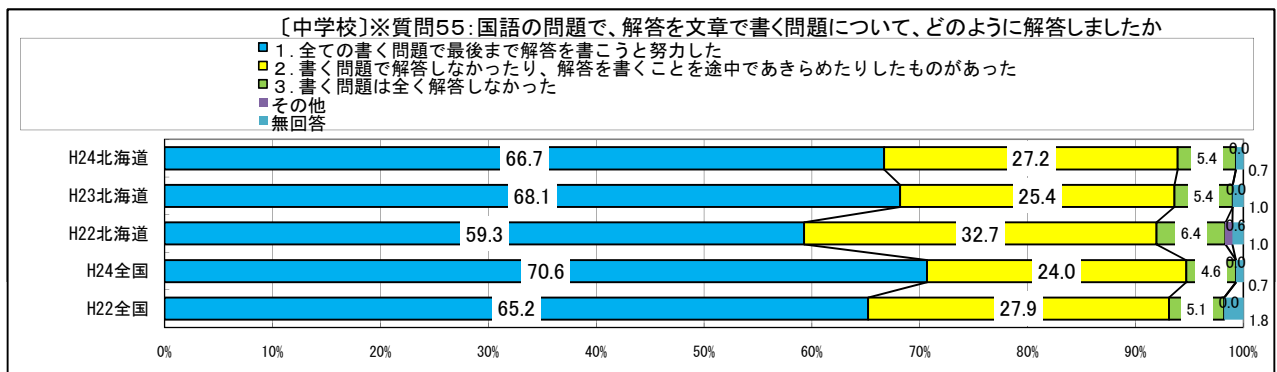
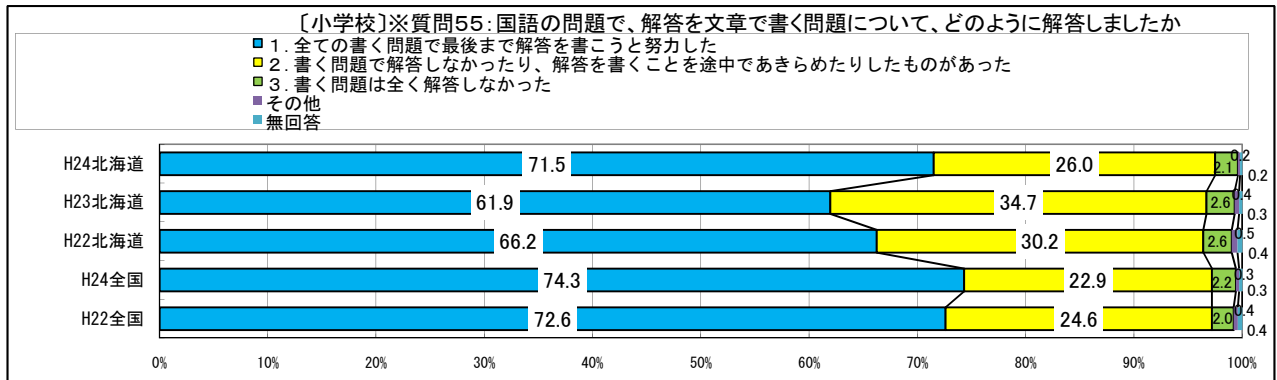
- 算数・数学の授業の内容はよく分かると回答している児童生徒の割合は、昨年度と比較して、小学校調査において、2.7ポイント高く、中学校調査において、7.4ポイント高い。全国と比べて、小学校調査において、2.9ポイント低く、中学校調査においては、全国と同じである。



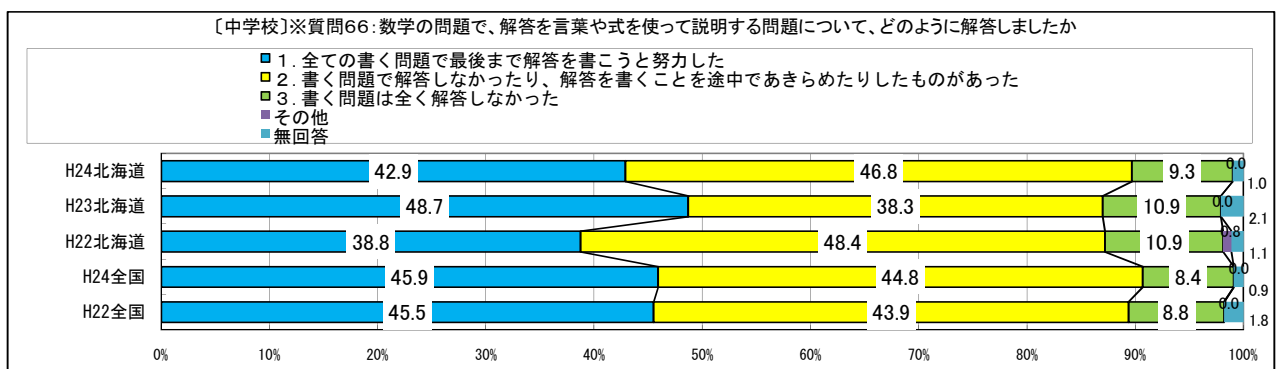
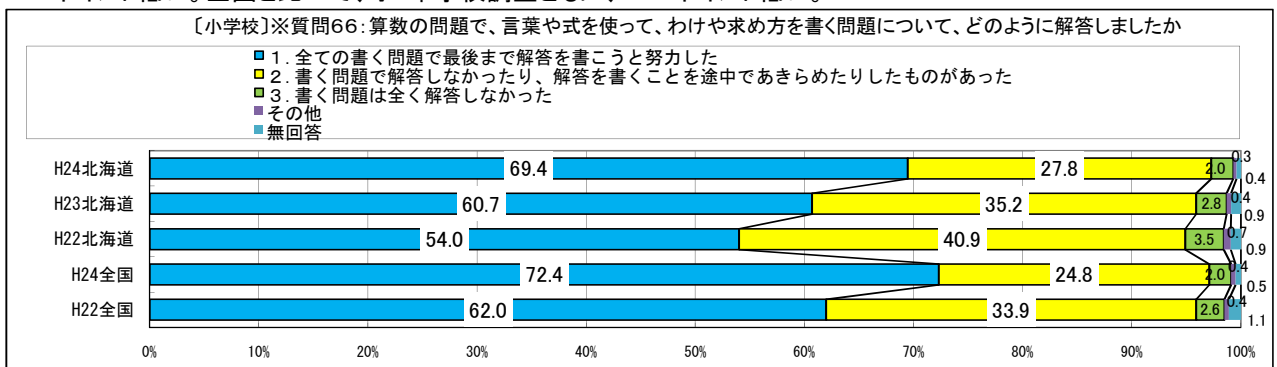
- 理科の授業の内容はよく分かると回答している児童生徒の割合は、全国と比べて、小学校調査において、0.2ポイント低く、中学校調査において、2.2ポイント高い。



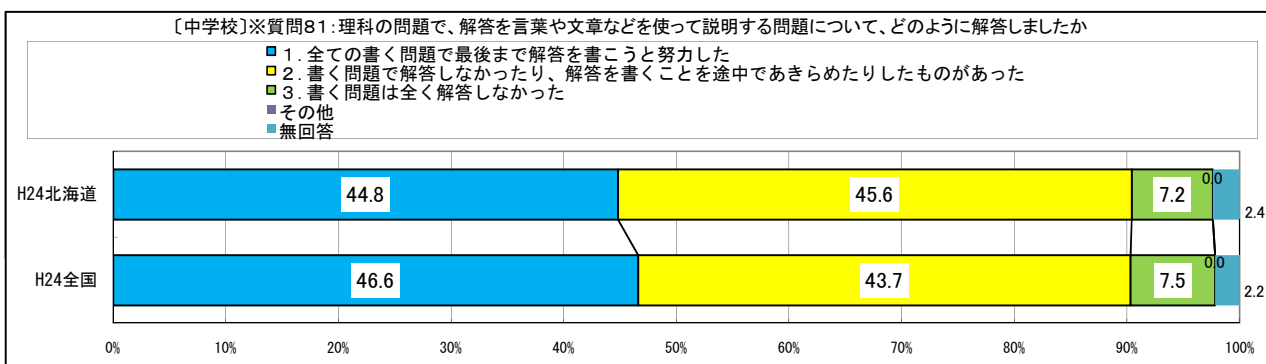
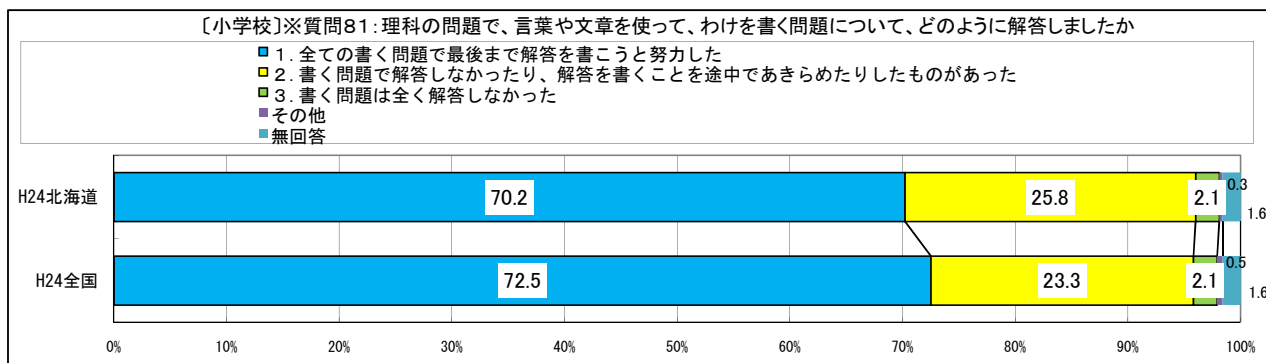
○ 解答を文章で書く国語の問題について、最後まで解答を書こうと努力した児童生徒の割合は、昨年度と比べて、小学校調査において、9.6ポイント高く、中学校調査において、1.4ポイント低い。全国と比べて、小学校調査において、2.8ポイント低く、中学校調査において、3.9ポイント低い。



○ 言葉や式を使って、わけや求め方を書く算数や解答を言葉や式を使って説明する数学の問題について、最後まで解答を書こうと努力した児童生徒の割合は、昨年度と比べて、小学校調査において、8.7ポイント高く、中学校調査において、5.8ポイント低い。全国と比べて、小・中学校調査ともに、3.0ポイント低い。

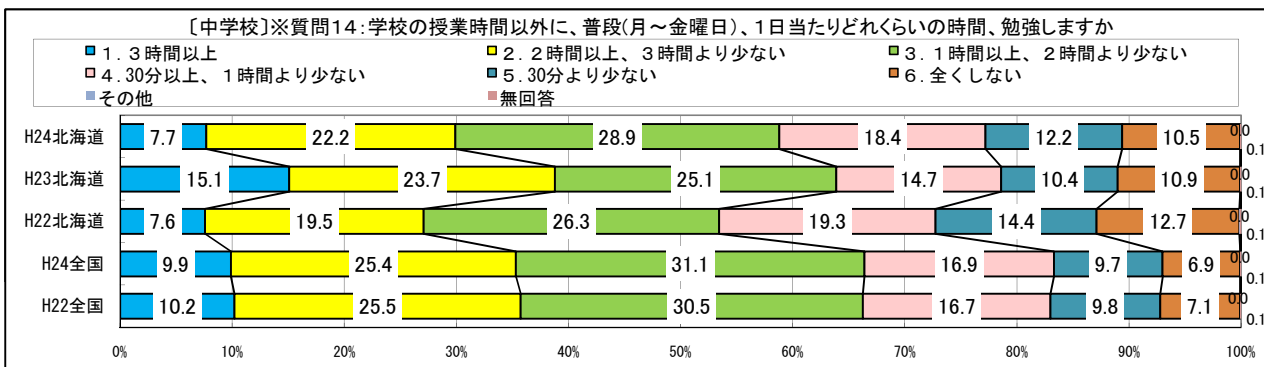
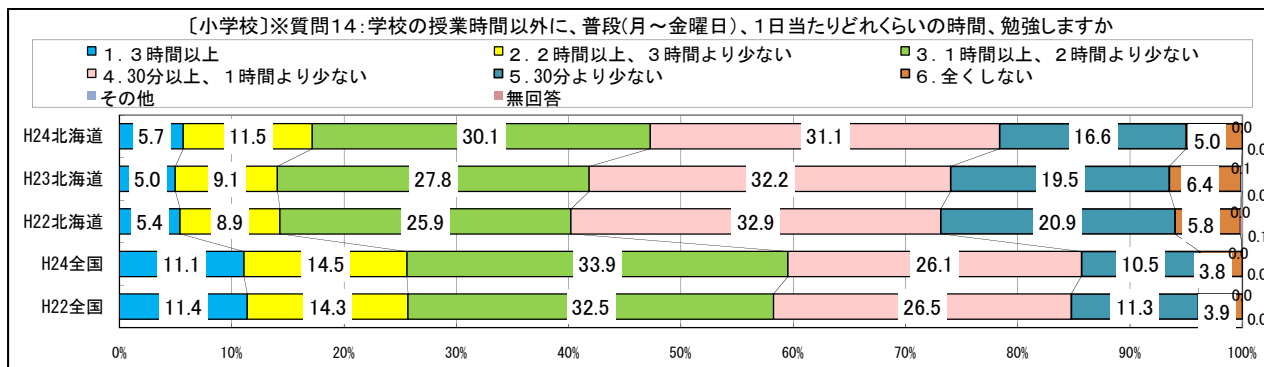


○ 言葉や文章を使って、わけや説明を書く理科の問題について、最後まで解答を書こうと努力した児童生徒の割合は、全国と比べて、小学校調査において、2.3ポイント低く、中学校調査において、1.8ポイント低い。

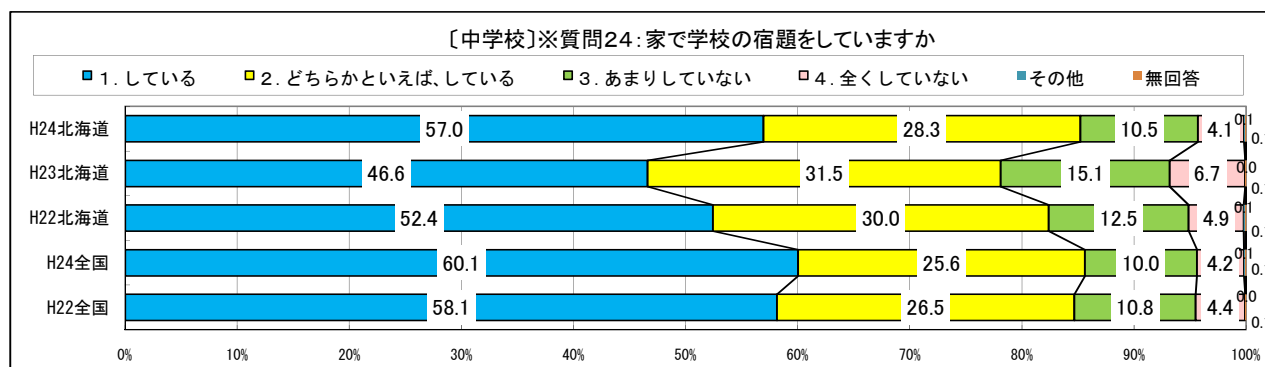
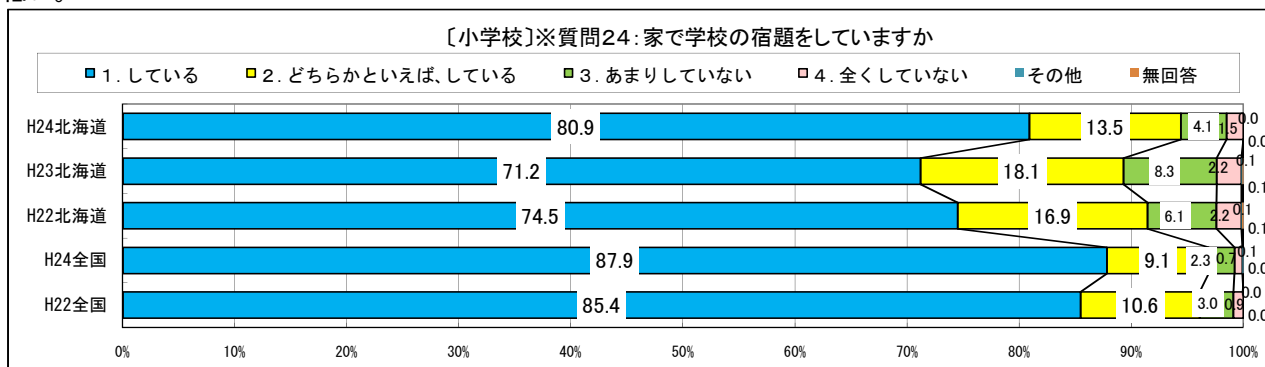


<学習時間等>

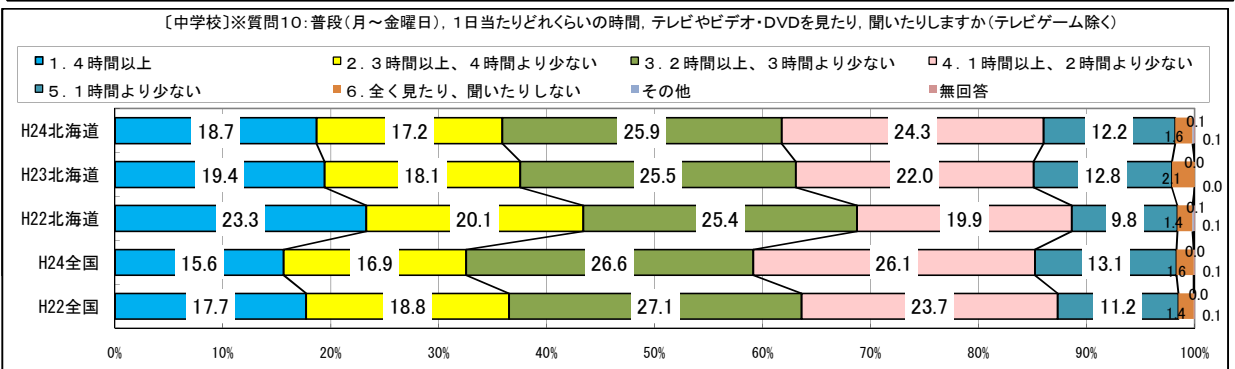
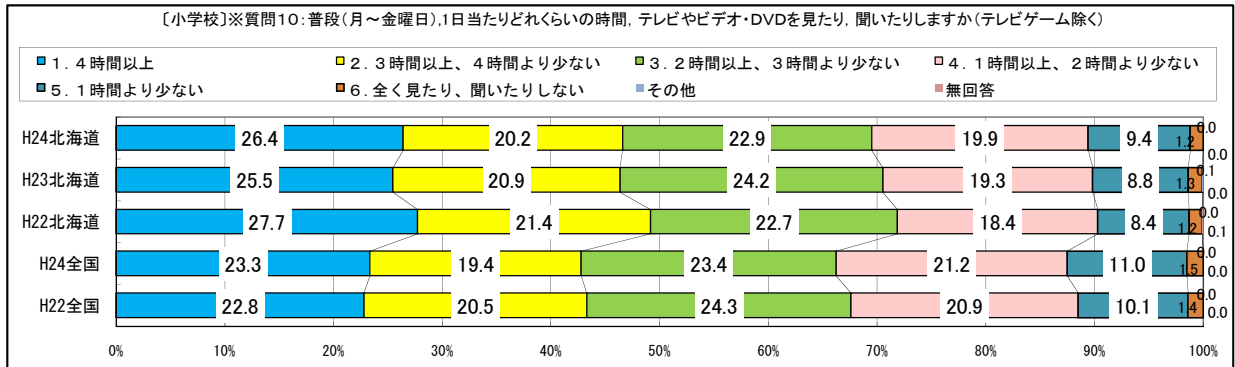
- 普段(月～金曜日)、1日あたり、1時間以上勉強をする児童生徒の割合は、昨年度と比べて、小学校調査において、5.4ポイント高く、中学校調査において、5.1ポイント低い。全国と比べて、小学校調査において、12.2ポイント低く、中学校調査において、7.6ポイント低い。



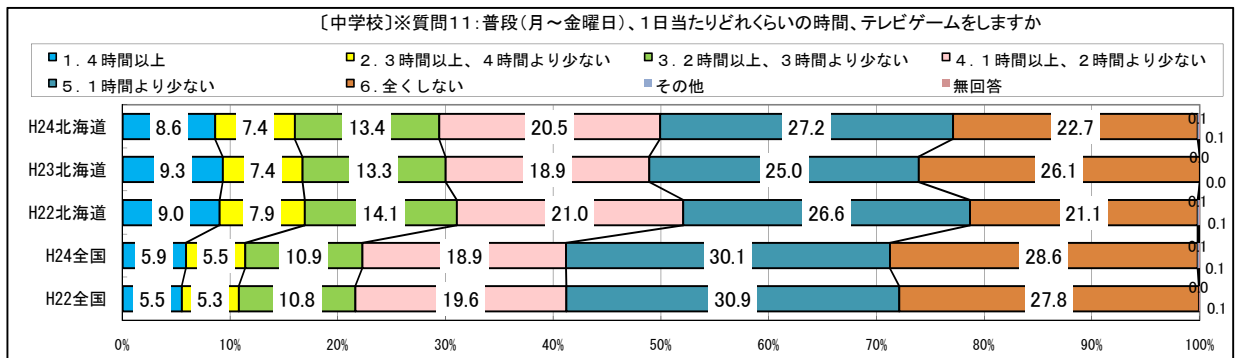
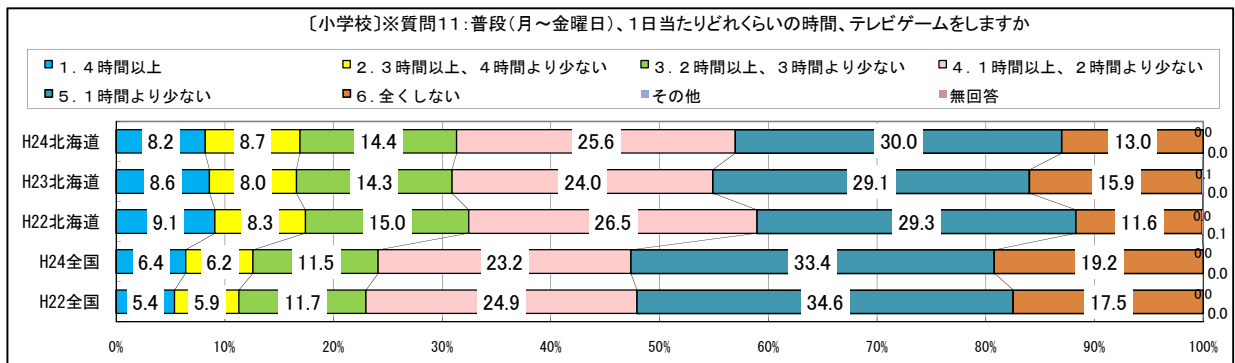
- 家で学校の宿題をしている児童生徒の割合は、昨年度と比べて、小学校調査において、5.1ポイント高く、中学校調査において、7.2ポイント高い。全国と比べて、小学校調査において、2.6ポイント低く、中学校調査において、0.4ポイント低い。



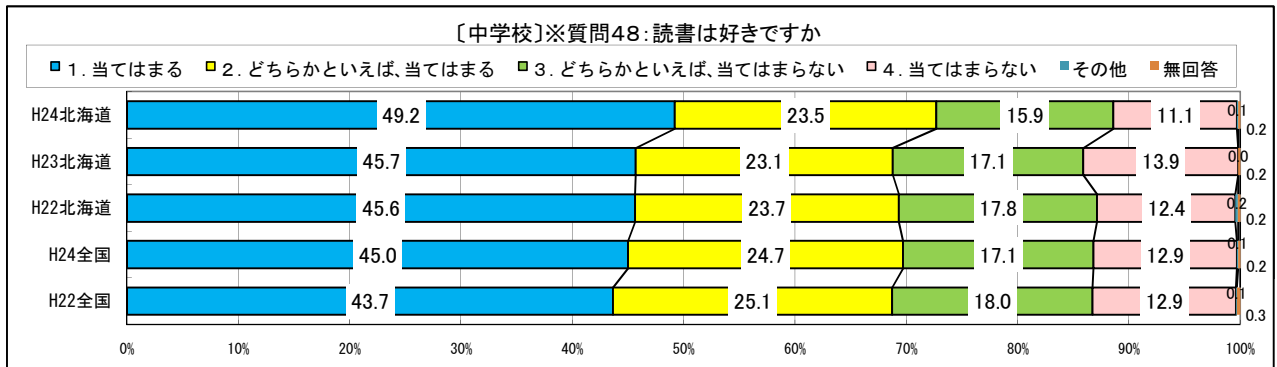
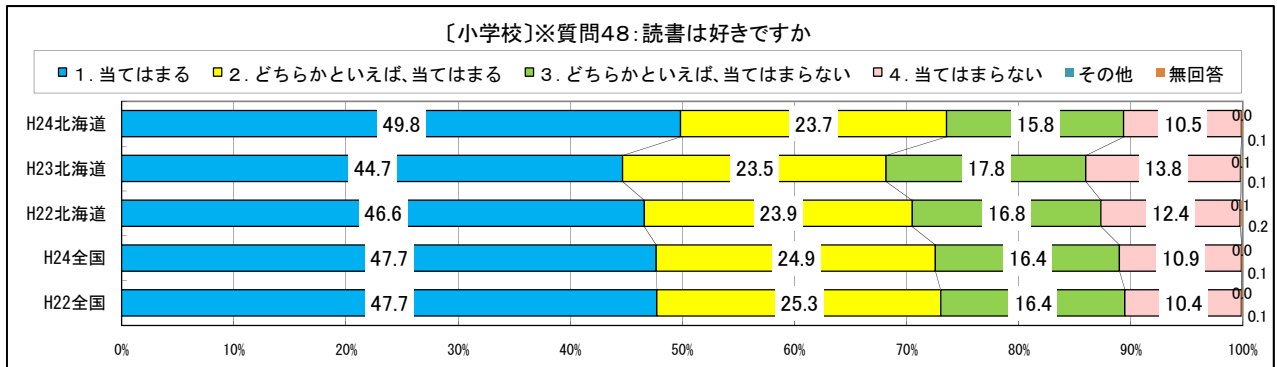
○ 普段(月～金曜日)、1日当たり3時間以上、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたり(テレビゲーム除く)する児童生徒の割合は、昨年度と比べて、小学校調査において、0.2ポイント高く、中学校調査において、1.6ポイント低い。全国と比べて、小学校調査において3.9ポイント高く、中学校調査において、3.4ポイント高い。



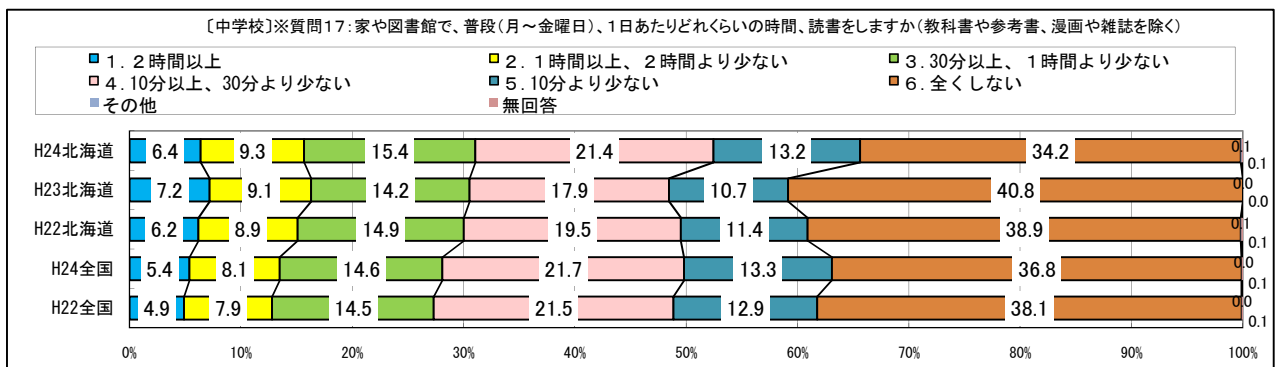
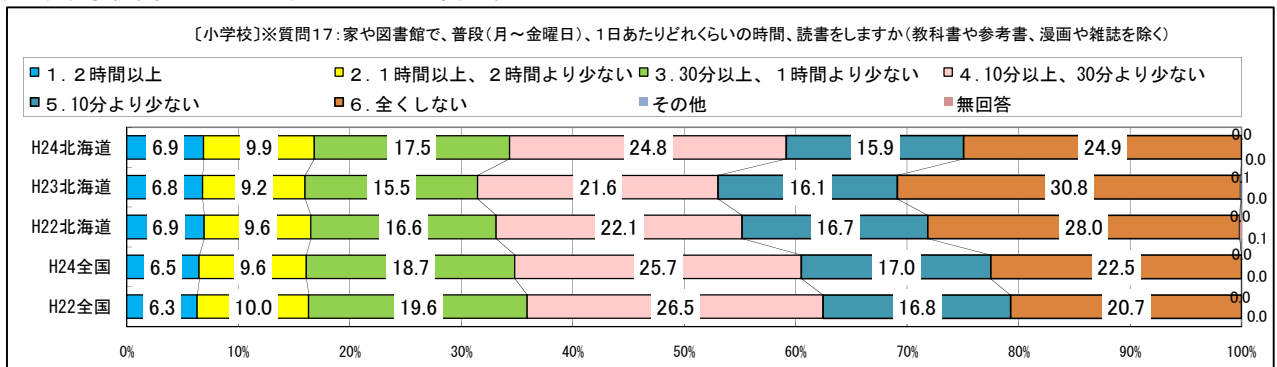
○ 普段(月～金曜日)、1日当たり3時間以上、テレビゲームをする児童生徒の割合は、昨年度と比べて、小学校調査において、0.3ポイント高く、中学校調査において、0.7ポイント低い。全国と比べて、小学校調査において4.3ポイント高く、中学校調査において、4.6ポイント高い。



○ 読書が好きと回答している児童生徒の割合は、昨年度と比べて、小学校調査において、5.3ポイント高く、中学校調査において、3.9ポイント高い。全国と比べて、小学校調査において、0.9ポイント高く、中学校調査において、3.0ポイント高い。

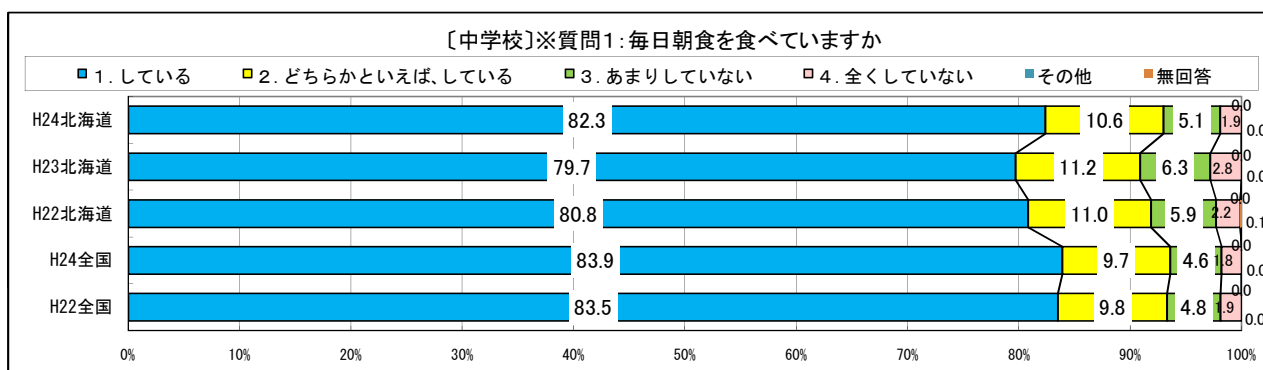
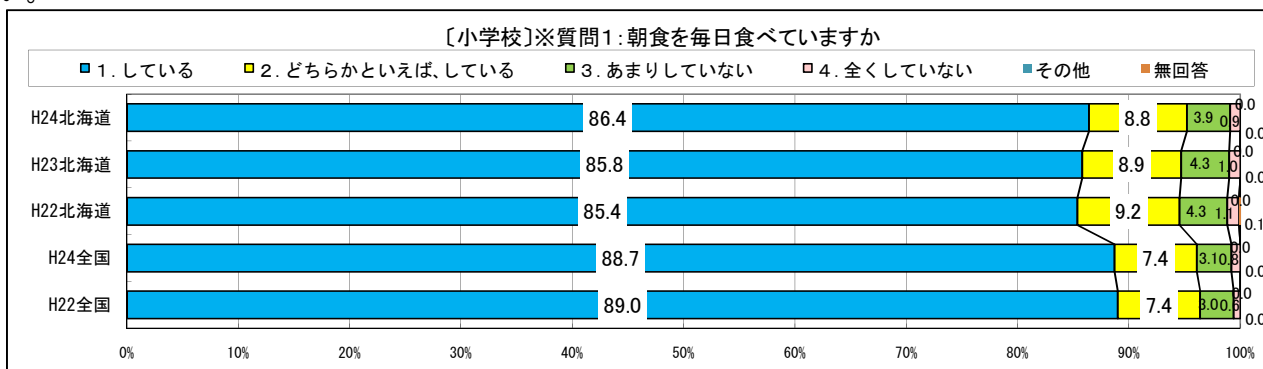


○ 普段(月～金曜日)、家や図書館で1日あたり30分以上読書をする児童生徒の割合は、昨年度と比べて、小学校調査において、2.8ポイント高く、中学校調査において、0.6ポイント高い。全国と比べて、小学校調査において、0.5ポイント低く、中学校調査において、3.0ポイント高い。

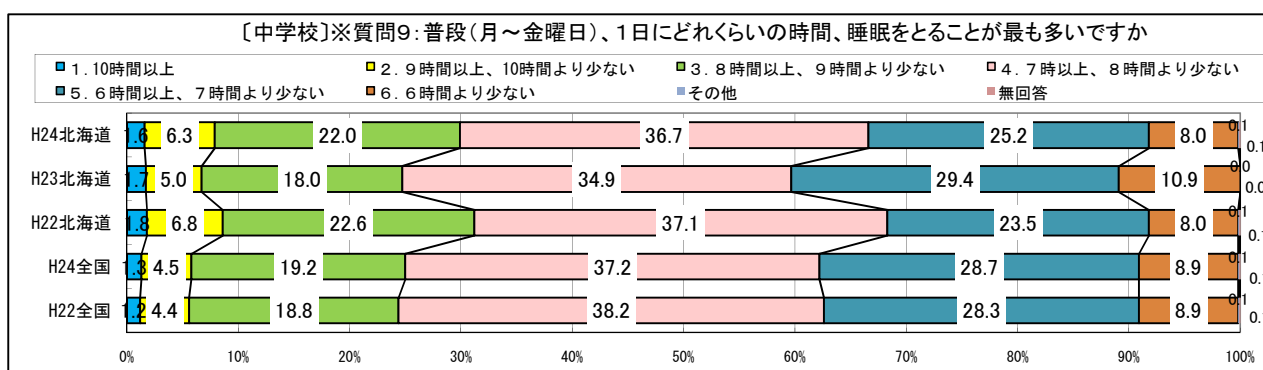
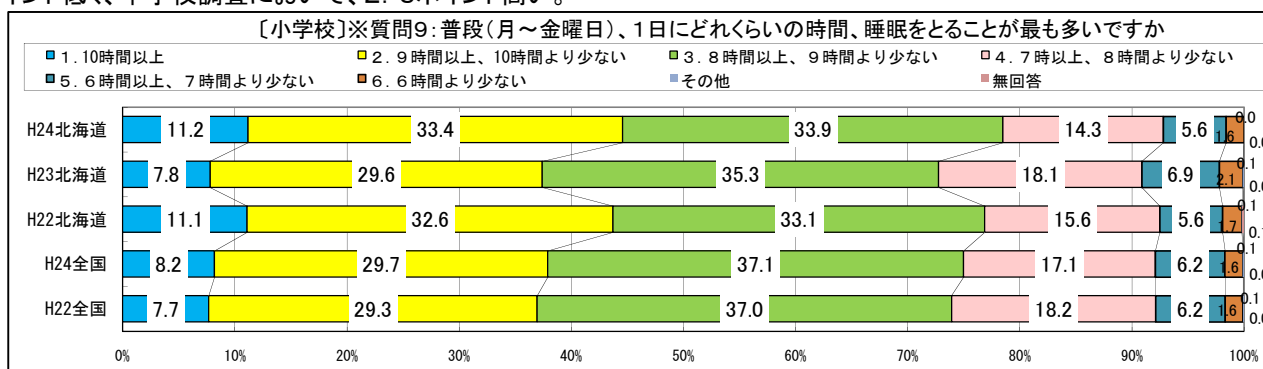


<基本的生活習慣>

○ 毎日朝食を食べている児童生徒の割合は、昨年度と比べて、小学校調査において、0.5ポイント高く、中学校調査において、2.0ポイント高い。全国と比べて、小学校調査において、0.9ポイント低く、中学校調査において、0.7ポイント低い。

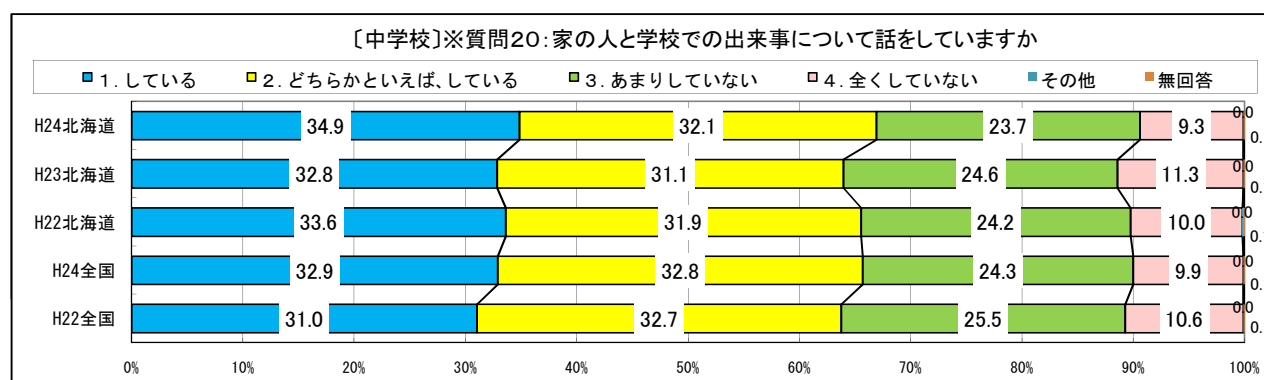
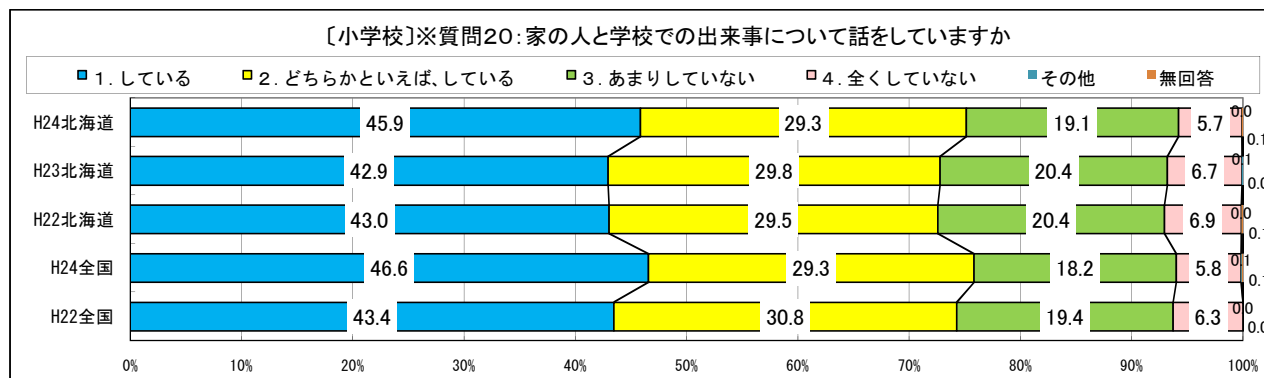


○ 普段(月～金曜日)、1日に7時間以上9時間より少ない範囲で睡眠をとる児童生徒の割合は、昨年度と比べて、小学校調査において、5.2ポイント低く、中学校調査において、5.8ポイント高い。全国と比べて、小学校調査において、6.0ポイント低く、中学校調査において、2.3ポイント高い。



<家庭でのコミュニケーション>

- 家の人と学校での出来事について話をしている児童生徒の割合は、昨年度と比べて、小学校調査において、2.5ポイント高く、中学校調査において、3.1ポイント高い。全国と比べて、小学校調査において、0.7ポイント低く、中学校調査において、1.3ポイント高い。



【注釈：掲載データについて】

H23北海道：全ての小中学校（札幌市を除く）※国の調査問題を活用し北海道独自に調査を実施

H22北海道：抽出校と希望利用校の合算（札幌市を除く）

H24全国：抽出

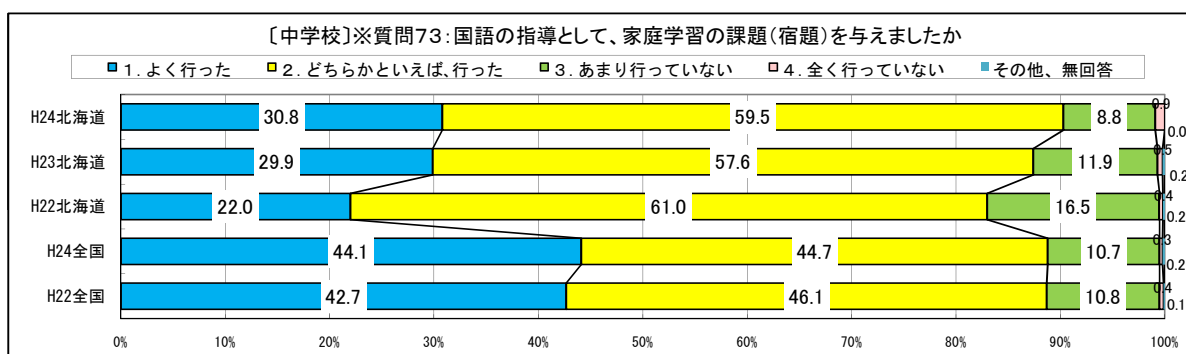
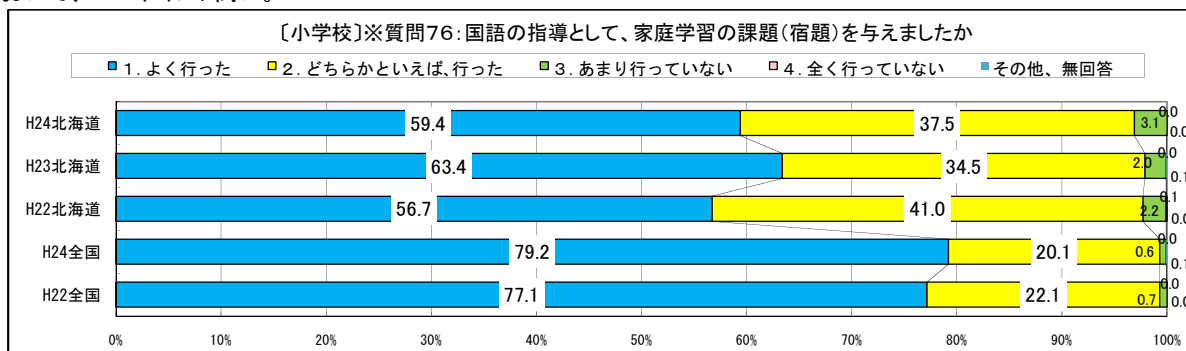
H22全国：抽出

※H23は全国データなし

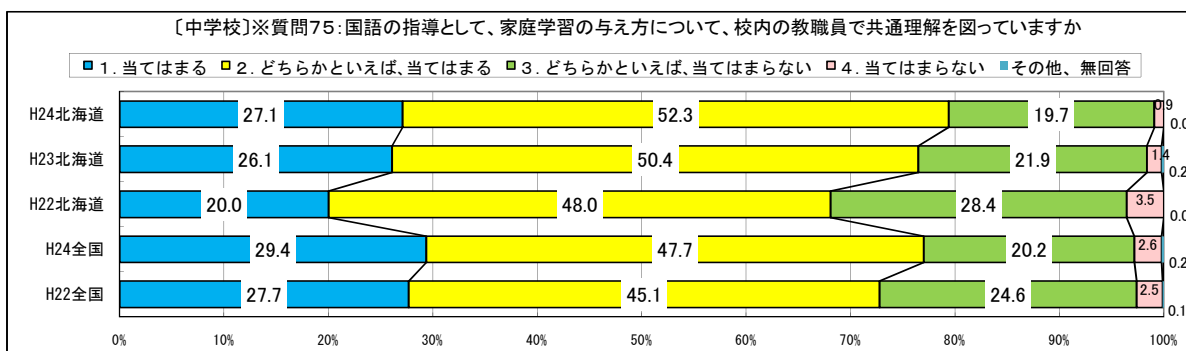
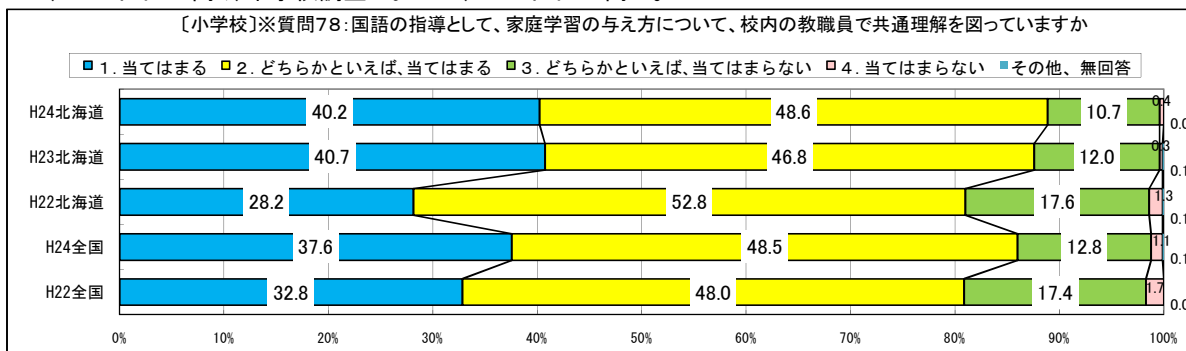
○ 学校質問紙

<家庭学習>

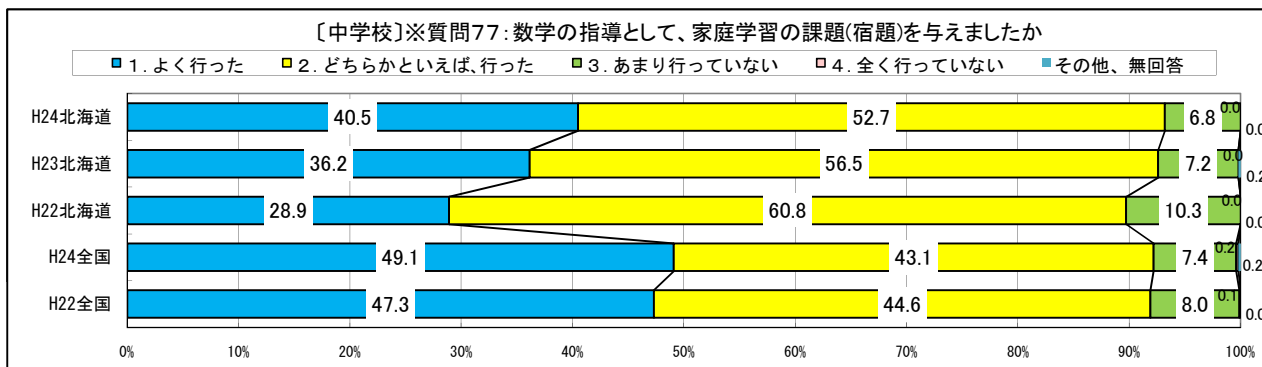
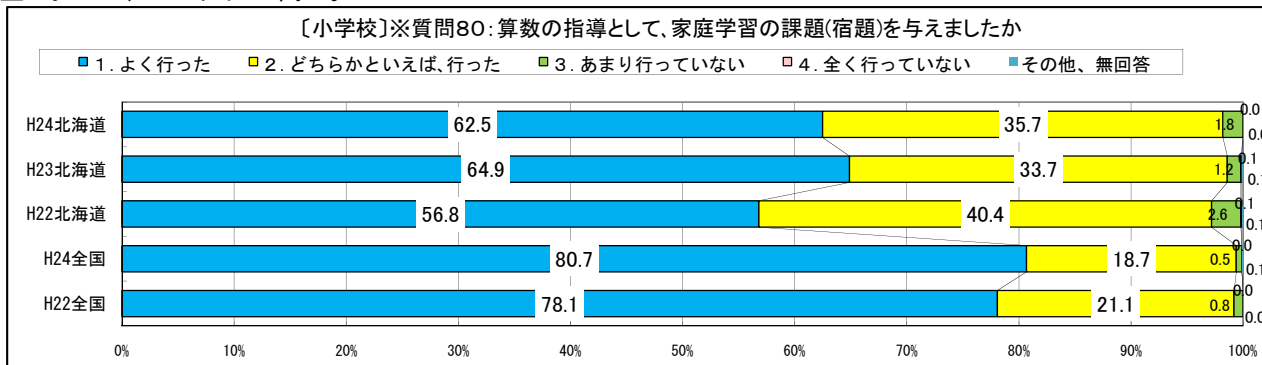
○ 国語の指導として、家庭学習の課題（宿題）を与えた学校の割合は、昨年度と比べて、小学校調査において、1. 0ポイント低く、中学校調査において、2. 8ポイント高い。全国と比べて、小学校調査において、2. 4ポイント低く、中学校調査において、1. 5ポイント高い。



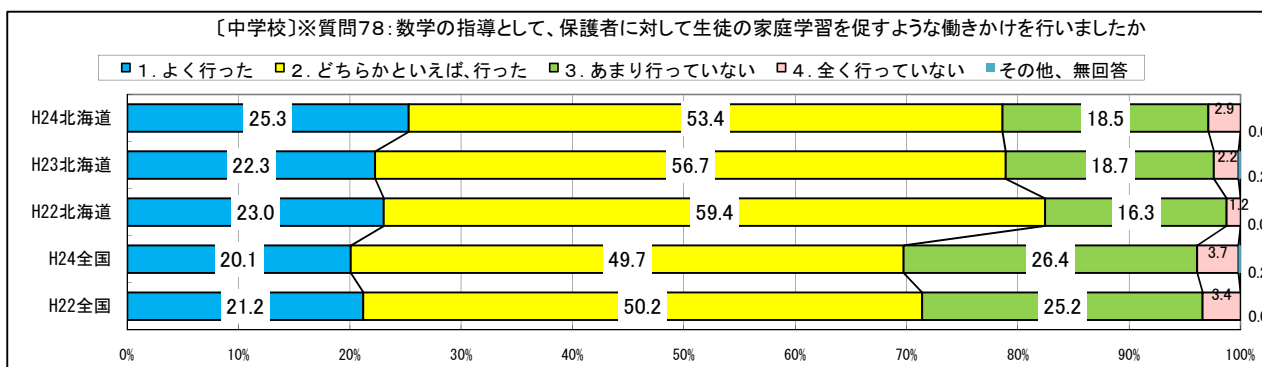
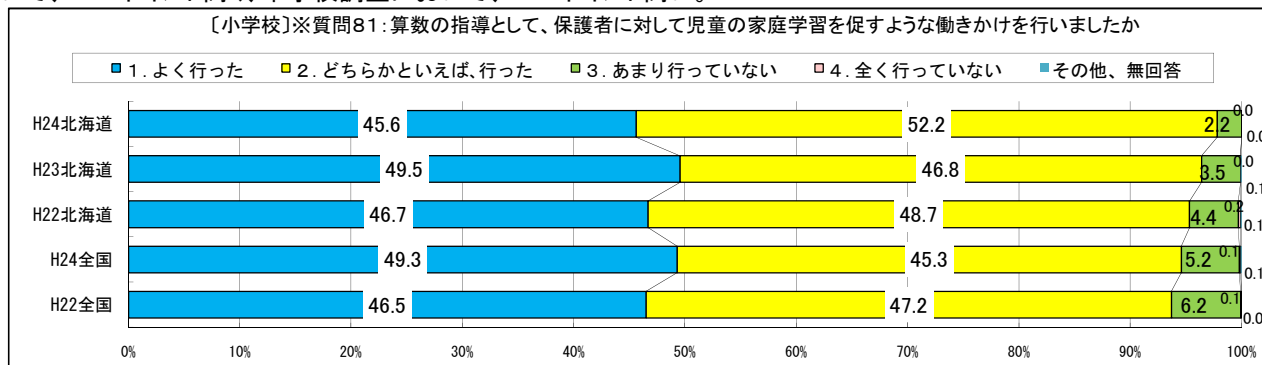
○ 国語の指導として、家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図った学校の割合は、昨年度と比べて、小学校調査において、1. 3ポイント高く、中学校調査において、2. 9ポイント高い。全国と比べて、小学校調査において、2. 7ポイント高く、中学校調査において、2. 3ポイント高い。



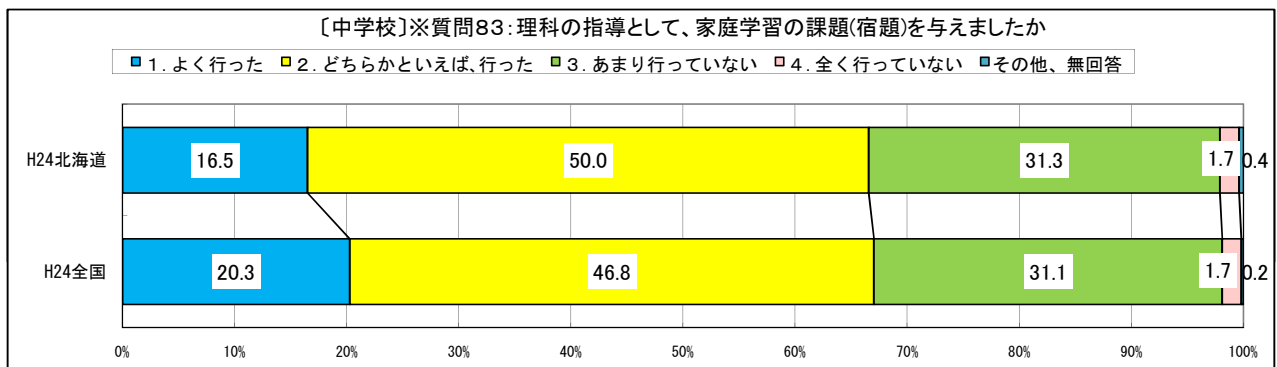
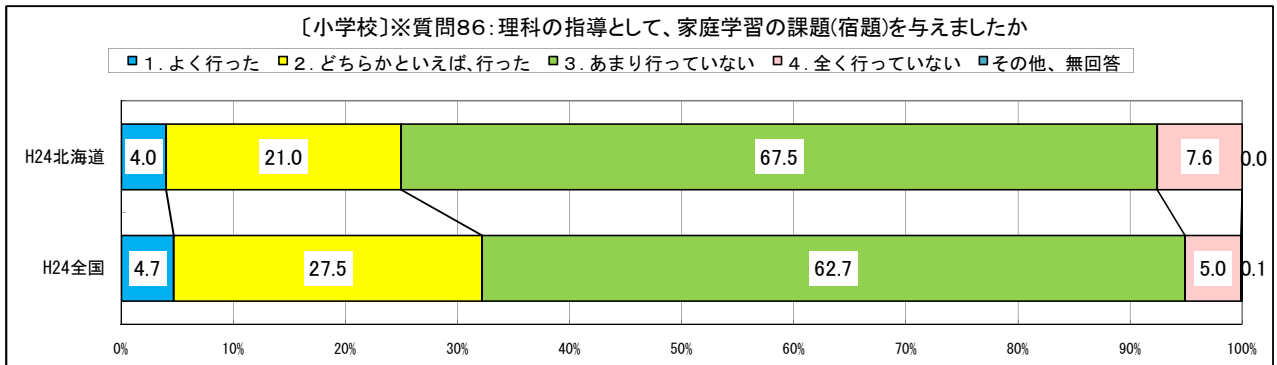
○ 算数・数学の指導として、家庭学習の課題(宿題)を与えた学校の割合は、昨年度と比べて、小学校調査において、0.4ポイント低く、中学校調査において、0.5ポイント高い。全国と比べて、小学校調査において、1.2ポイント低く、中学校調査において、1.0ポイント高い。



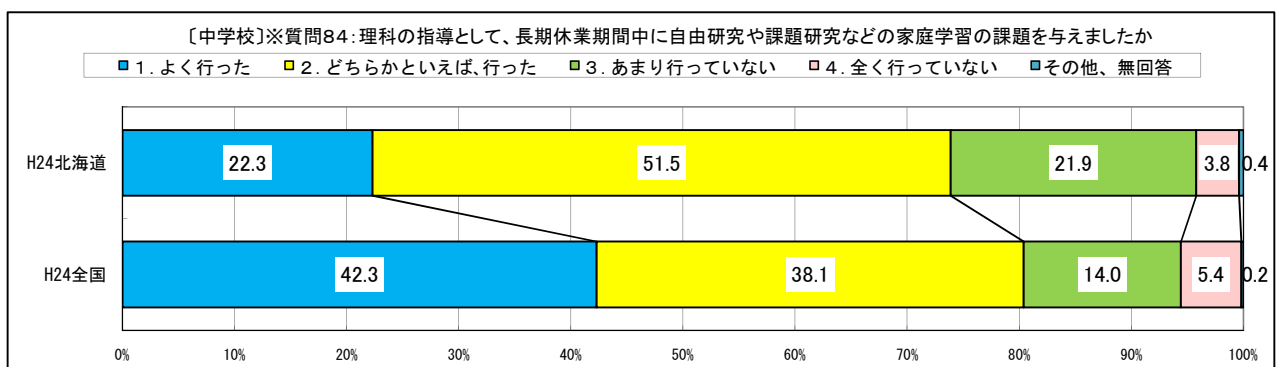
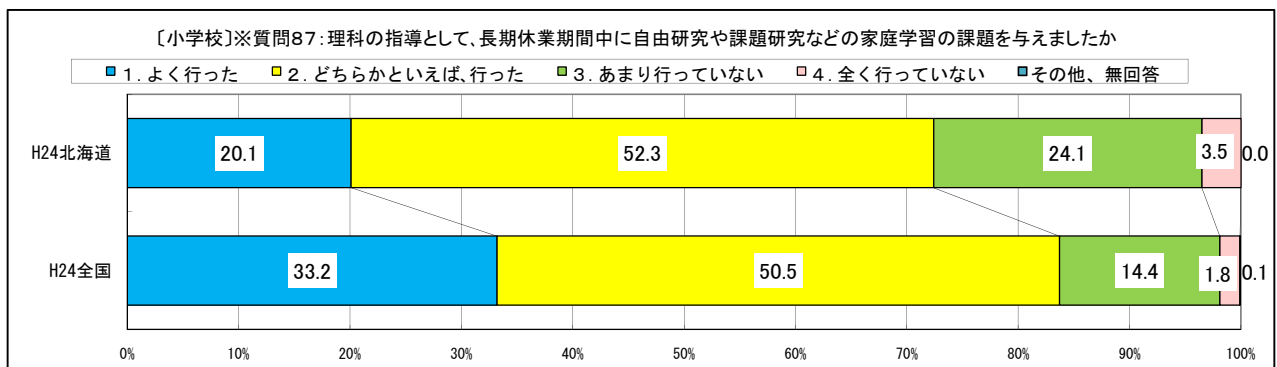
○ 算数・数学の指導として、保護者に対して児童生徒の家庭学習を促すような働きかけを行った学校の割合は、昨年度と比べて、小学校調査において、1.5ポイント高く、中学校調査において、0.3ポイント低い。全国と比べて、小学校調査において、3.2ポイント高く、中学校調査において、8.9ポイント高い。



○ 理科の指導として、家庭学習の課題(宿題)を与えた学校の割合は、全国と比べて、小学校調査において、7. 2ポイント低く、中学校調査において、0. 6ポイント低い。

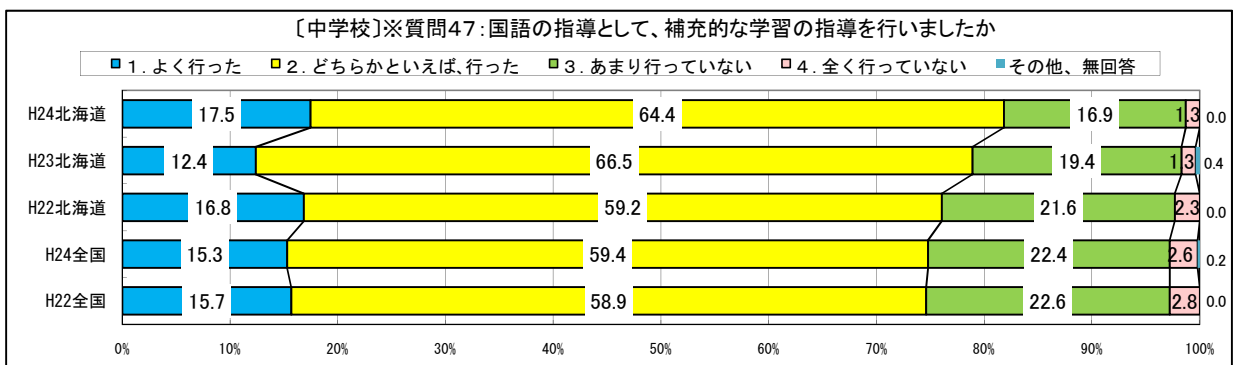
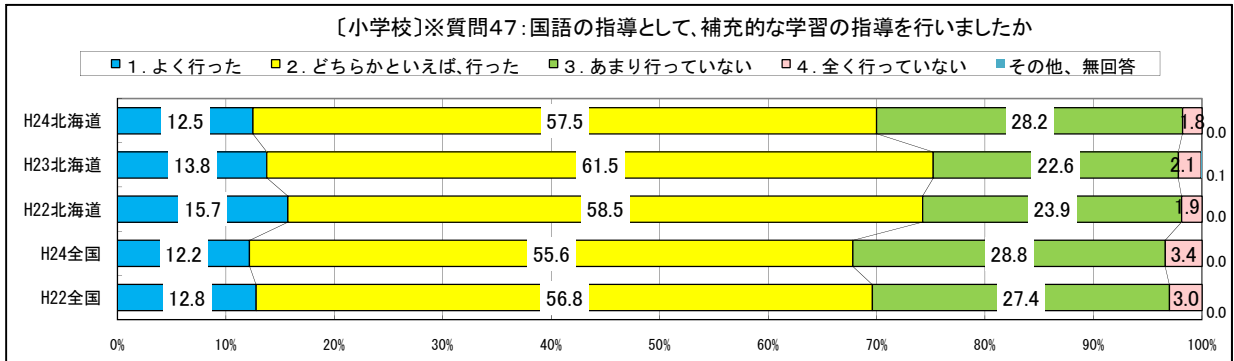


○ 理科の指導として、長期休業期間中に自由研究や課題研究などの家庭学習の課題を与えた学校の割合は、全国と比べて、小学校調査において、11. 3ポイント低く、中学校調査において、6. 6ポイント低い。

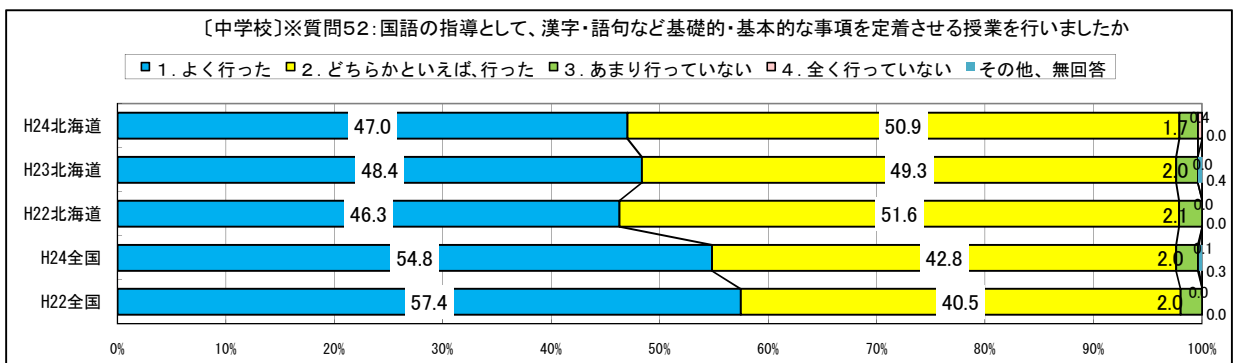
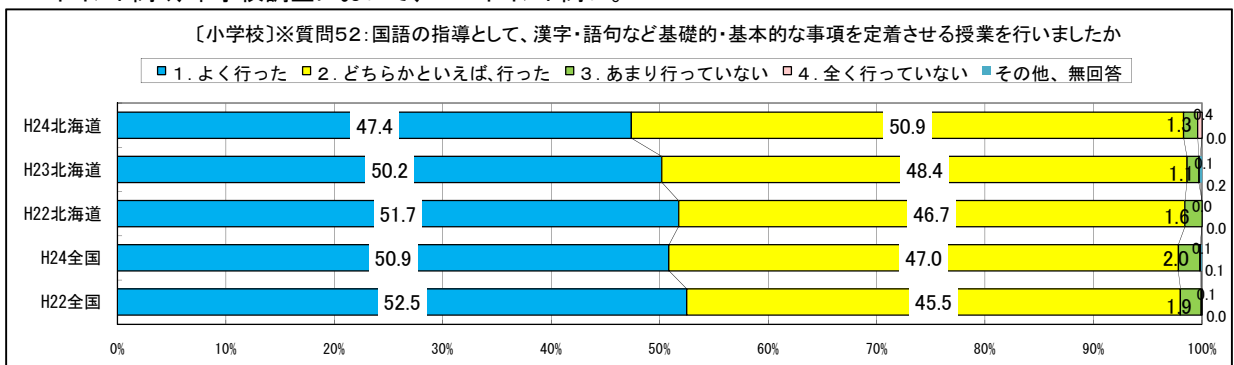


<指導方法>

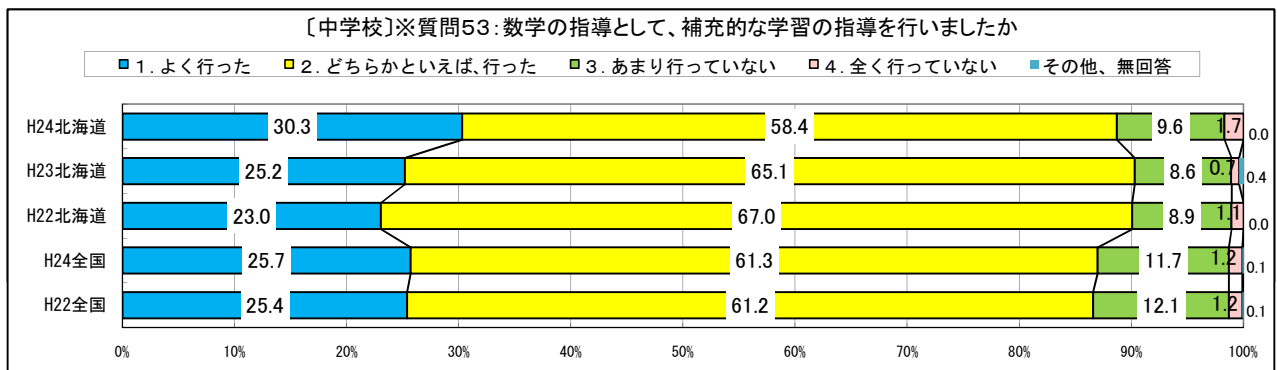
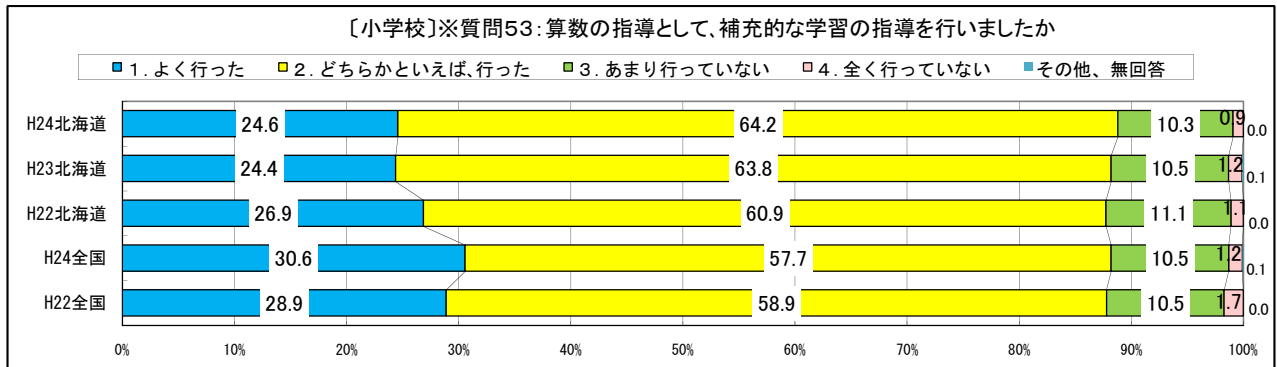
- 国語の指導として、補充的な学習の指導を行った学校の割合は、昨年度と比べて、小学校調査において、5.3ポイント低く、中学校において、3.0ポイント高い。全国と比べて、小学校調査において、2.2ポイント高く、中学校調査において、7.2ポイント高い。



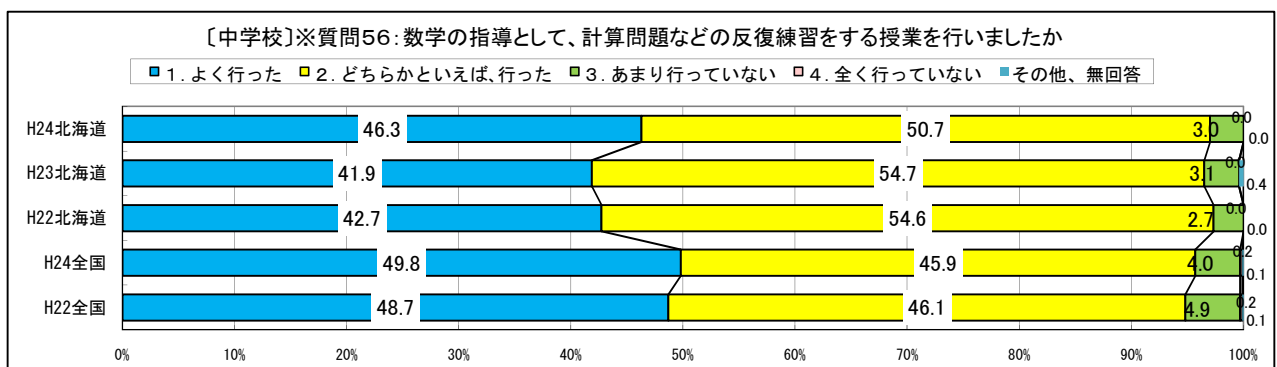
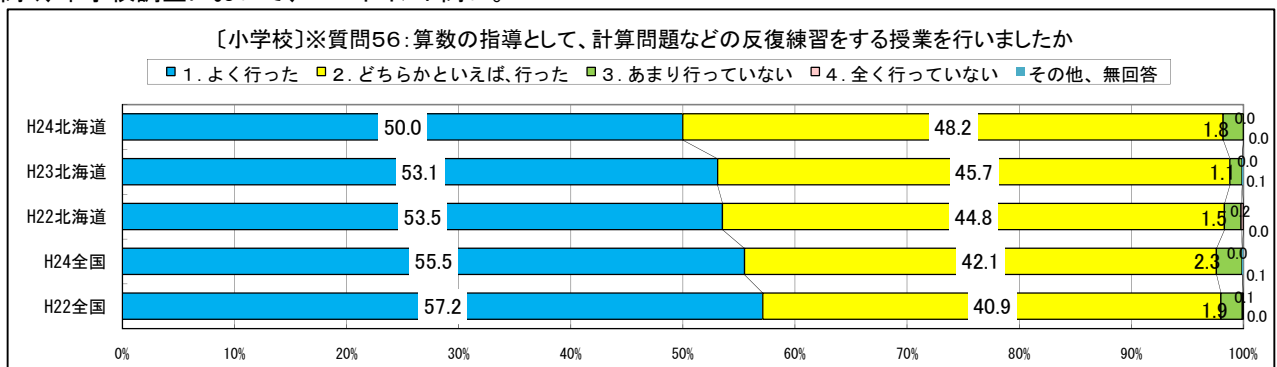
- 国語の指導として、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行った学校の割合は、昨年度と比べて、小学校調査において、0.3ポイント低く、中学校調査において、0.2ポイント高い。全国と比べて、小学校調査において、0.4ポイント高く、中学校調査において、0.3ポイント高い。



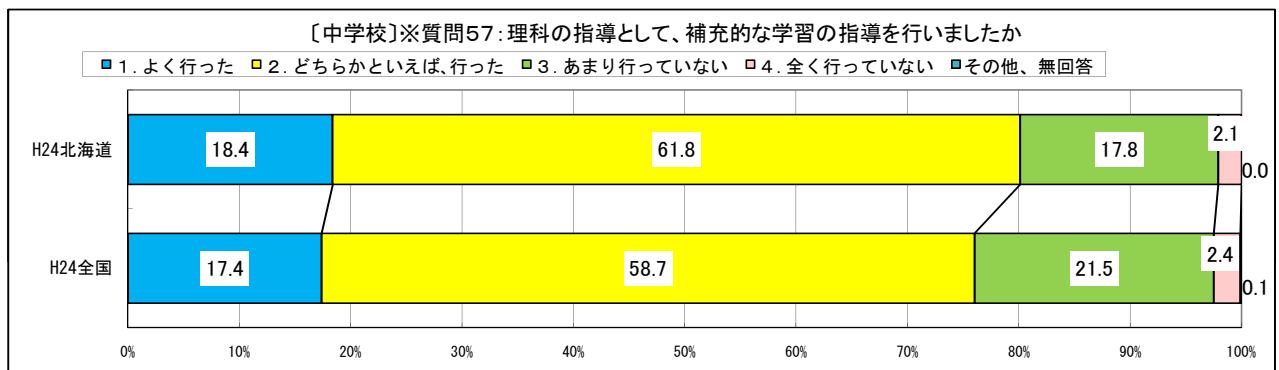
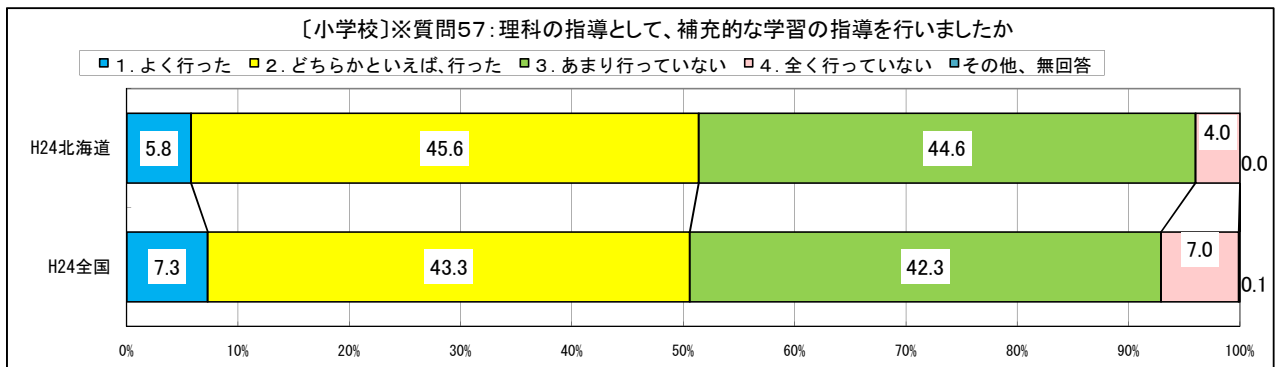
- 算数・数学の指導として、補充的な学習の指導を行った学校の割合は、昨年度と比べて、小学校調査において、0.6ポイント高く、中学校調査において、1.6ポイント低い。全国と比べて、小学校調査において、0.5ポイント高く、中学校調査において、1.7ポイント高い。



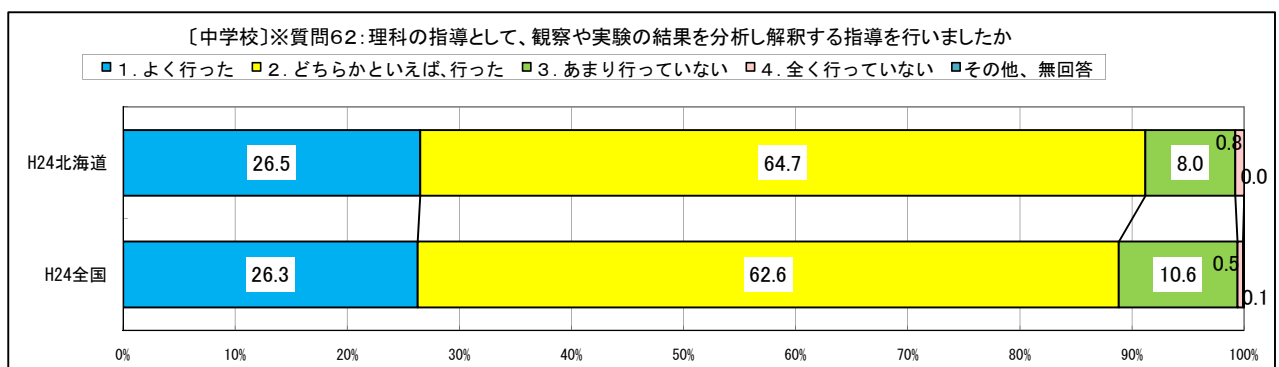
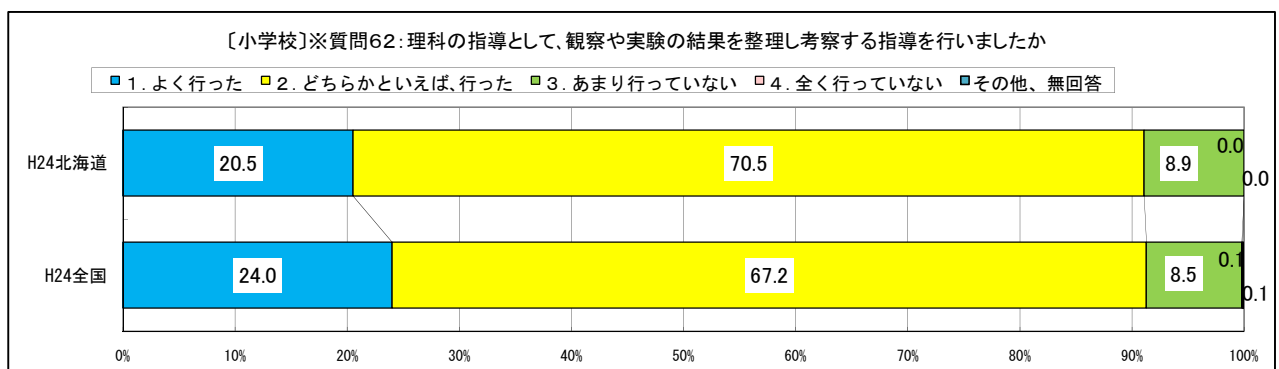
- 算数・数学の指導として、計算問題などの反復練習をする授業を行った学校の割合は、昨年度と比べて、小学校調査において、0.6ポイント低く、中学校調査において、0.4ポイント高い。全国と比べて、小学校調査において、0.6ポイント高く、中学校調査において、1.3ポイント高い。



○ 理科の指導として、補充的な学習の指導を行った学校の割合は、全国と比べて、小学校調査において、0.8ポイント高く、中学校調査において、4.1ポイント高い。

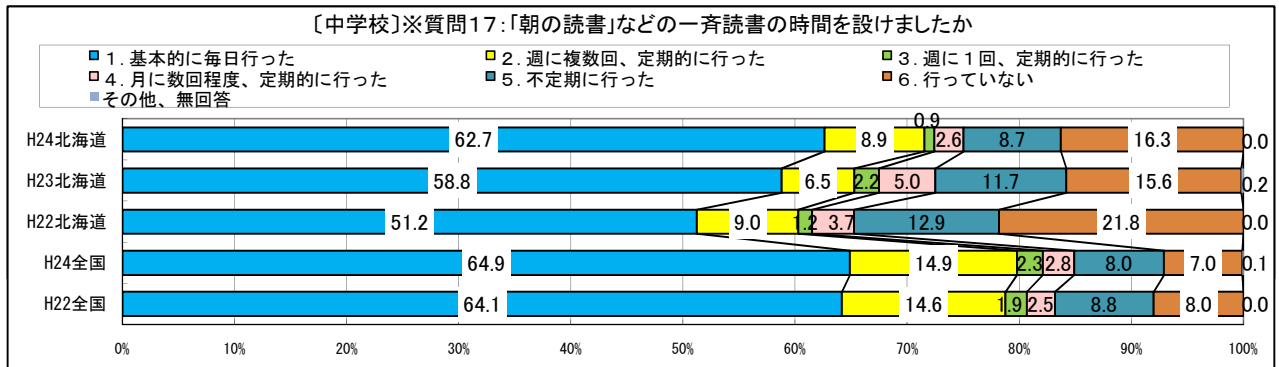
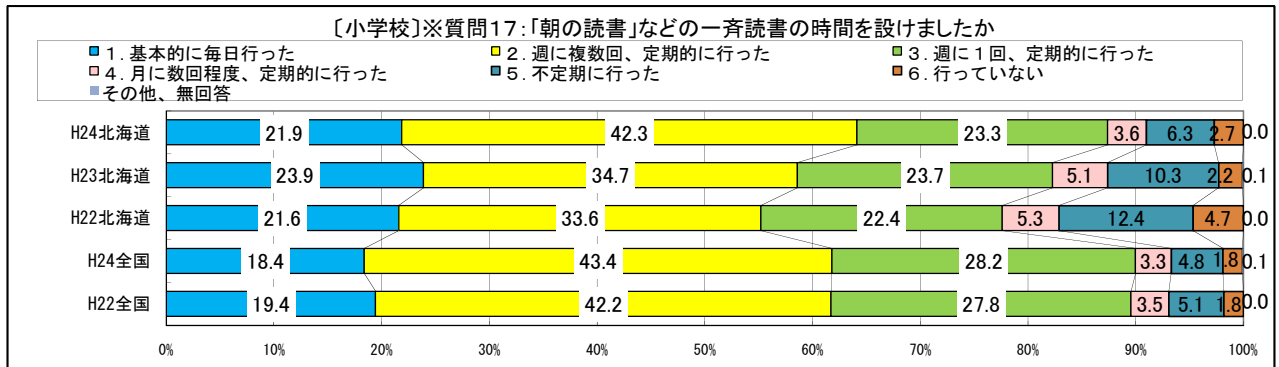


○ 理科の指導として、観察や実践の結果を整理し考察する指導を行った学校の割合は、全国と比べて、小学校調査において、0.2ポイント低く、中学校調査において、2.3ポイント高い。

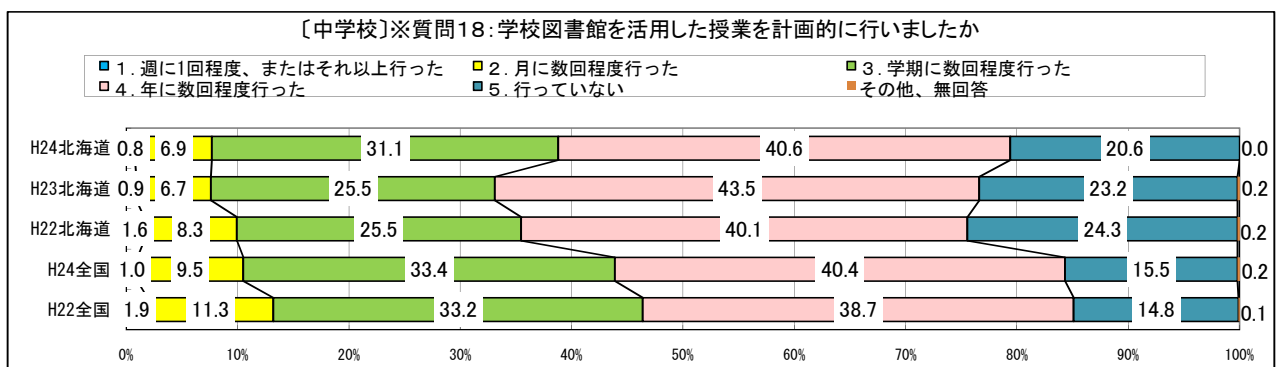
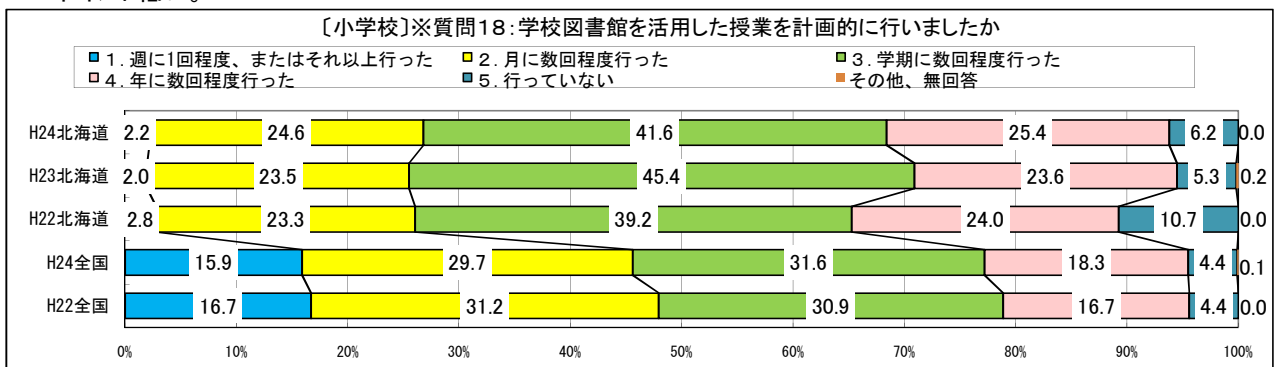


<学力向上の取組>

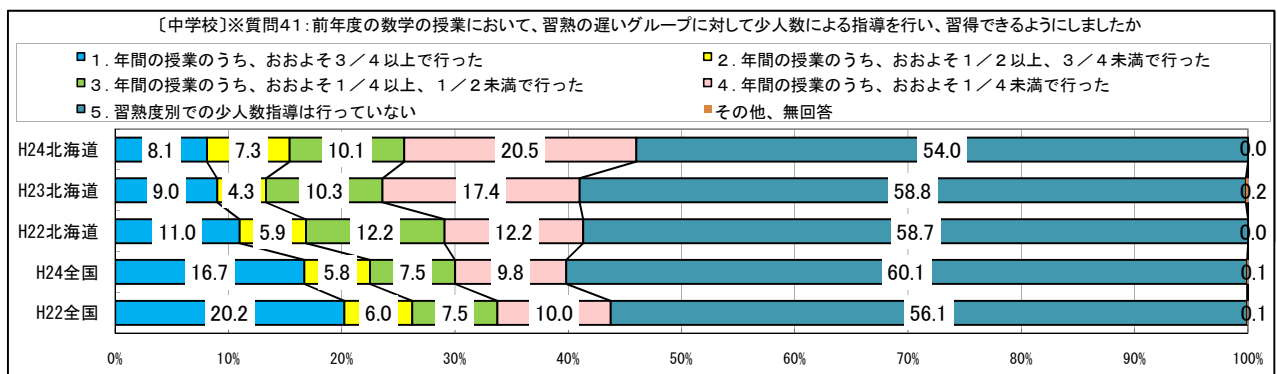
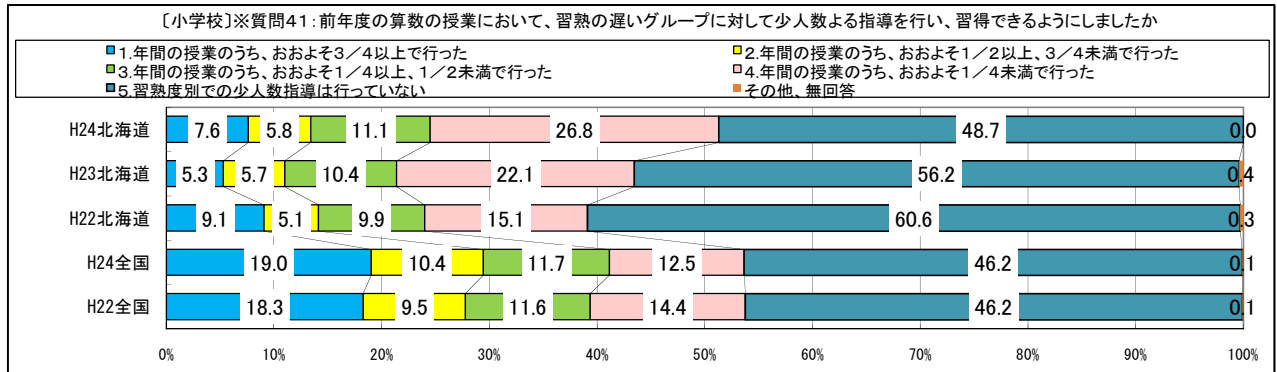
- 「朝の読書」などの一斉読書の時間を設けた学校の割合は、昨年度と比べて、小学校調査において、0.3ポイント低く、中学校調査において、0.4ポイント低い。全国と比べて、小学校調査において、0.7ポイント低く、中学校調査において、9.1ポイント低い。



- 学校図書館を活用した授業を計画的に行った学校の割合は、昨年度と比べて、小学校調査において、0.7ポイント低く、中学校調査において、2.8ポイント高い。全国と比べて、小学校調査において、1.7ポイント低く、中学校調査において、4.9ポイント低い。

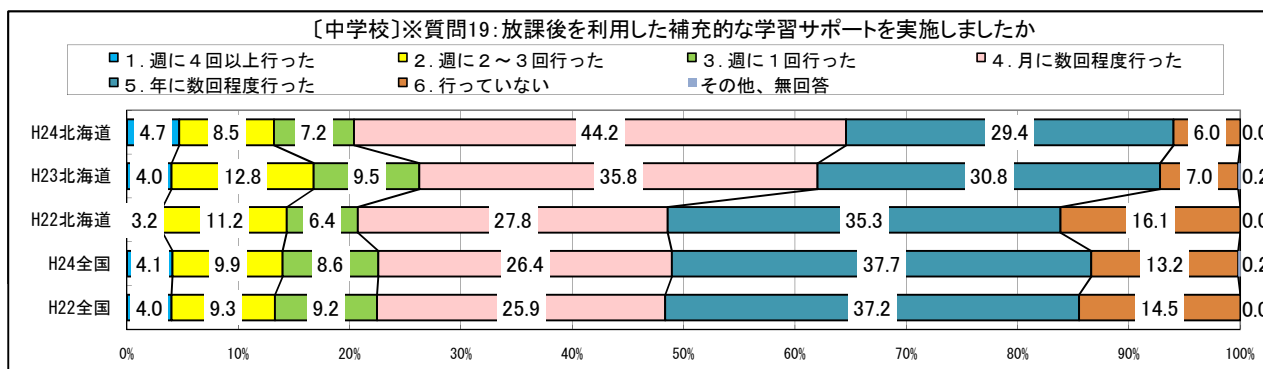
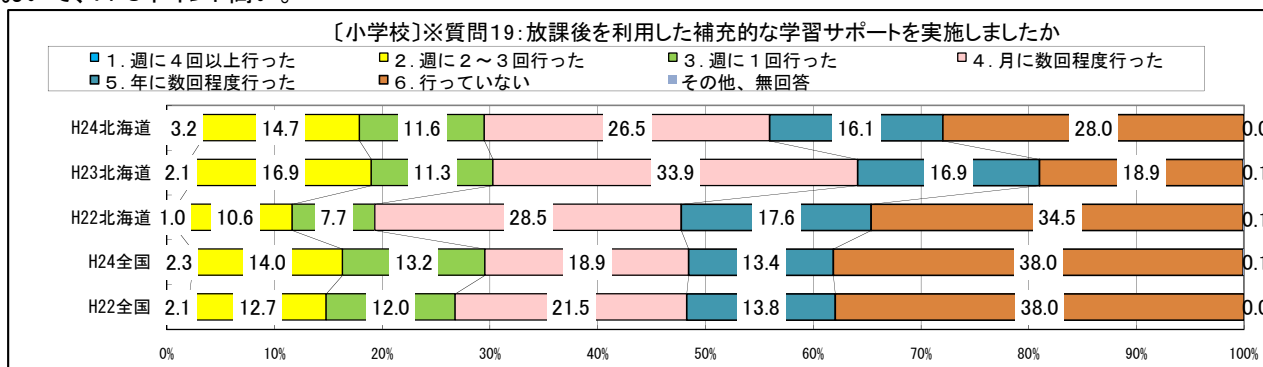


○ 前年度の算数・数学の指導として、習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行った学校の割合は、昨年度と比べて、小学校調査において、7.8ポイント高く、中学校調査において、5.0ポイント高い。全国と比べて、小学校調査において、2.3ポイント低く、中学校調査において、6.2ポイント高い。

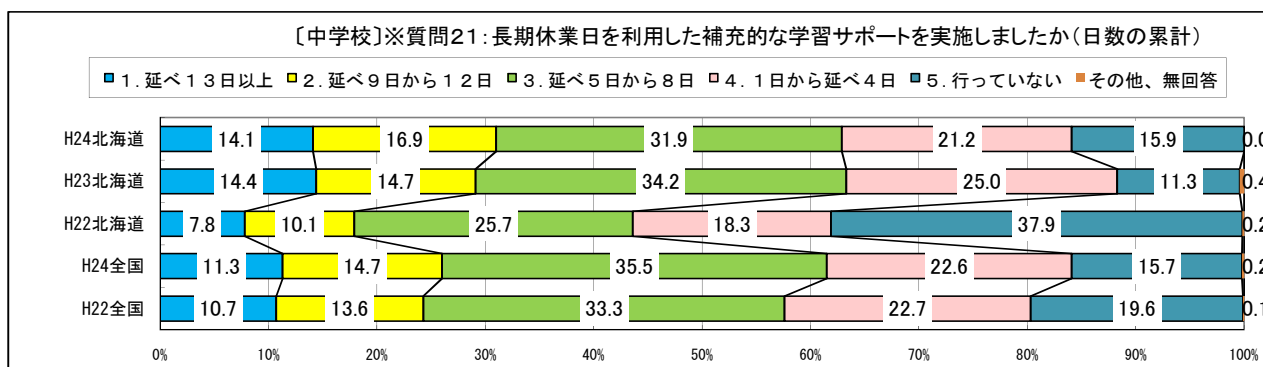
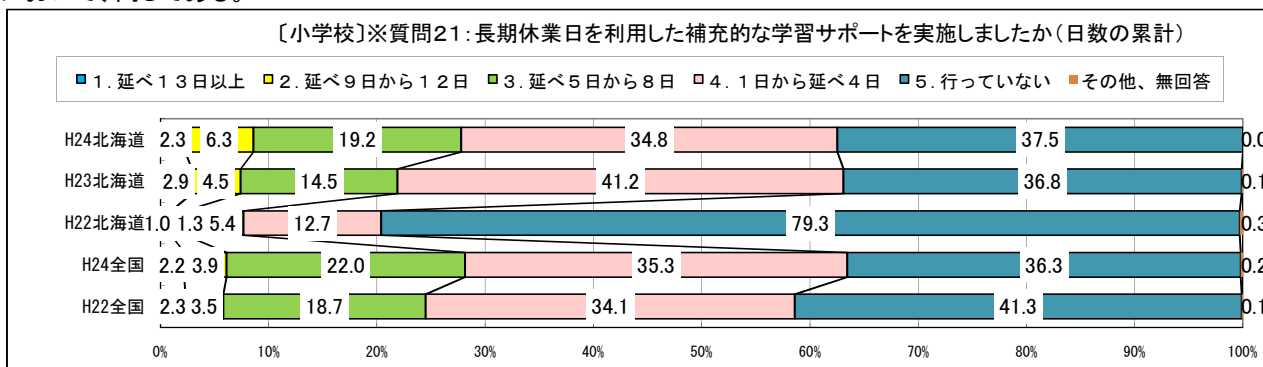


<学習時間等>

- 放課後を利用した補足的な学習サポートを実施した学校の割合は、昨年度と比べて、小学校調査において、9.0ポイント低く、中学校調査において、1.1ポイント高い。全国と比べて、小学校調査において、10.3ポイント高く、中学校調査において、7.3ポイント高い。

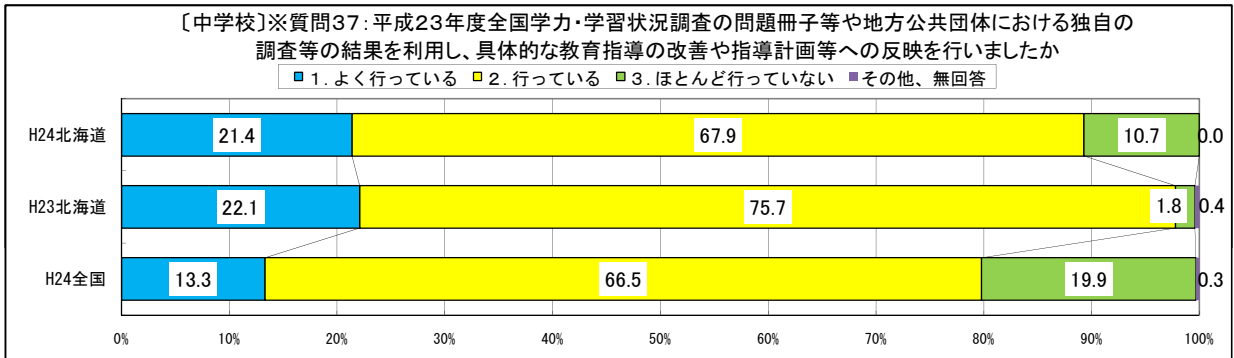
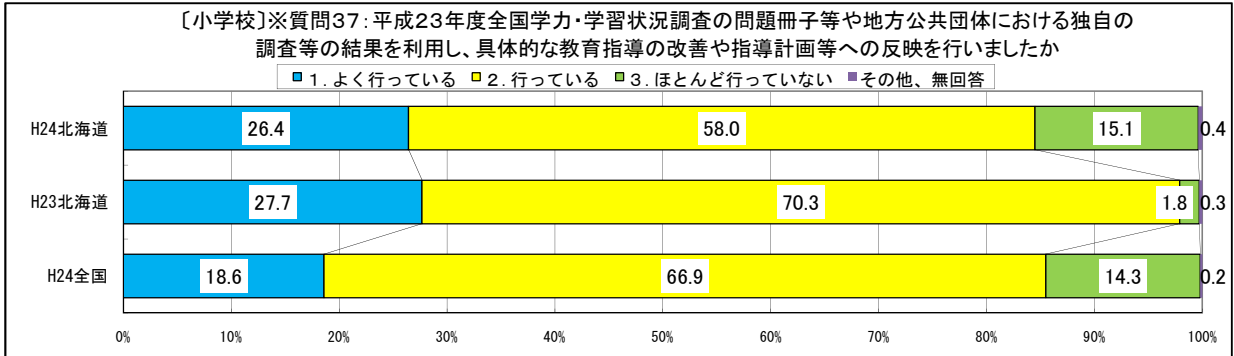


- 長期休業日を利用した補足的な学習サポートを実施した学校の割合は、昨年度と比べて、小学校調査において、0.5ポイント低く、中学校調査において、4.2ポイント低い。全国と比べて、小学校調査において、0.8ポイント低く、中学校調査において、同じである。

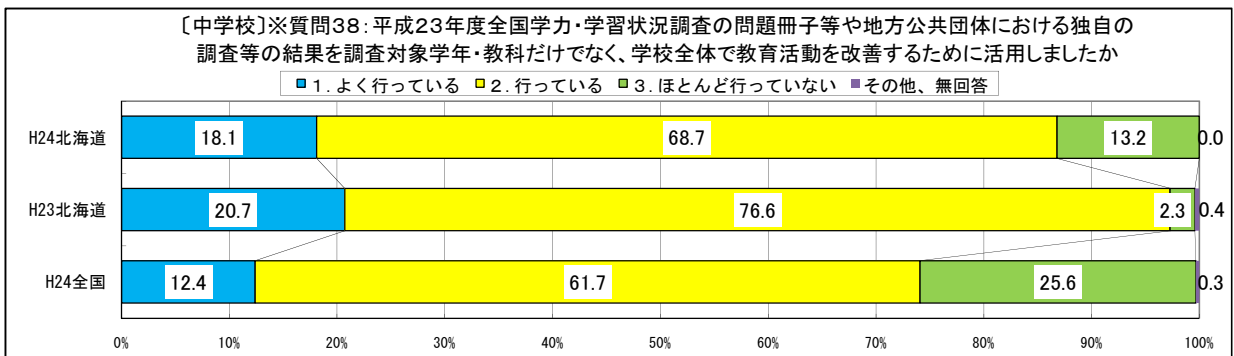
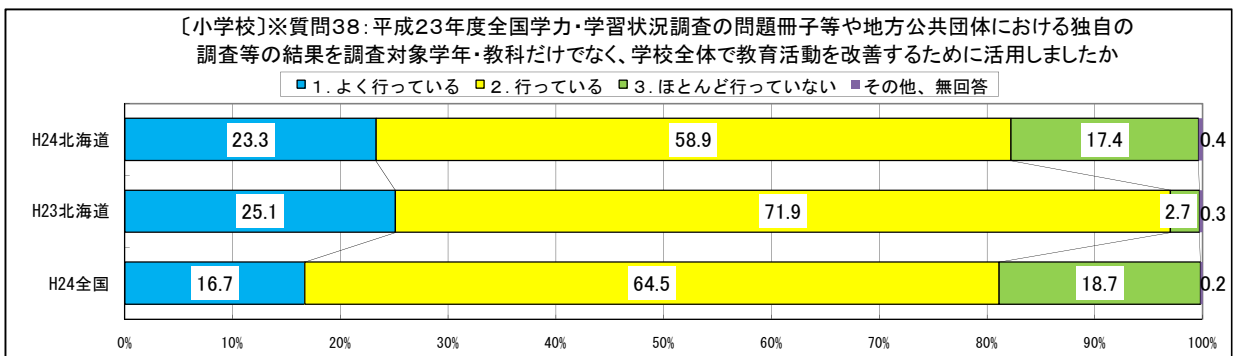


<調査の活用>

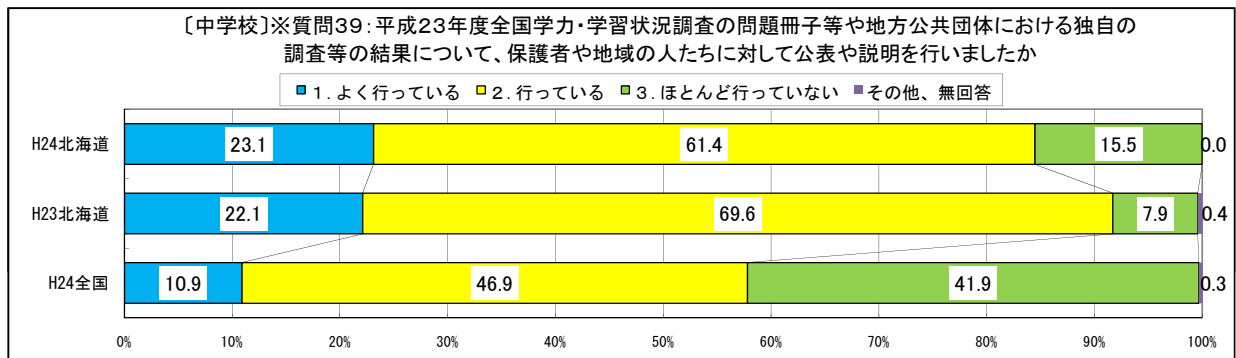
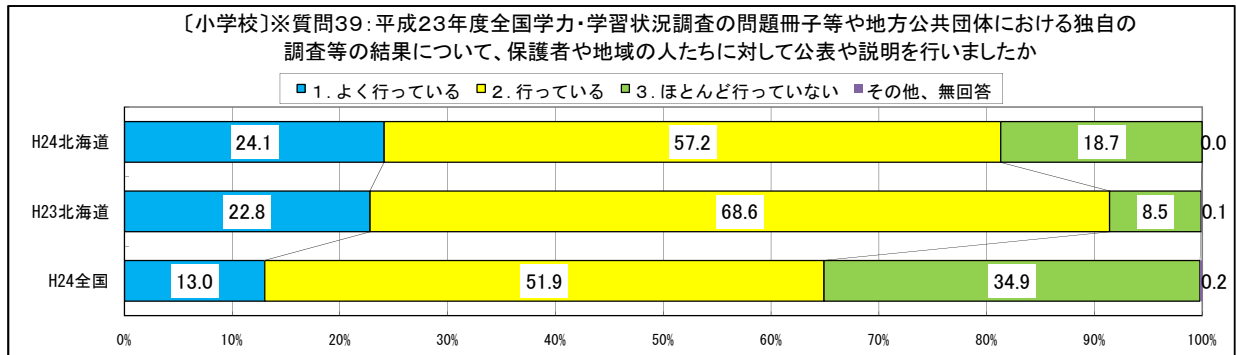
- 平成23年度調査や地方公共団体における独自の調査等の結果を利用し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行った学校の割合は、昨年度と比べて、小学校調査において、13.6ポイント低く、中学校調査において、8.5ポイント低い。全国と比べて、小学校調査において、1.1ポイント低く、中学校調査において、9.5ポイント高い。



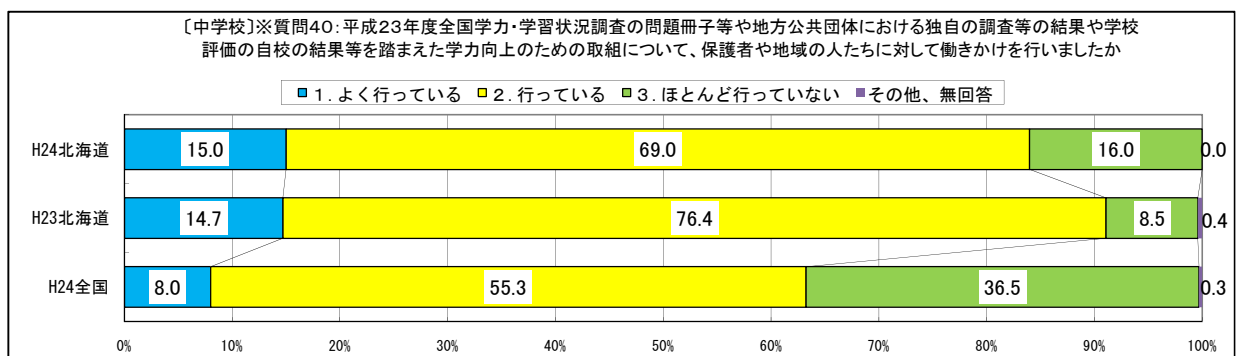
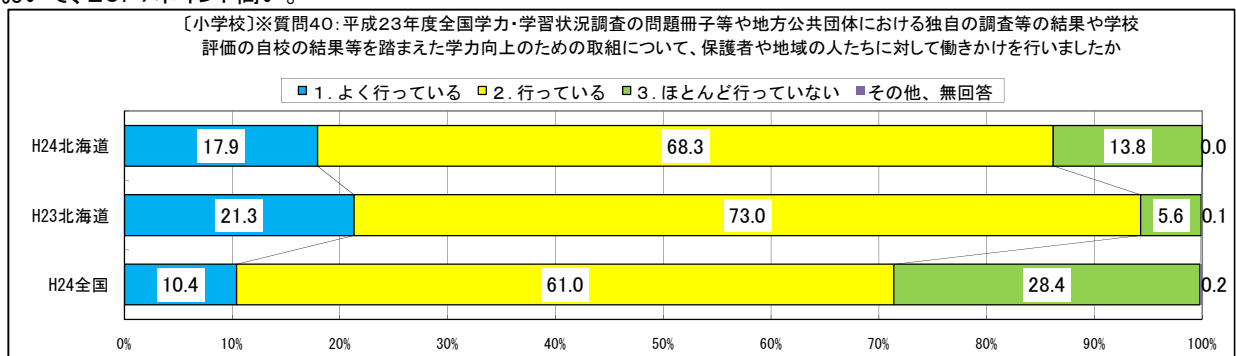
- 平成23年度調査や地方公共団体における独自調査等の結果を調査対象学年・教科だけでなく、学校全体で活用した学校の割合は、昨年度と比べて、小学校調査において、14.8ポイント低く、中学校調査において、10.5ポイント低い。全国と比べて、小学校調査において、1.0ポイント高く、中学校調査において、12.7ポイント高い。



○ 平成23年度調査や地方公共団体における独自調査等の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行った学校の割合は、昨年度と比べて、小学校調査において、10.1ポイント低く、中学校調査において、7.2ポイント低い。全国と比べて、小学校調査において、16.4ポイント高く、中学校調査において、26.7ポイント高い。



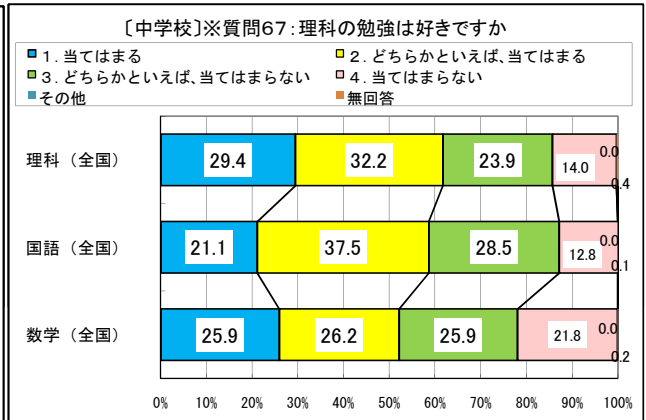
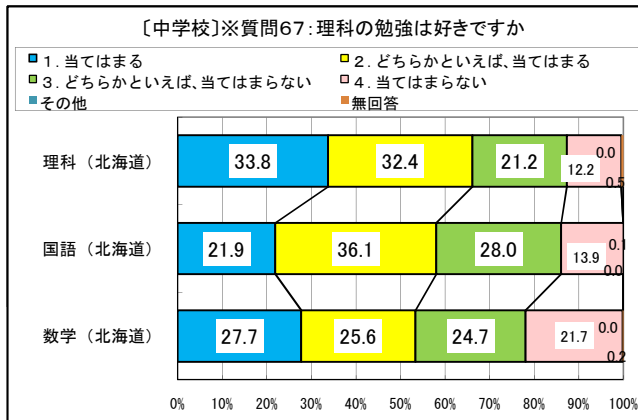
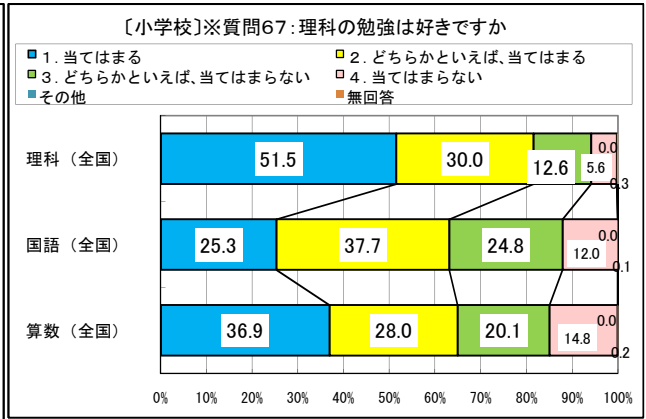
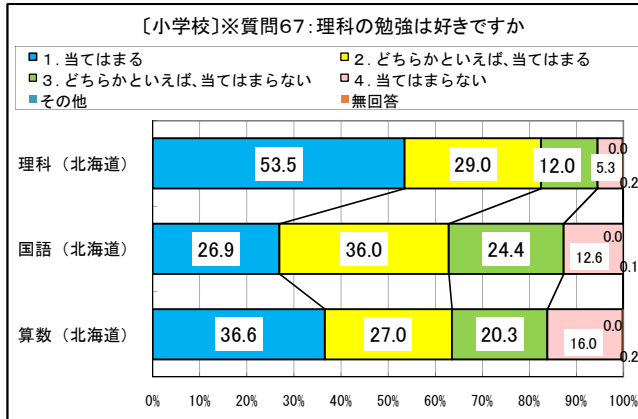
○ 平成23年度調査や地方公共団体における独自の調査や学校評価の結果等を踏まえた学力向上のための取組のついて、保護者や地域の人たちに対して働きかけを行った学校の割合は、昨年度と比べて、小学校調査において、8.1ポイント低く、中学校調査において、7.1ポイント低い。全国と比べて、小学校調査において、14.8ポイント高く、中学校調査において、20.7ポイント高い。



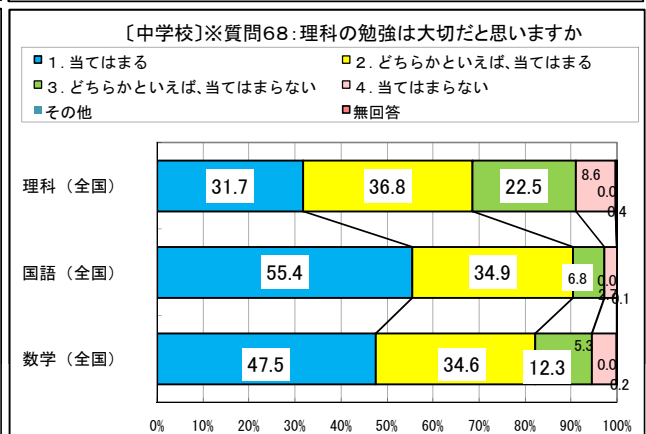
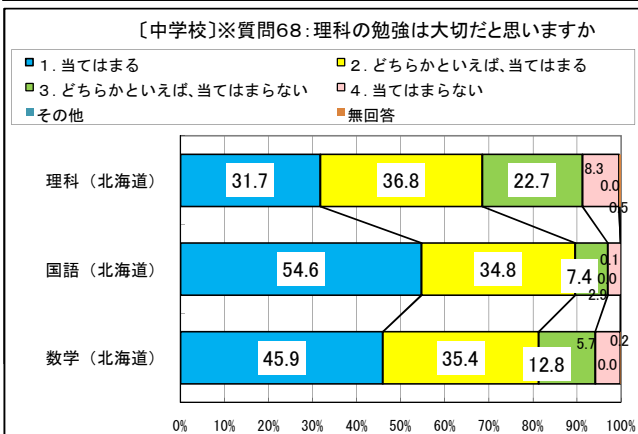
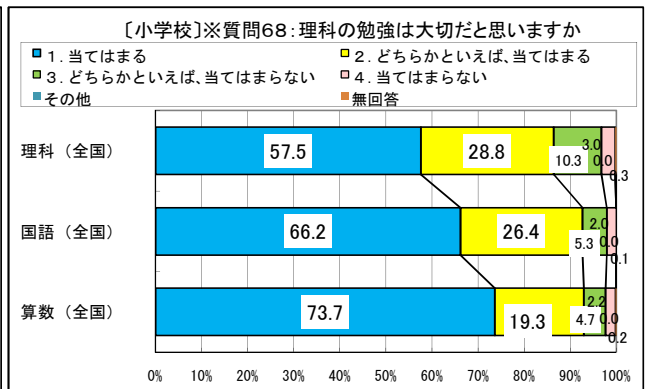
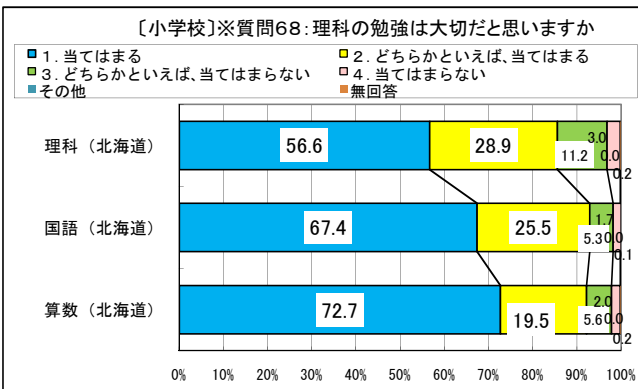
理科関連の新規項目【児童生徒質問紙】

<関心・意欲・態度>

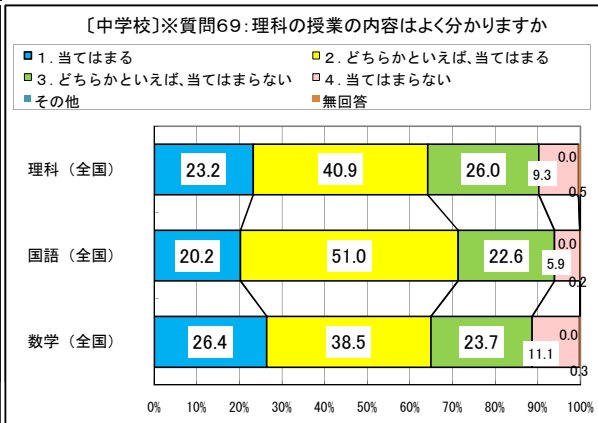
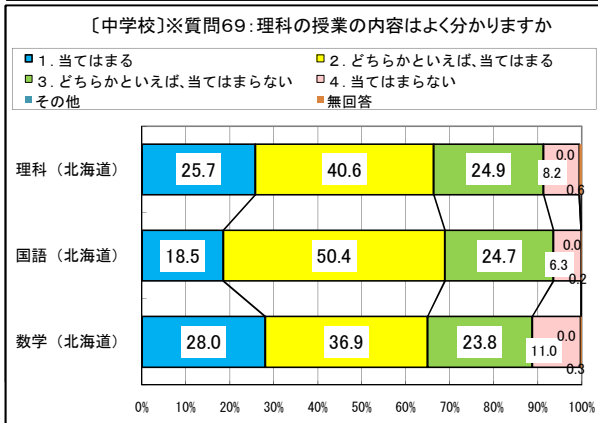
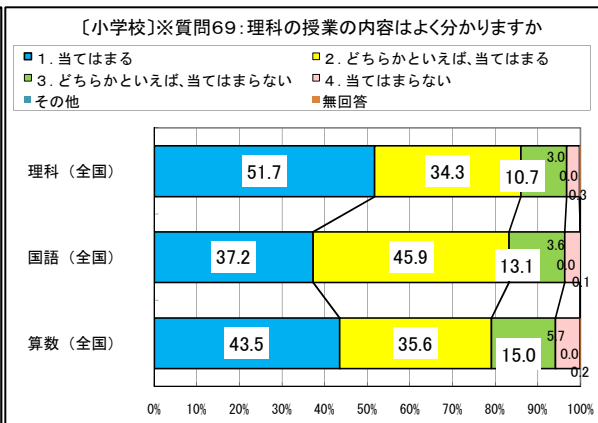
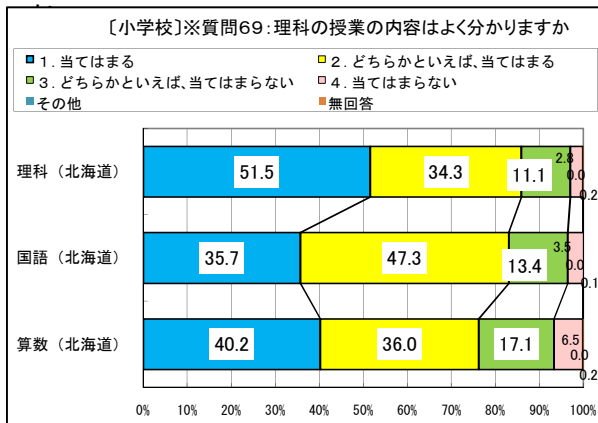
○ 理科の勉強は好きと回答している児童生徒の割合は、全国と比べて、小学校調査で1.0ポイント高く、中学校調査で4.6ポイント高い。全道の国語の勉強は好きと回答している児童生徒の割合と比べて小学校調査において、19.6ポイント高く、中学校調査において、8.2ポイント高い。全道の算数・数学の勉強は好きと回答している児童生徒の割合と比べて小学校調査において、18.9ポイント高く、中学校調査において、12.9ポイント高い。



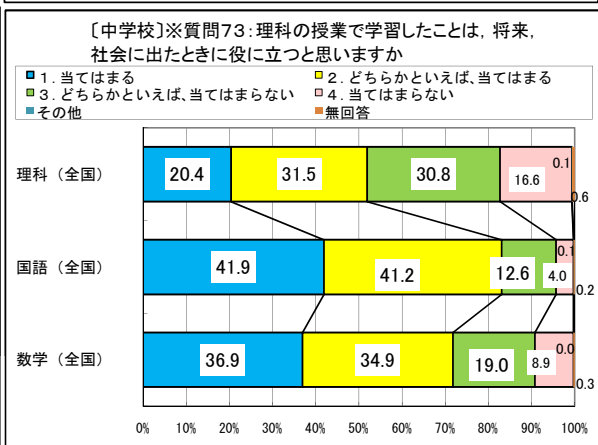
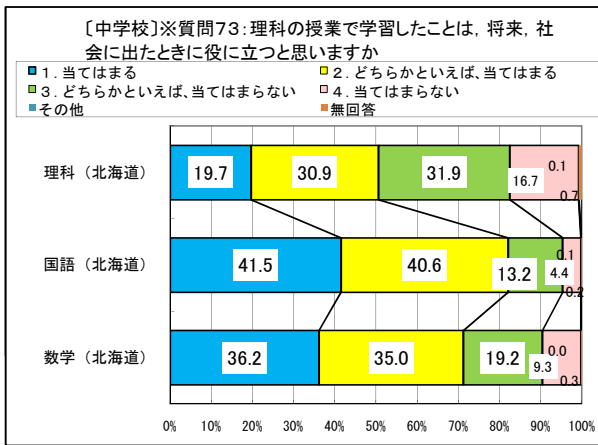
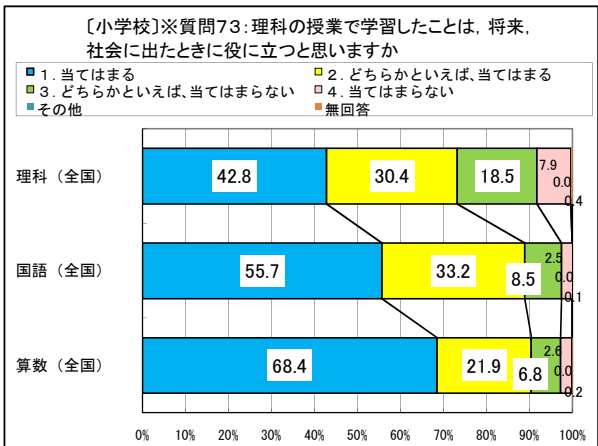
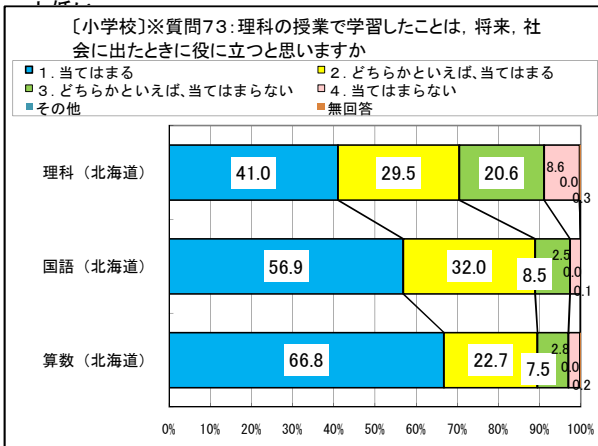
○ 理科の勉強は大切だと思つと回答している児童生徒の割合は、全国と比べて、小学校調査で0.8ポイント低く、中学校調査で同様。全道の国語の勉強は大切だと思つと回答している児童生徒の割合と比べて小学校調査において、7.4ポイント低く、中学校調査において、20.9ポイント低い。全道の算数・数学の勉強は大切だと思つと回答している児童生徒の割合と比べて小学校調査において、6.7ポイント低く、中学校調査において、12.8ポイント低い。



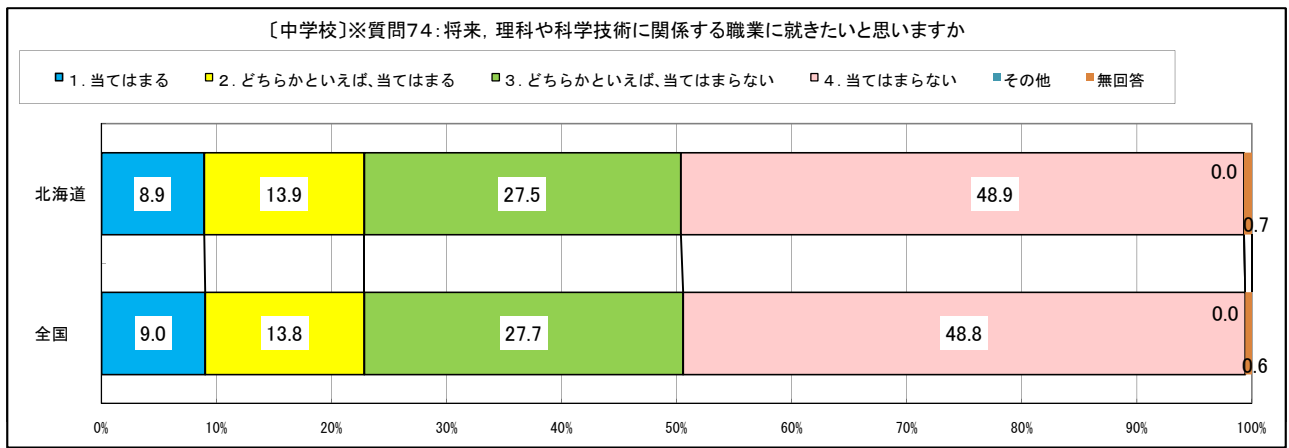
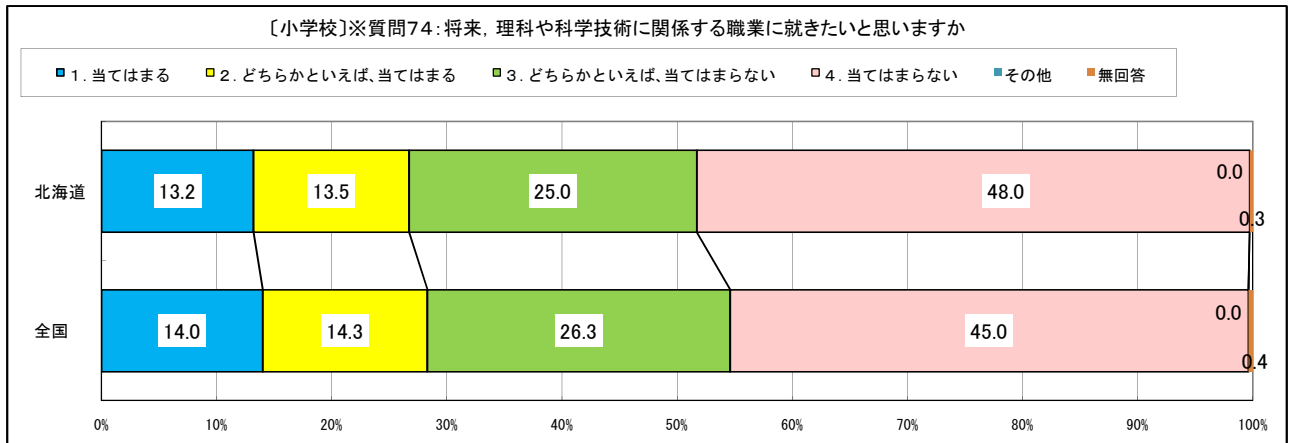
○ 理科の授業の内容はよく分かると回答している児童生徒の割合は、全国と比べて、小学校調査で0.2ポイント低く、中学校調査で2.2ポイント高い。全道の国語の授業の内容はよく分かると回答している児童生徒の割合と比べて小学校調査において、2.8ポイント高く、中学校調査において、2.6ポイント低い。全道の算数・数学の勉強は大切だと思うと回答している児童生徒の割合と比べて小学校調査において、9.6ポイント高く、中学校調査において、1.4ポイント高



○ 理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思うと回答している児童生徒の割合は、全国と比べて、小学校調査で2.7ポイント低く、中学校調査で1.3ポイント低い。全道の国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思うと回答している児童生徒の割合と比べて小学校調査において、18.4ポイント低く、中学校調査において、31.5ポイント低い。全道の算数・数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思うと回答している児童生徒の割合と比べて小学校調査において、19.0ポイント低く、中学校調査において、20.6ポイン

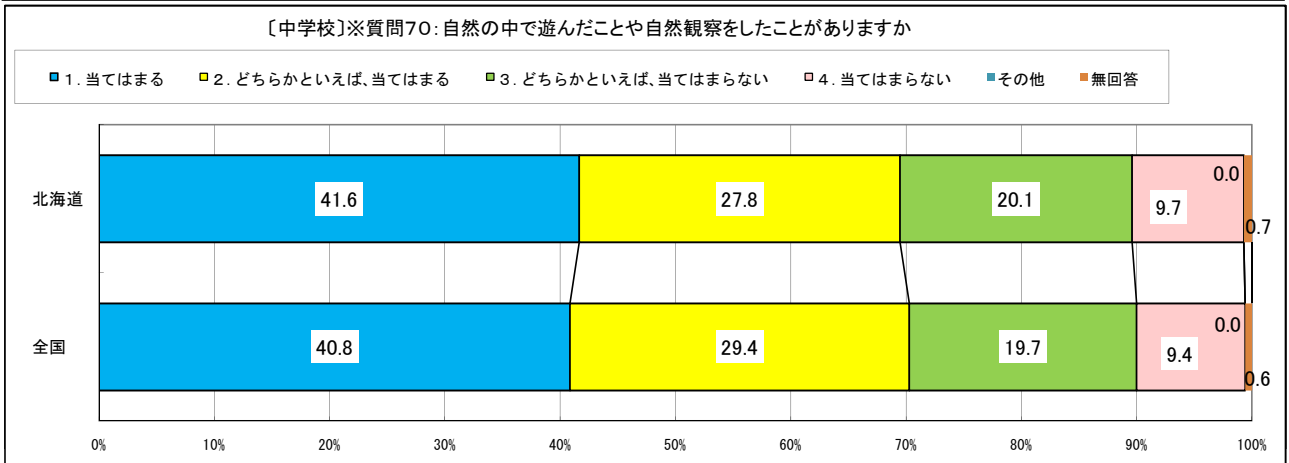
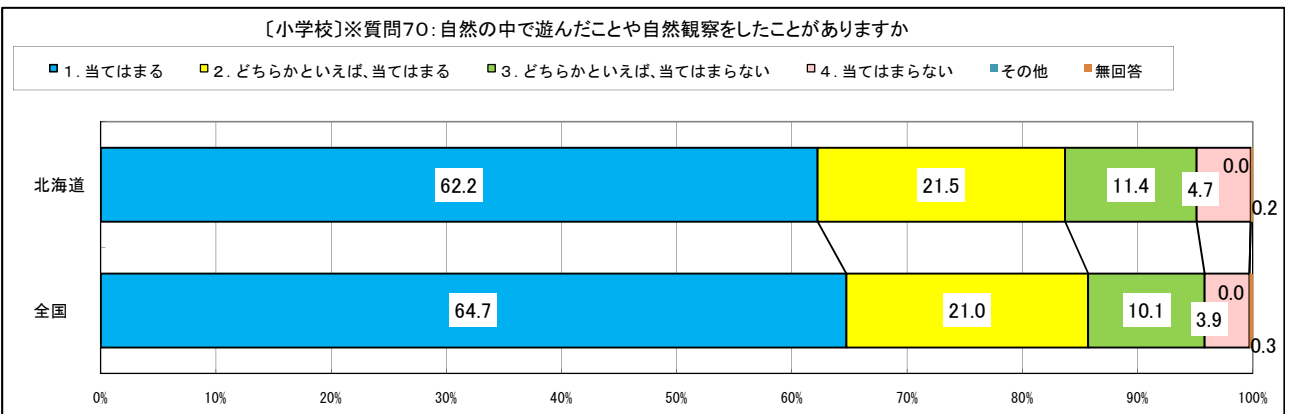


○ 将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと回答している児童生徒の割合は、全国と比べて、小学校調査で1.6ポイント低く、中学校調査で同じである。

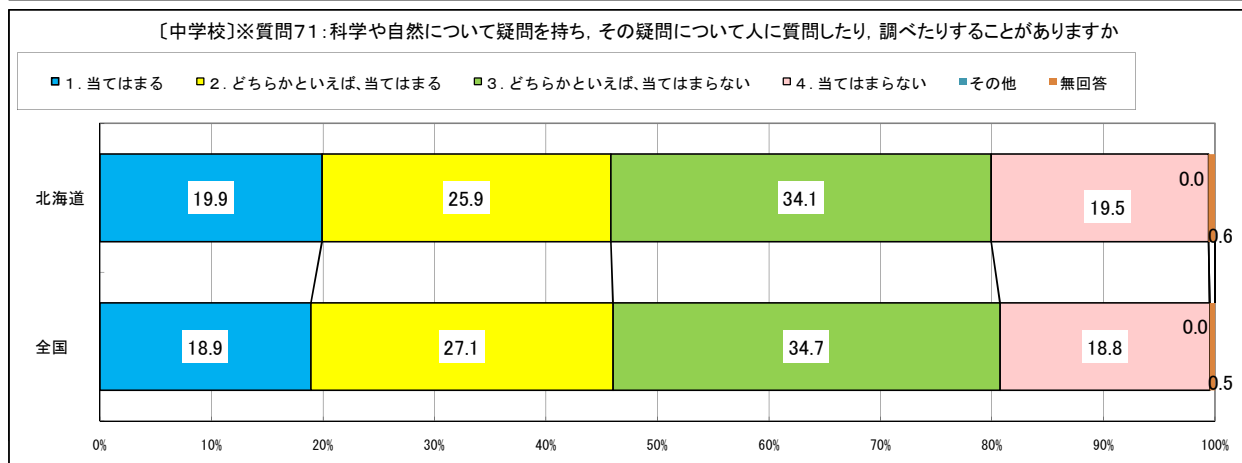
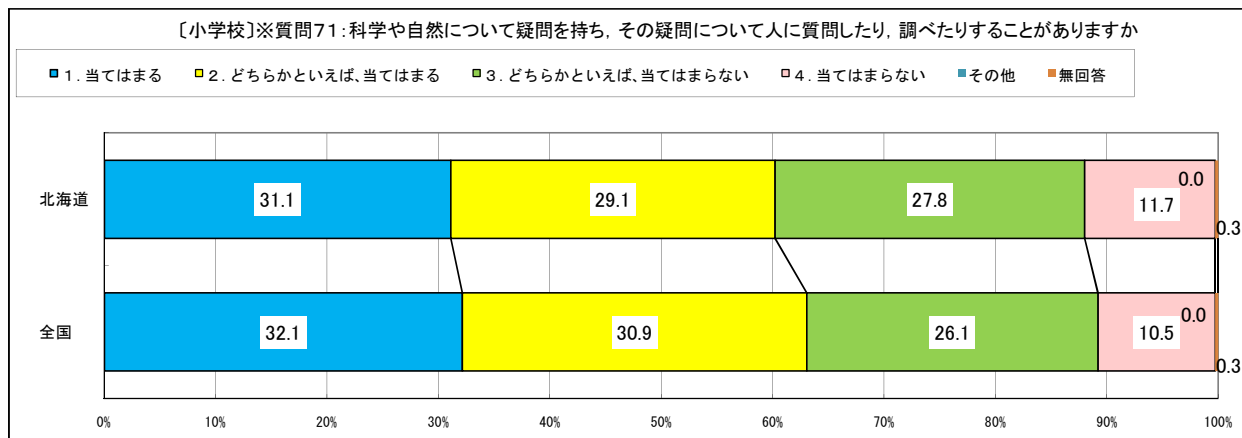


<体験・学習・活用>

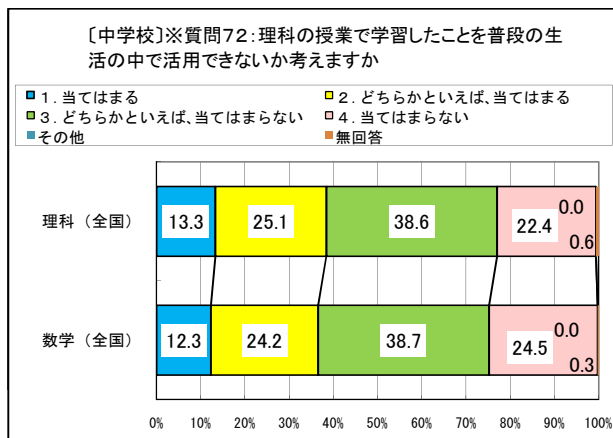
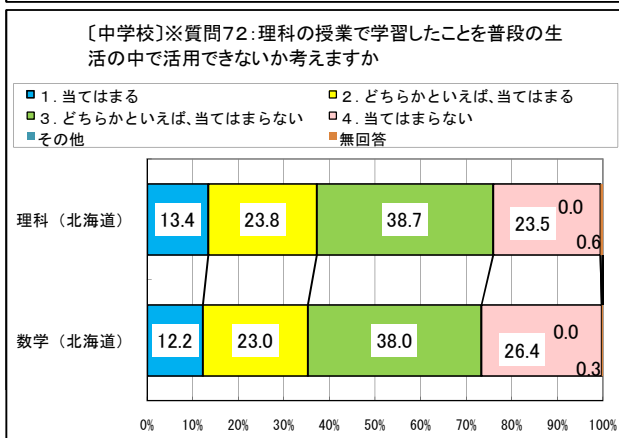
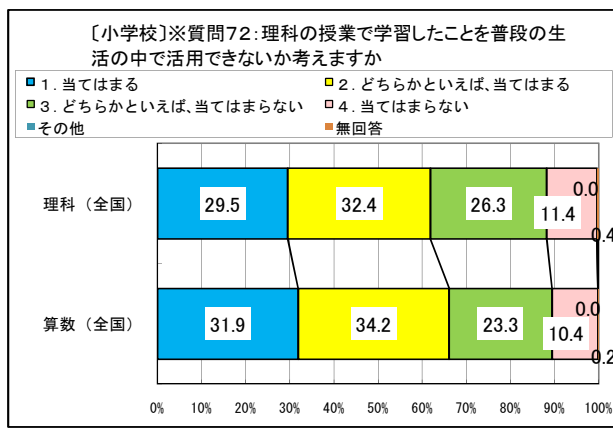
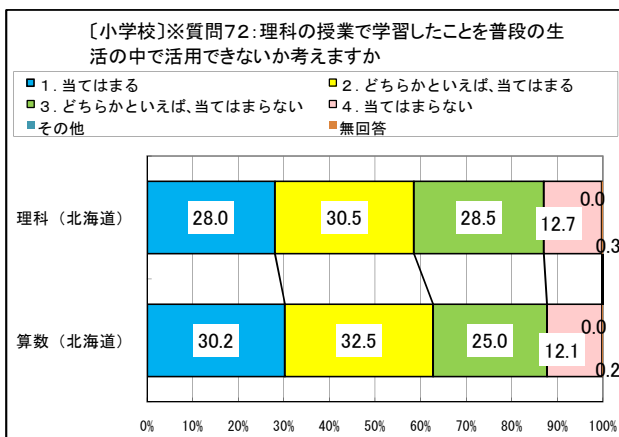
○ 自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがあると回答している児童生徒の割合は、全国と比べて、小学校調査で2.0ポイント低く、中学校調査で0.8ポイント低い。



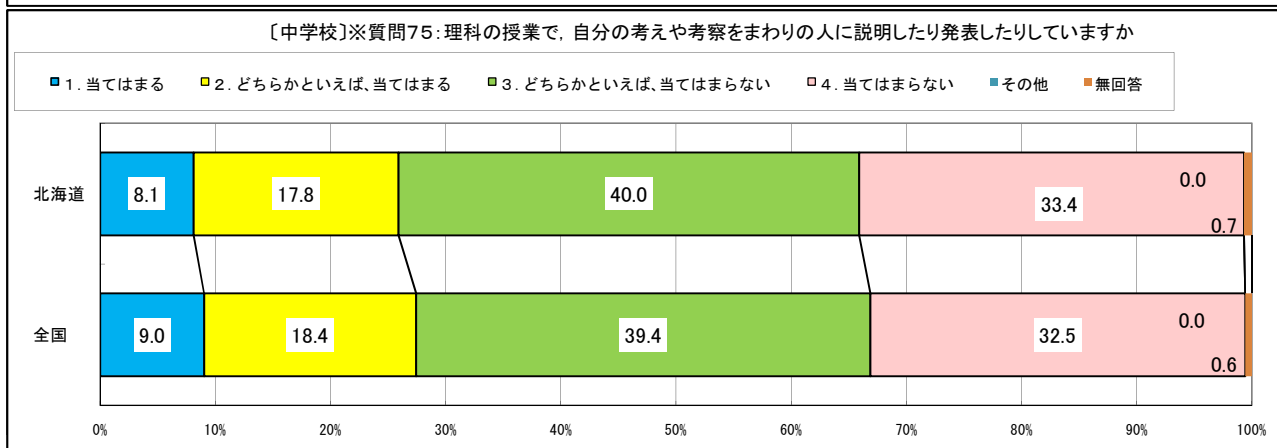
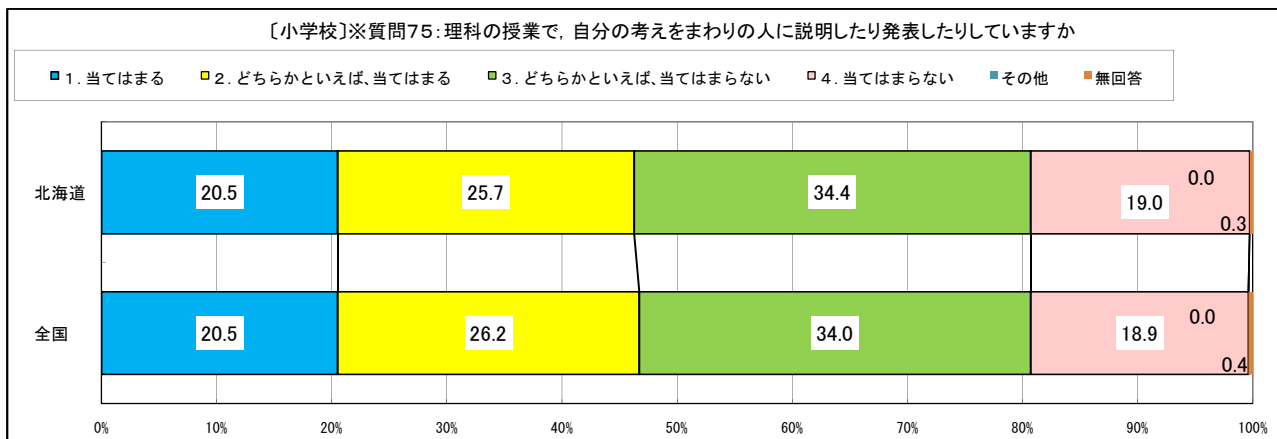
○ 科学や自然について疑問を持ち、その疑問について人に質問したり、調べたりすることがあると回答している児童生徒の割合は、全国と比べて、小学校調査で2.8ポイント低く、中学校調査で0.2ポイント低い。



○ 理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えると回答している児童生徒の割合は、全国と比べて、小学校調査で3.4ポイント低く、中学校調査で1.2ポイント低い。全道の算数・数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えると回答している児童生徒の割合は、小学校調査で4.2ポイント低く、中学校調査で2.0ポイント高い。

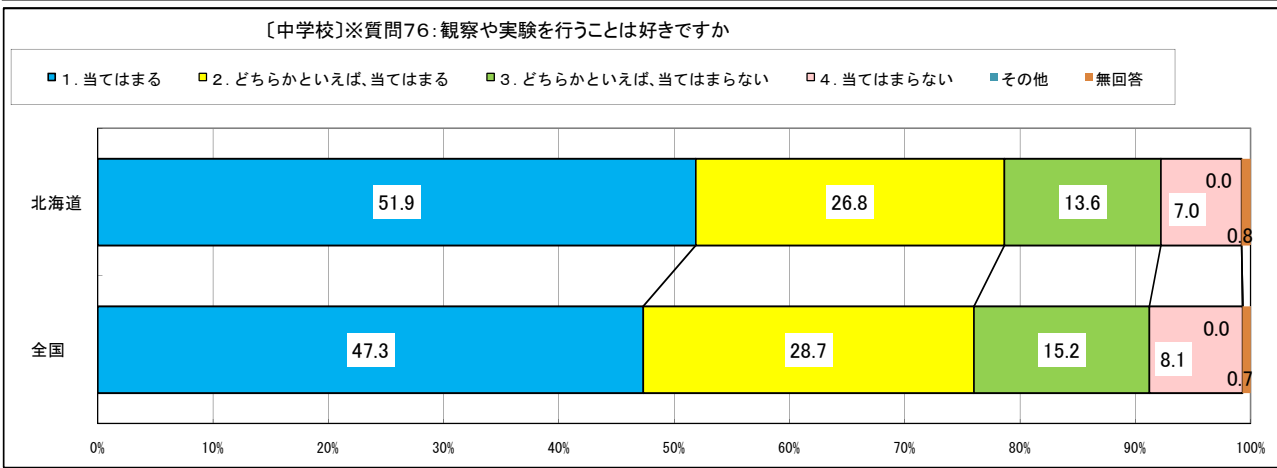
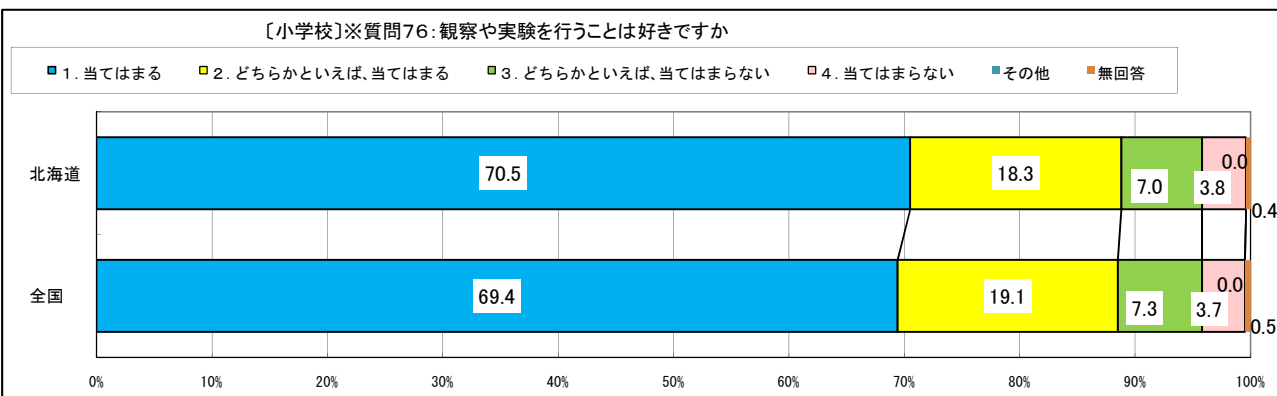


○ 理科の授業で、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりすると回答している児童生徒の割合は、全国と比べて、小学校調査で0.5ポイント低く、中学校調査で1.5ポイント低い。

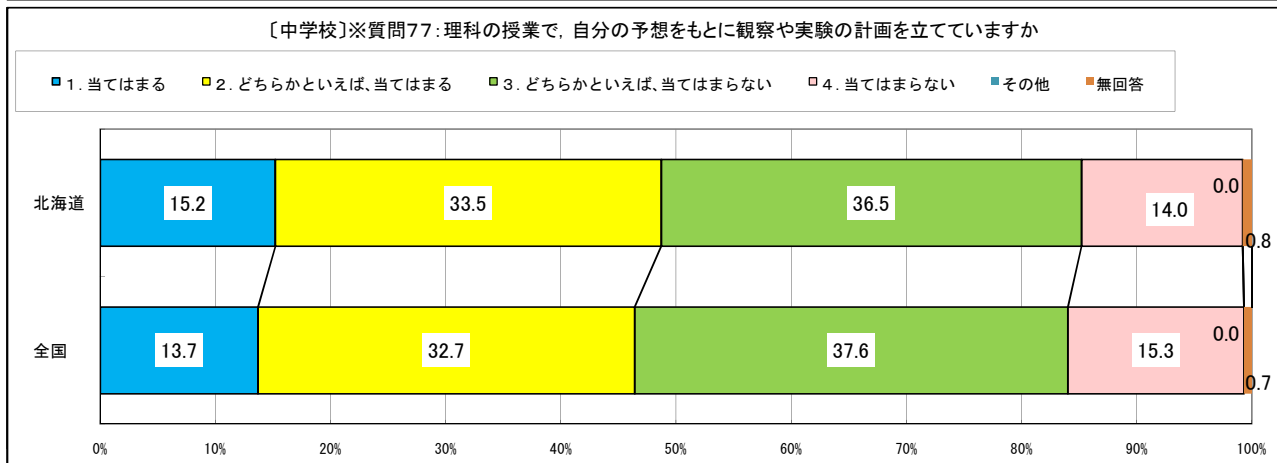
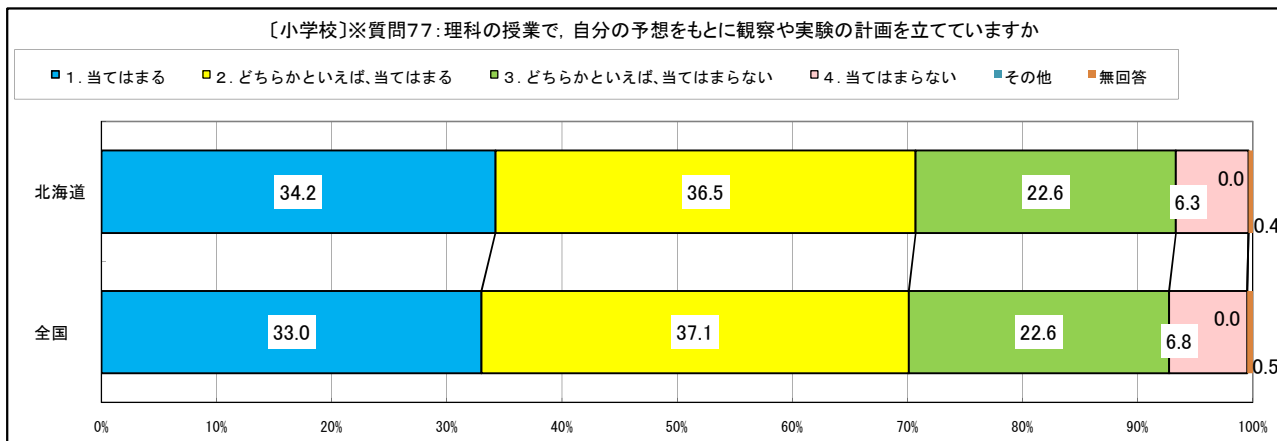


<観察・実験>

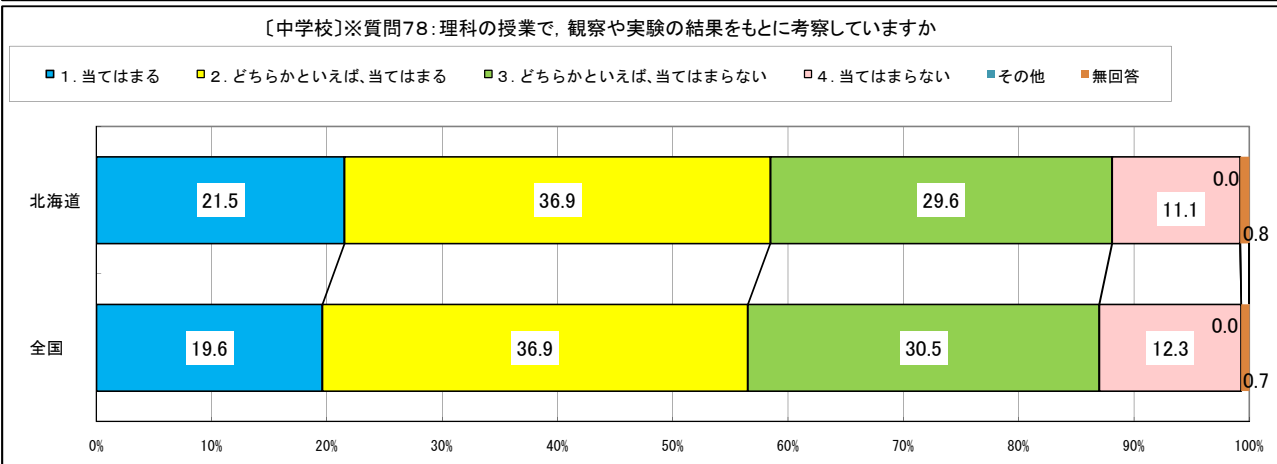
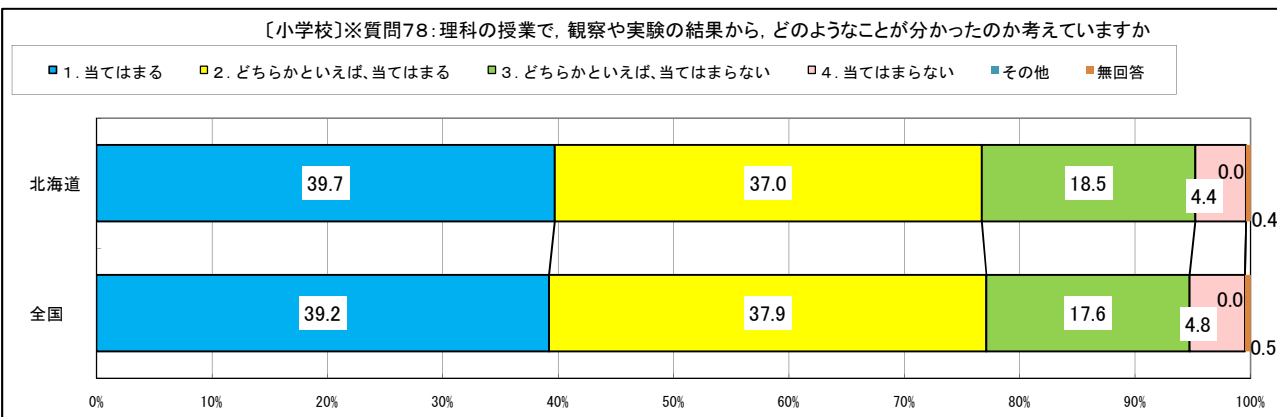
○ 観察や実験を行うことは好きと回答している児童生徒の割合は、全国と比べて、小学校調査で0.3ポイント高く、中学校調査で2.7ポイント高い。



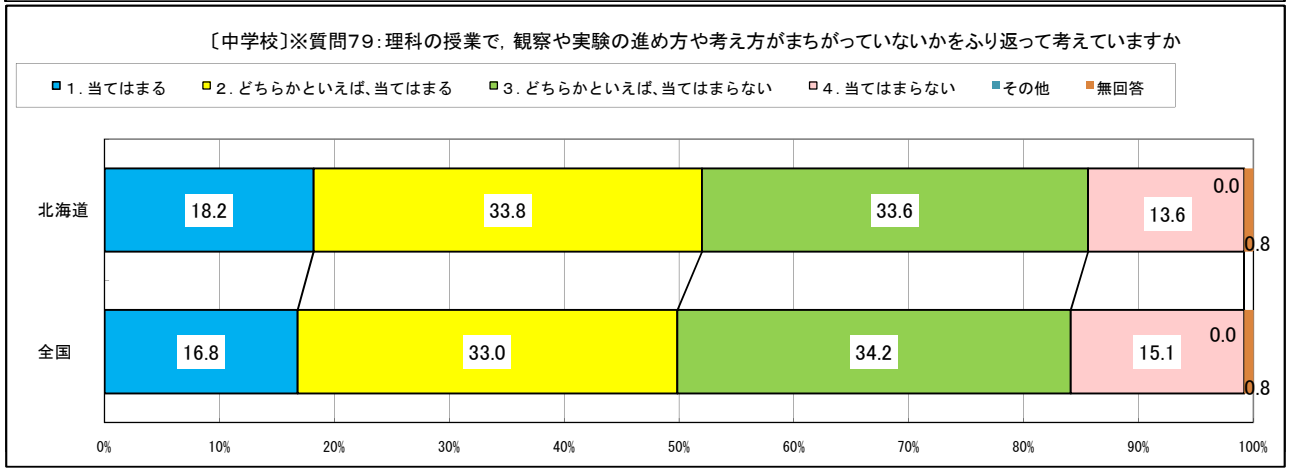
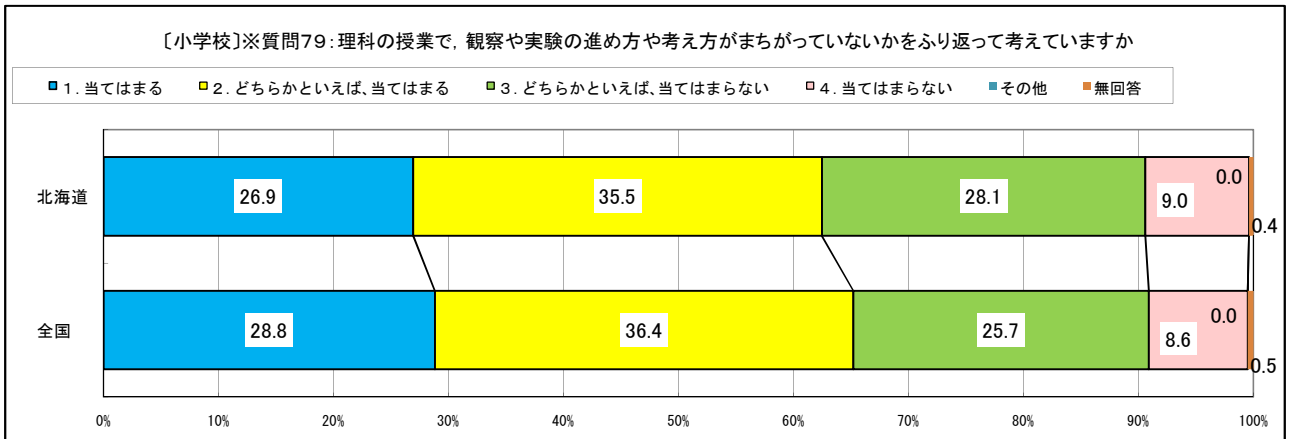
○ 理科の授業で、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていると回答している児童生徒の割合は、全国と比べて、小学校調査で0.6ポイント高く、中学校調査で2.3ポイント高い。



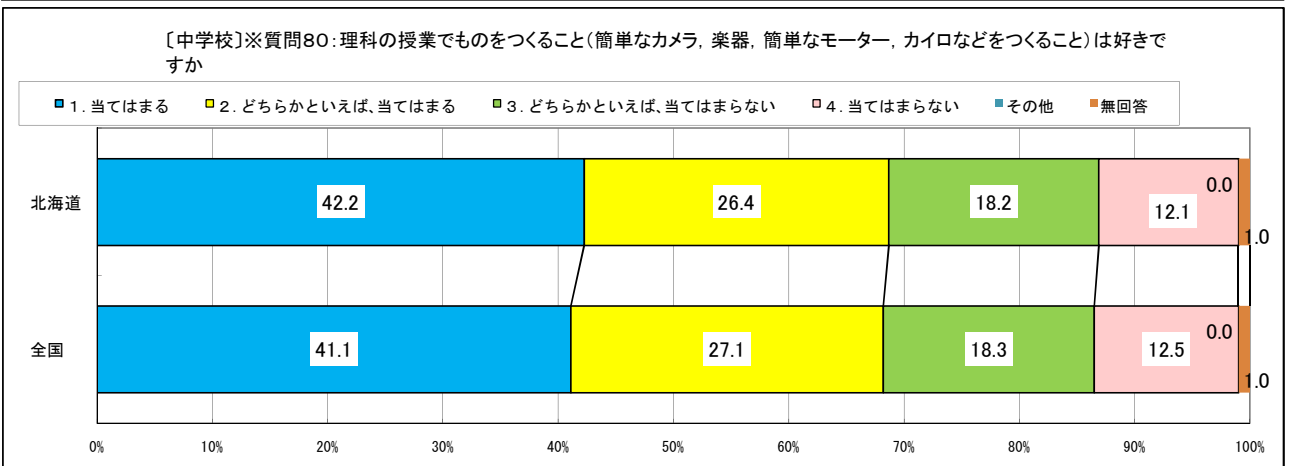
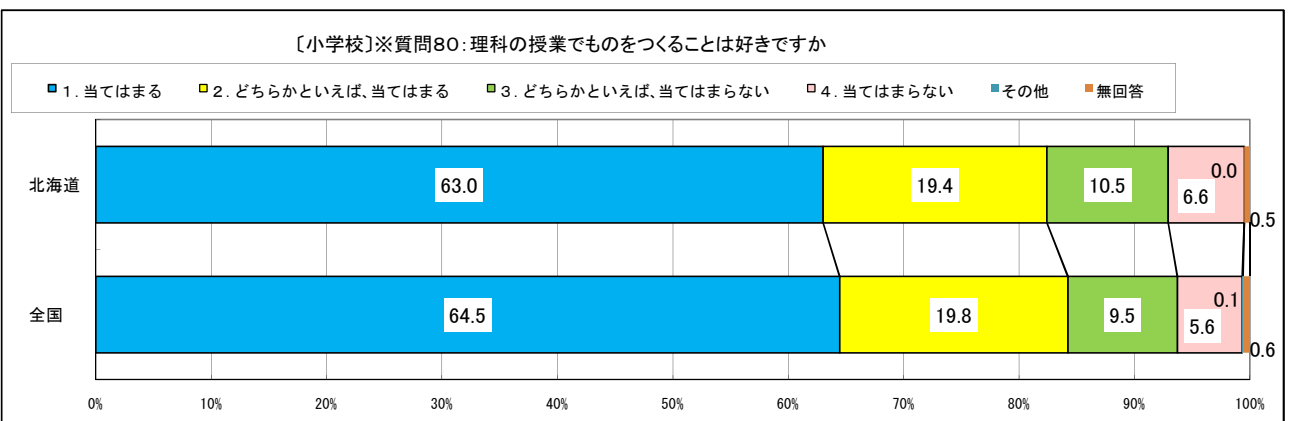
○ 理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えていると回答している児童生徒の割合は、全国と比べて、小学校調査で0.4ポイント低く、中学校調査で1.9ポイント高い。



○ 理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方がまちがっていないかをふり返って考えている児童生徒の割合は、全国と比べて、小学校調査で2.8ポイント低く、中学校調査で2.2ポイント高い。



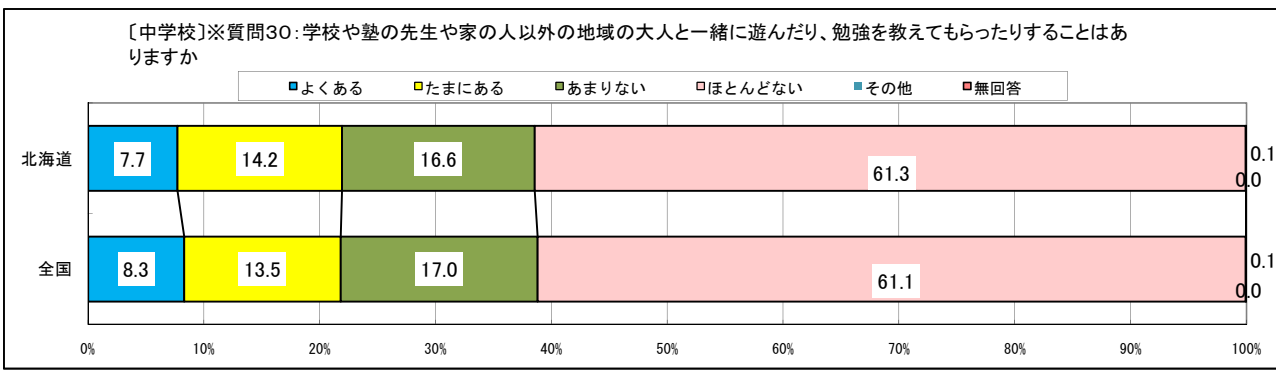
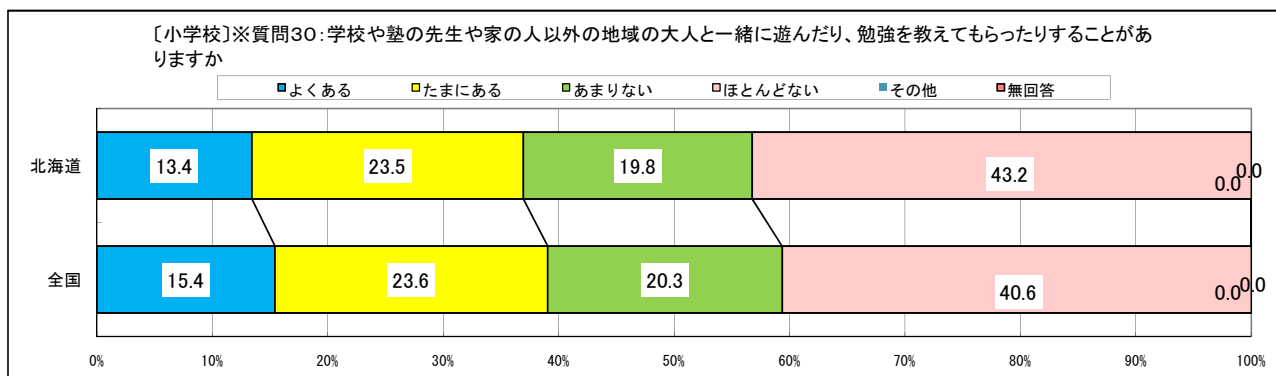
○ 理科の授業でものをつくることは好きと回答している児童生徒の割合は、全国と比べて、小学校調査で1.9ポイント低く、中学校調査で0.4ポイント高い。



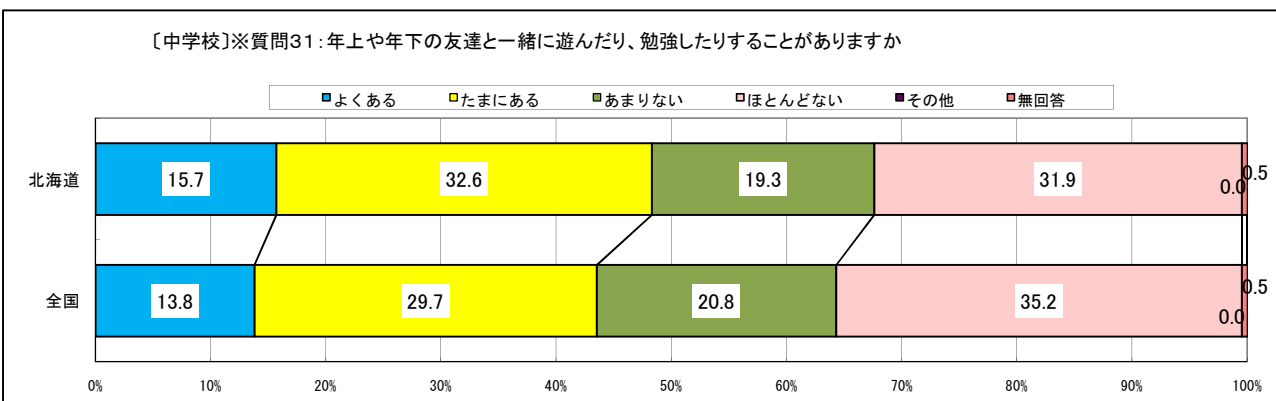
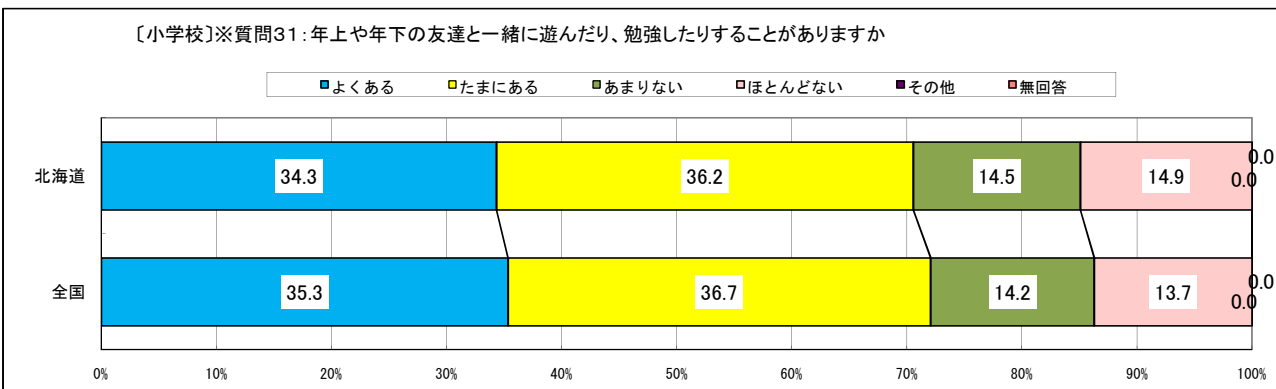
理科関連以外の新規項目【児童生徒質問紙】

<地域や異年齢との交流>

○ 学校や塾の先生や家の人以外の地域の大人と一緒に遊んだり、勉強を教えてもらったりすることがある児童生徒の割合は、全国と比べて、小学校調査において、2.1ポイント低く、中学校調査において、0.1ポイント高い。



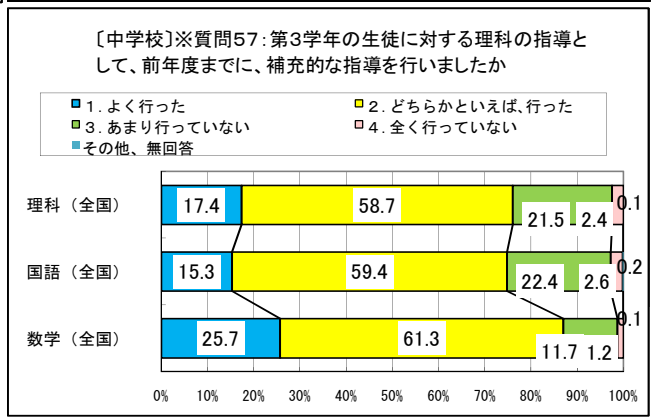
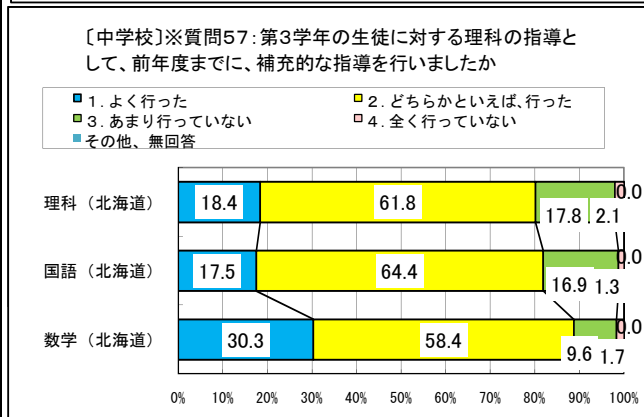
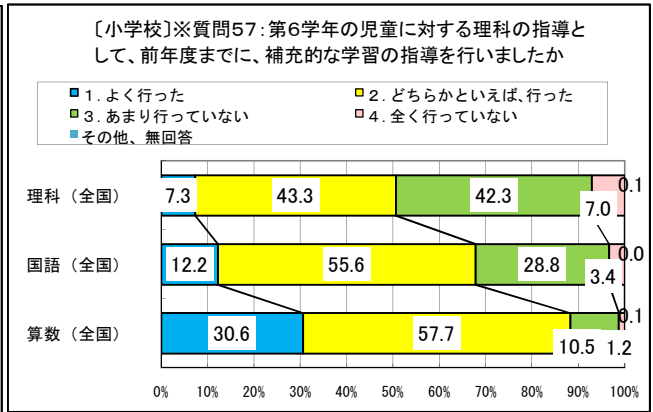
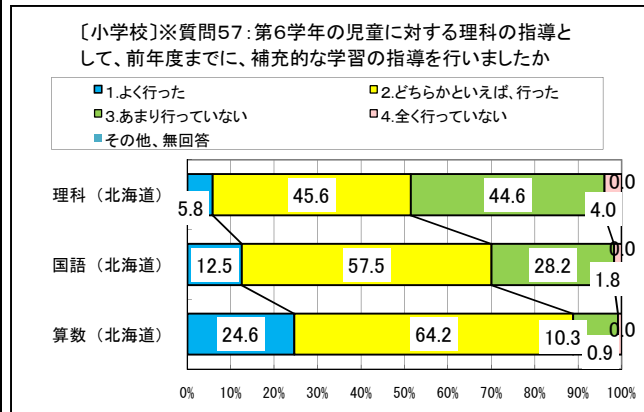
○ 年上や年下の友達と一緒に遊んだり、勉強したりすることがある児童(生徒)の割合は、全国と比べて、小学校調査において1.5ポイント低く、中学校調査において、4.8ポイント高い。



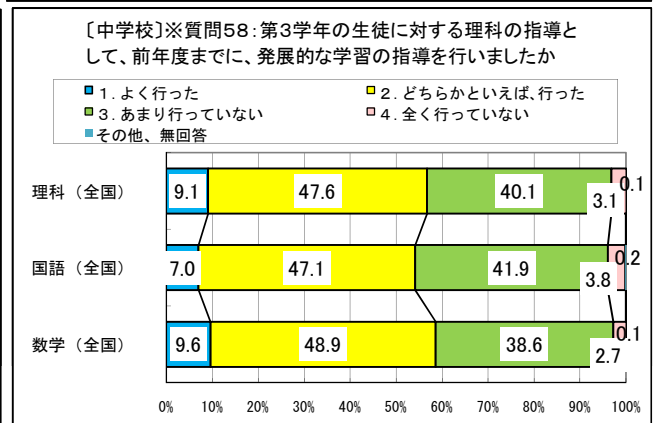
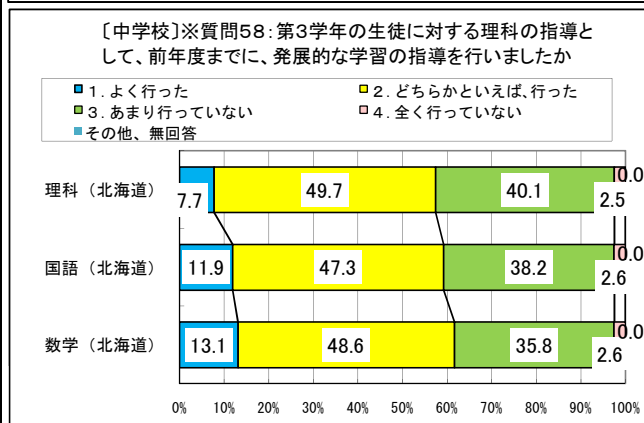
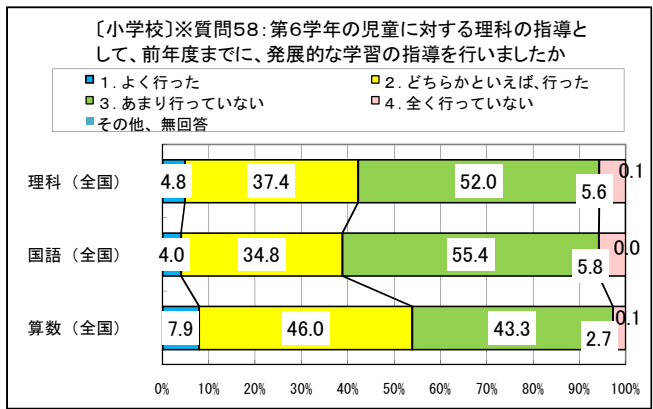
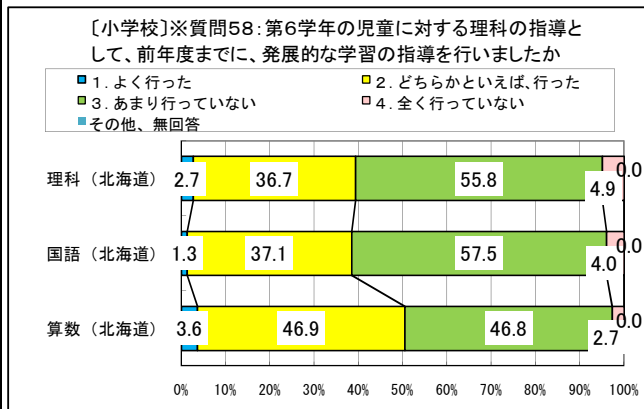
理科関連の新規項目【学校質問紙】

<指導方法>

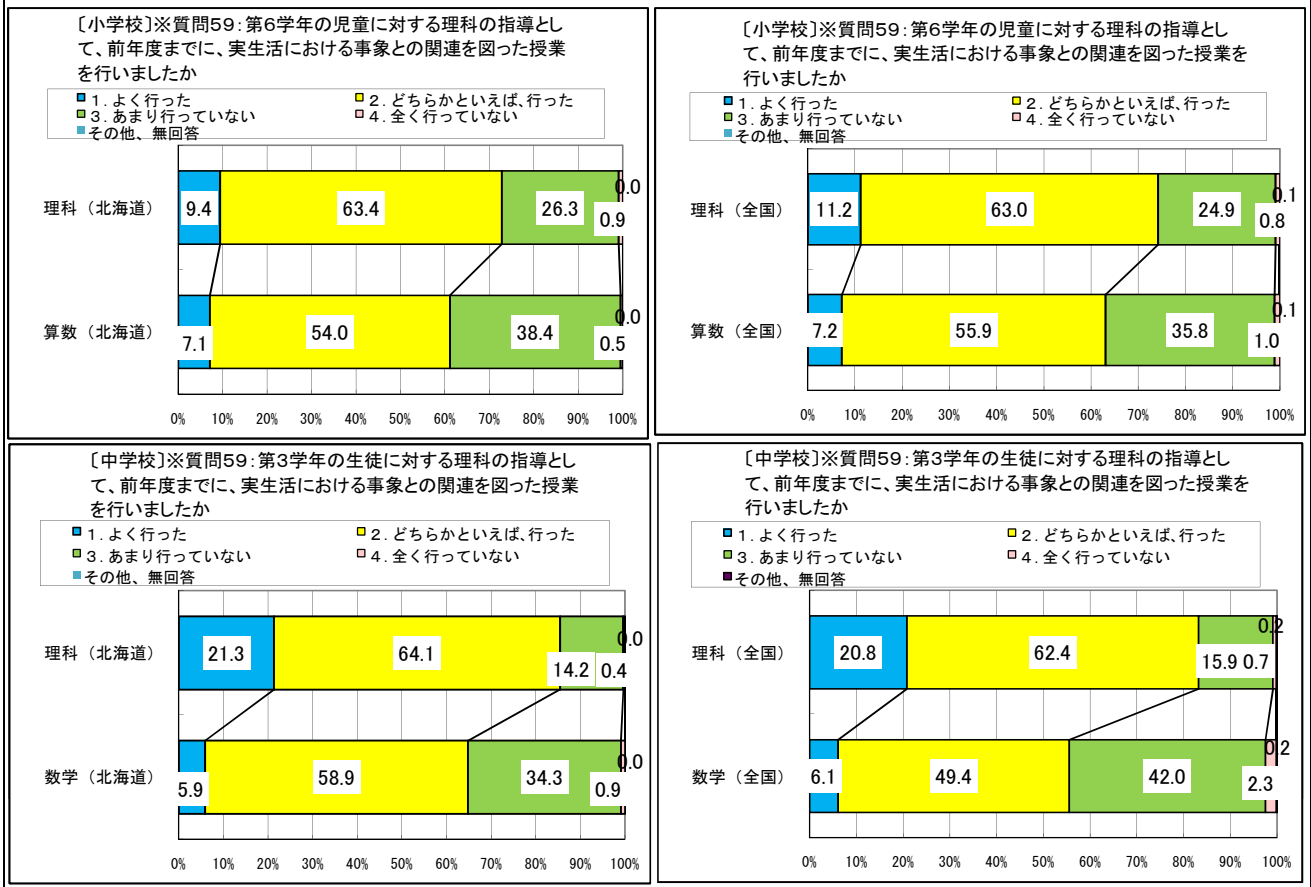
○ 第6学年(第3学年)の児童(生徒)に対する理科の指導として、前年度までに、補的な学習の指導を行った学校の割合は、全国と比べて、小学校調査で0.8ポイント高く、中学校調査で4.1ポイント高い。全道の国語の補的な学習と比べて小学校調査において、18.6ポイント低く、中学校調査において、1.7ポイント低い。全道の算数・数学の補的な学習と比べて小学校調査において、37.4ポイント低く、中学校調査において、8.5ポイント低い。



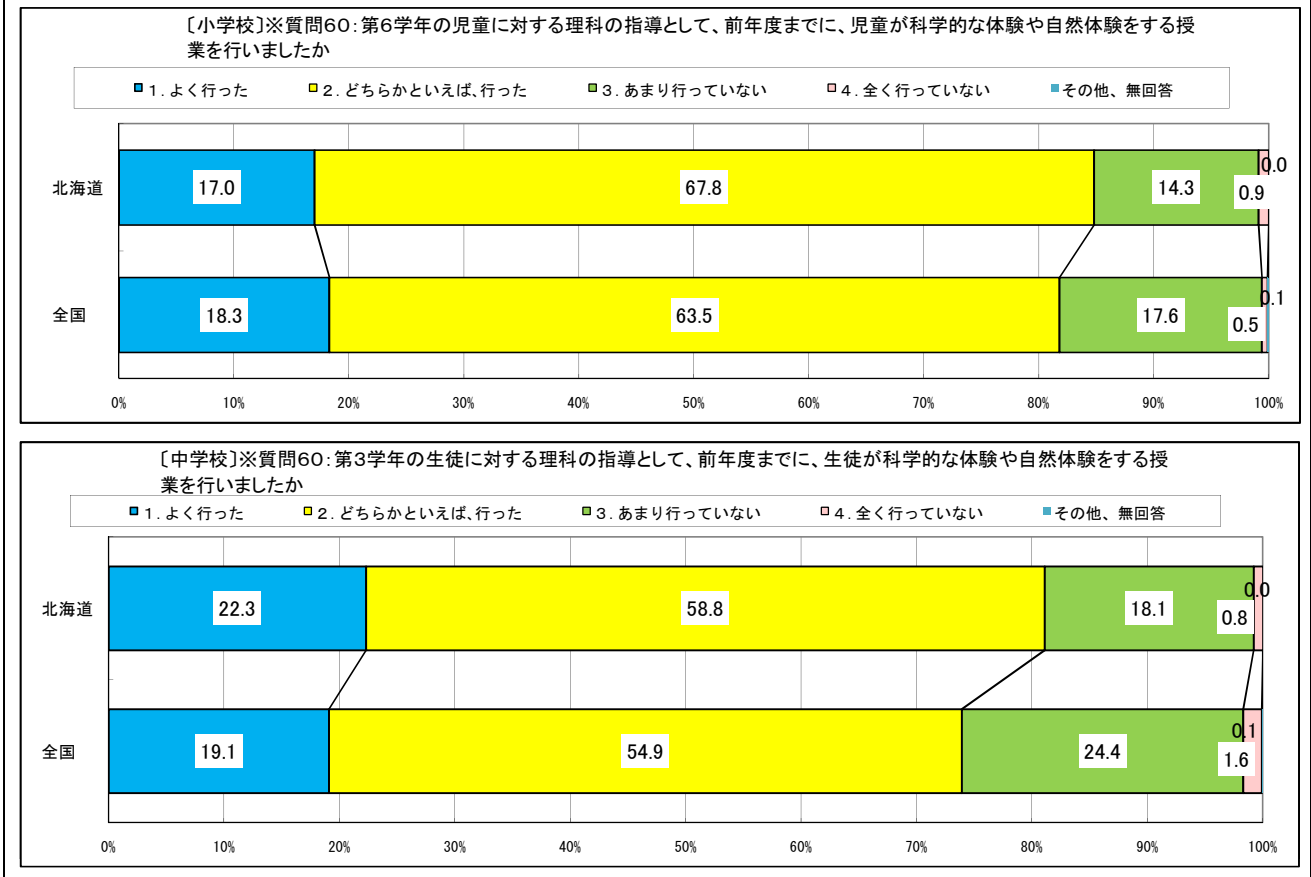
○ 第6学年(第3学年)の児童(生徒)に対する理科の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行った学校の割合は、全国と比べて、小学校調査で2.8ポイント低く、中学校調査で0.7ポイント高い。全道の国語の発展的な学習と比べて小学校調査において、1.0ポイント高く、中学校調査において、1.8ポイント低い。全道の算数・数学の発展的な学習と比べて小学校調査において、11.1ポイント低く、中学校調査において、4.3ポイント低い。



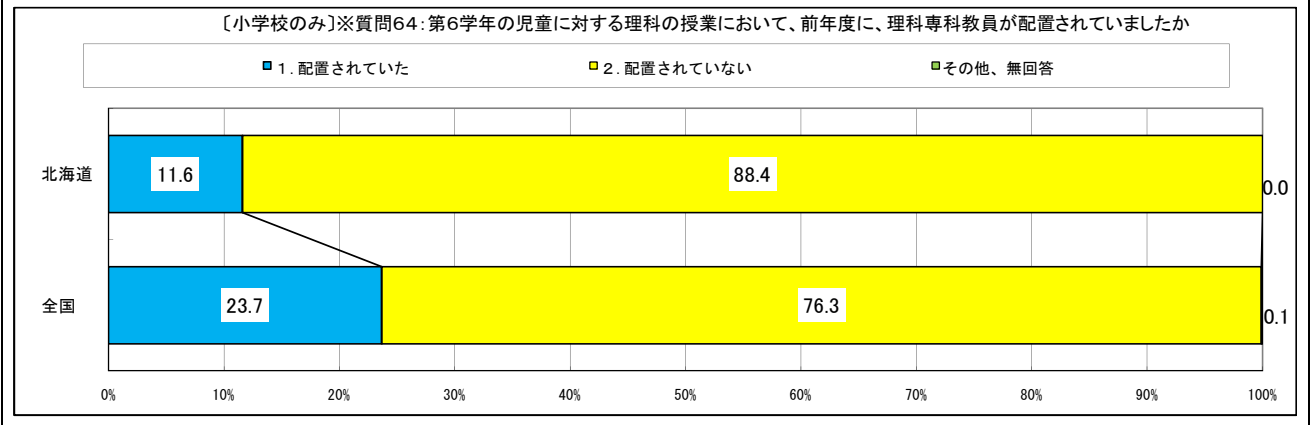
○ 第6学年(第3学年)の児童(生徒)に対する理科の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行った学校の割合は、全国と比べて、小学校調査で1.4ポイント低く、中学校調査で2.2ポイント高い。全道の算数・数学の実生活との関連を図った授業と比べて小学校調査において、11.7ポイント高く、中学校調査において、20.6ポイント高い。



○ 第6学年(第3学年)の児童(生徒)に対する理科の指導として、前年度までに、児童(生徒)が科学的な体験や自然体験をする授業を行った学校の割合は、全国と比べて、小学校調査で3.0ポイント高く、中学校調査で7.1ポイント高い。

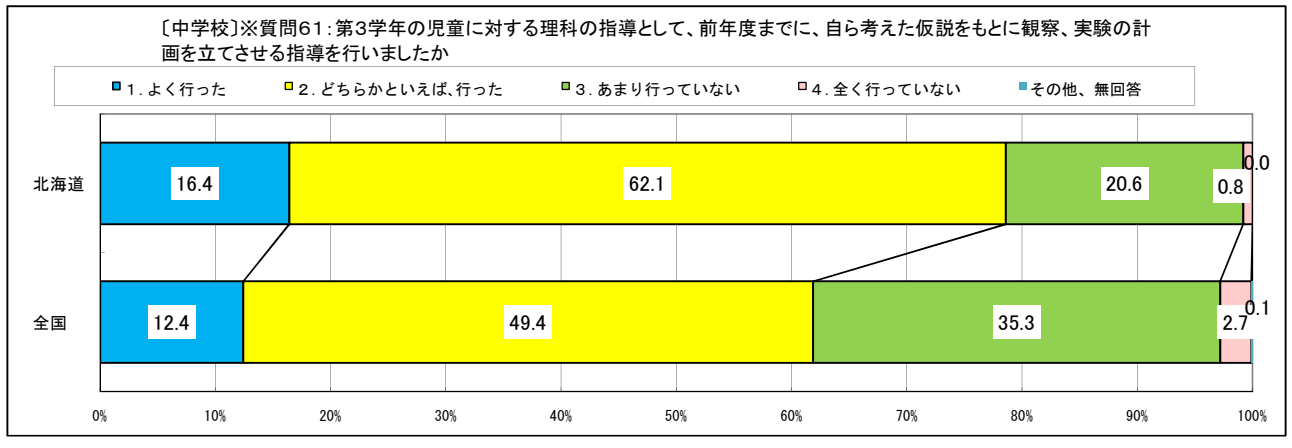
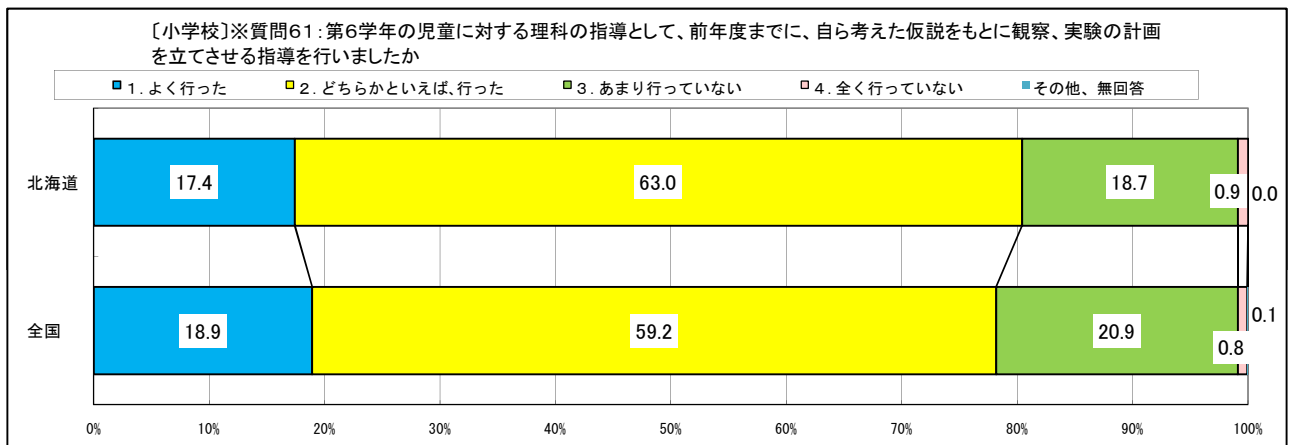


○ 第6学年の児童に対する理科の授業において、前年度に、理科専科教員が配置されていた学校の割合は、全国と比べて、12.1ポイント低い。

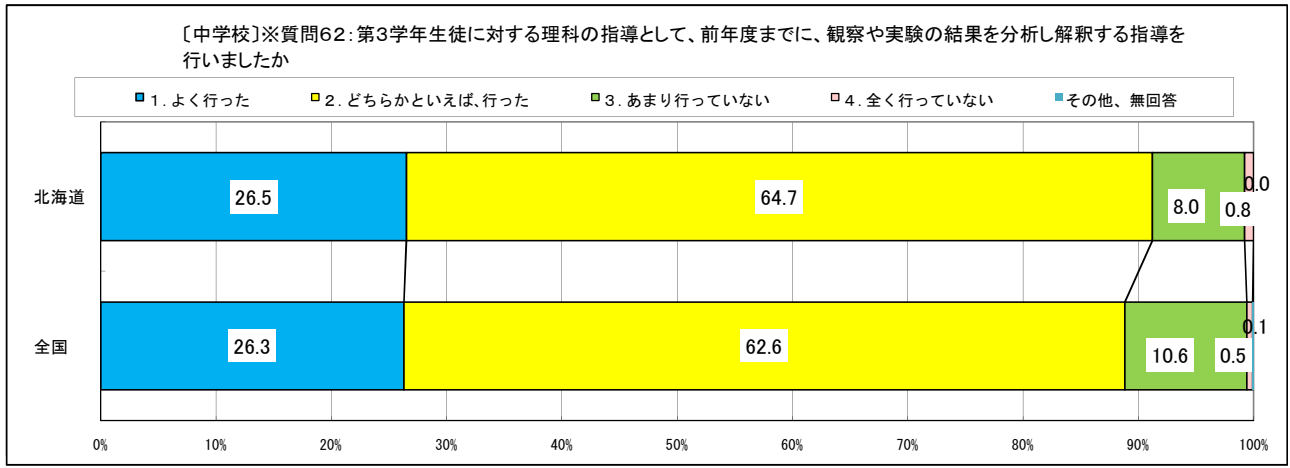
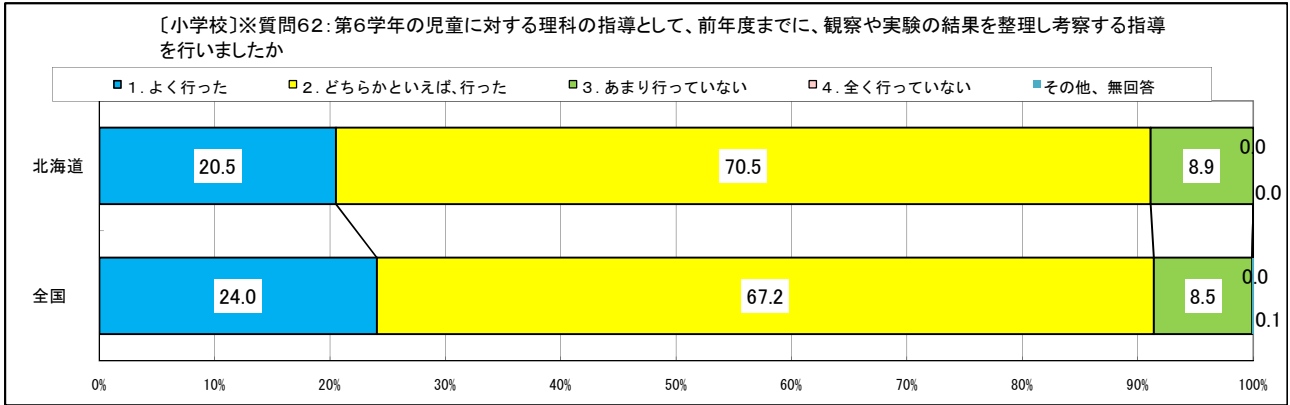


<観察・実験>

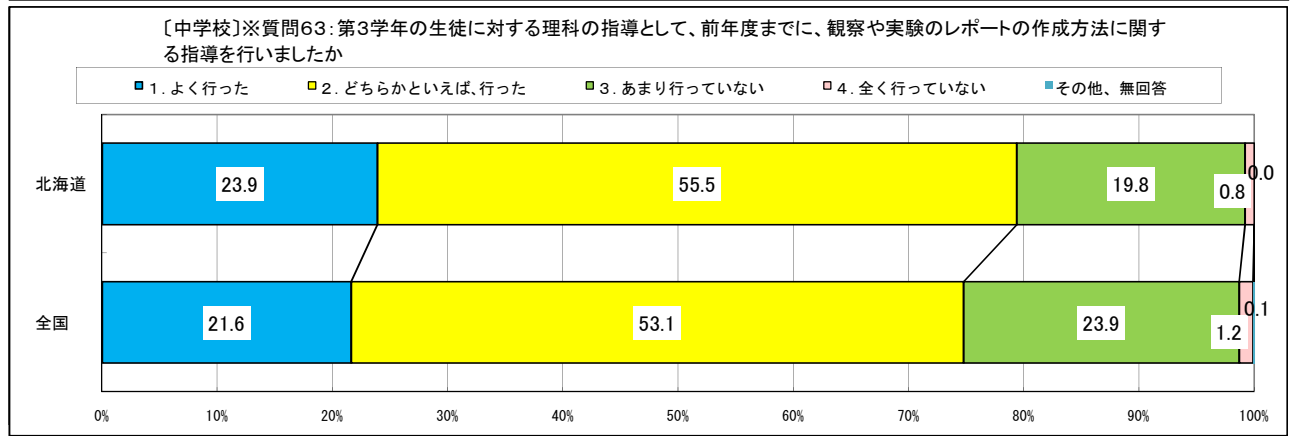
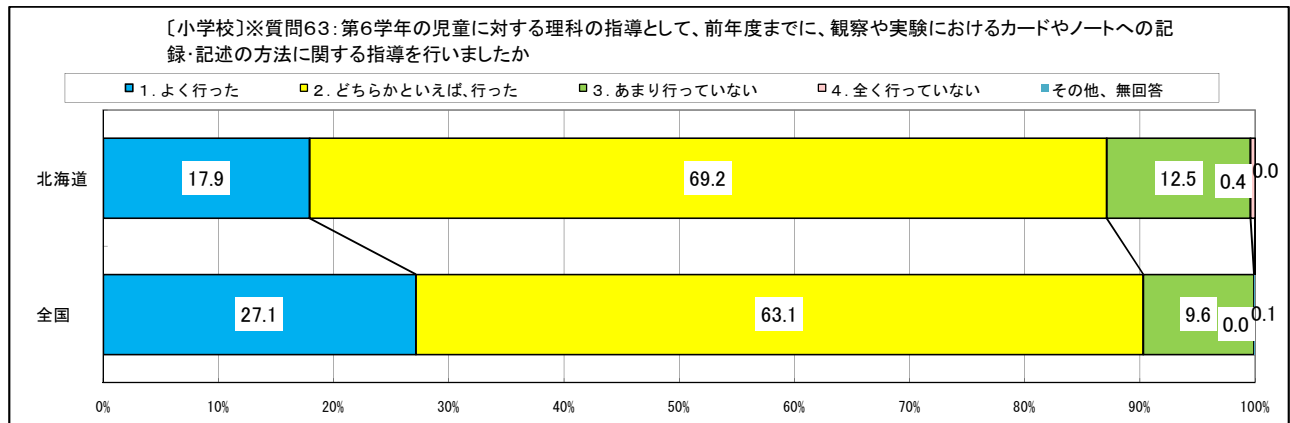
○ 第6学年(第3学年)の児童(生徒)に対する理科の指導として、前年度までに、自ら考えた仮説をもとに観察、実験の計画を立てさせる指導を行った学校の割合は、全国と比べて、小学校調査で2.3ポイント高く、中学校調査で16.7ポイント高い。



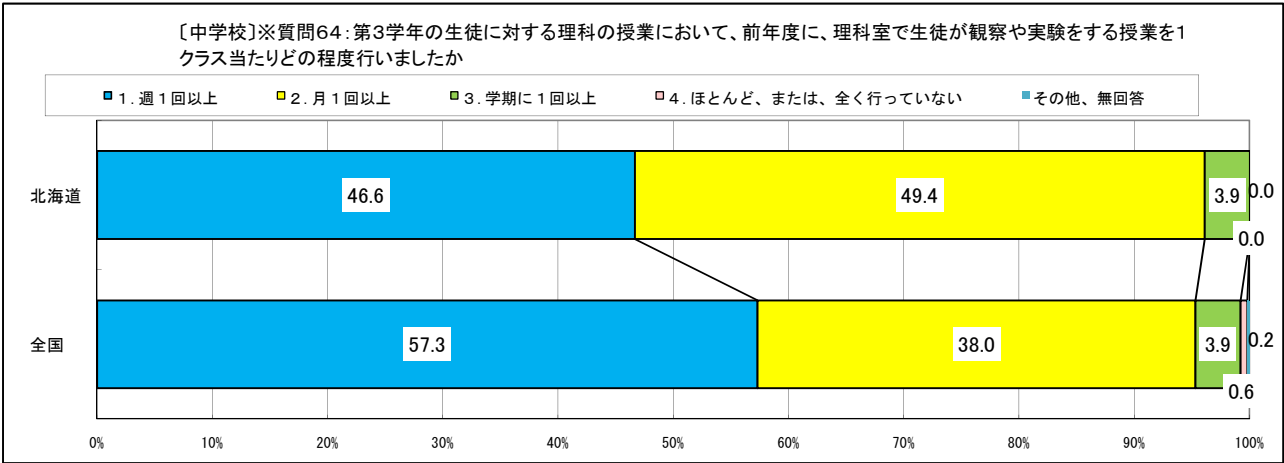
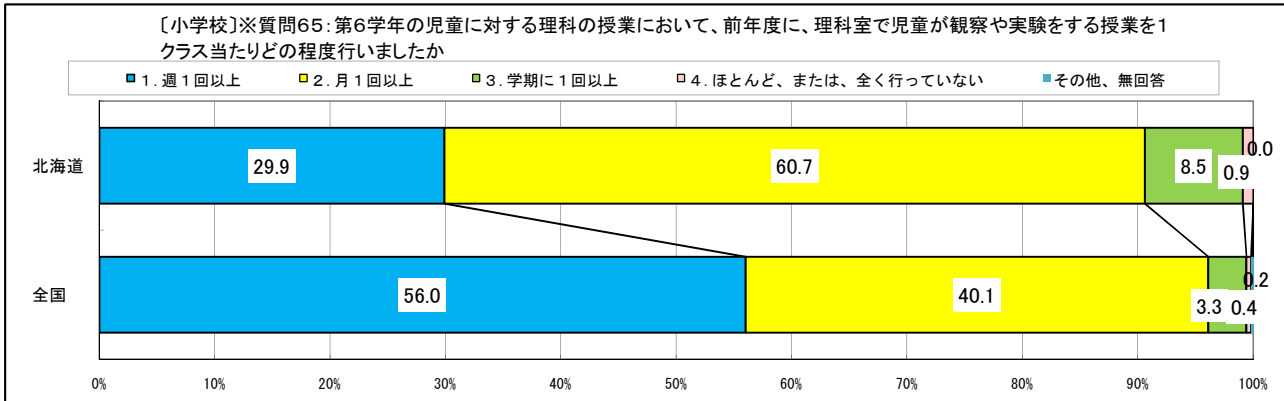
○ 第6学年(第3学年)の児童(生徒)に対する理科の指導として、前年度までに、観察や実験の結果を整理し考察する指導を行った学校の割合は、全国と比べて、小学校調査で0.2ポイント低く、中学校調査で2.3ポイント高い。



○ 第6学年(第3学年)の児童(生徒)に対する理科の指導として、前年度までに、観察や実験におけるカードやノートへの記録・記述の方法に関する指導を行った学校の割合は、全国と比べて、小学校調査で3.1ポイント低く、中学校調査で4.7ポイント高い。

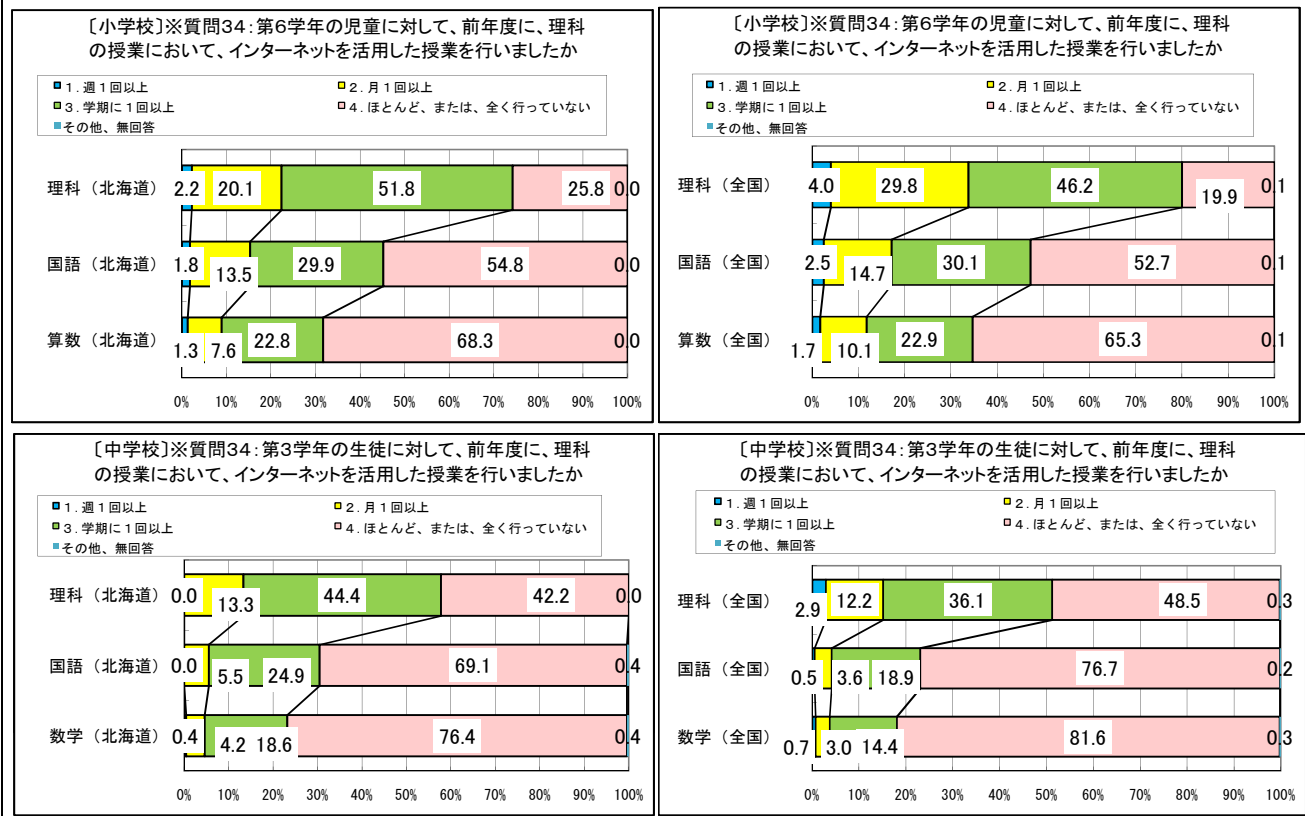


○ 第6学年(第3学年)の児童(生徒)に対する理科の授業において、前年度に、理科室で児童(生徒)が観察や実験をする授業を行った学校(1クラス当たり)の割合は、全国と比べて、小学校調査で0.3ポイント低く、中学校調査で0.7ポイント高い。

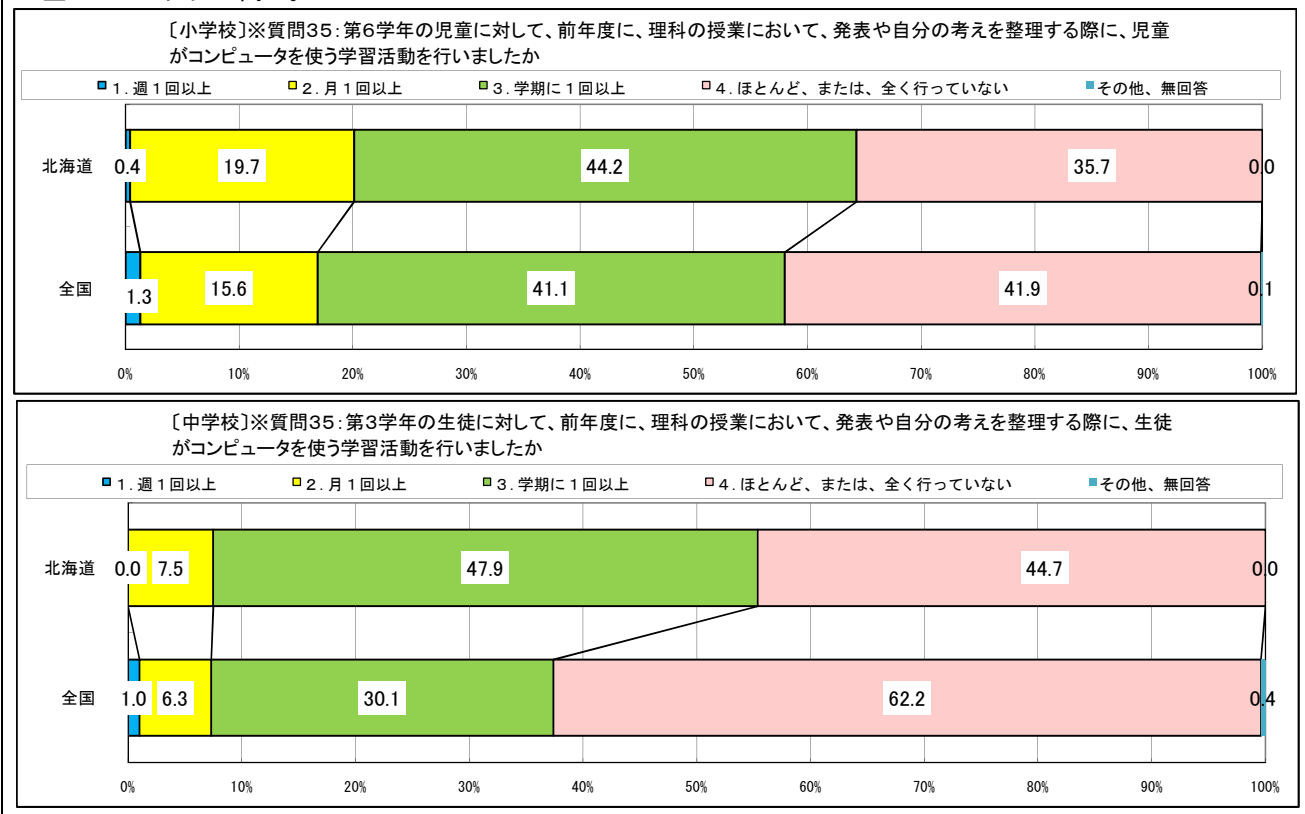


<コンピュータなどを活用した教育>

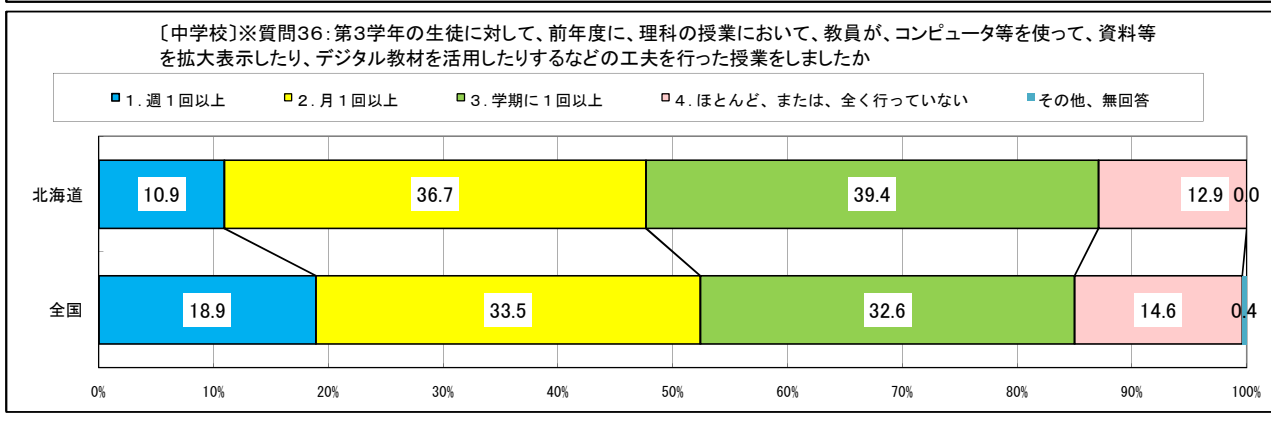
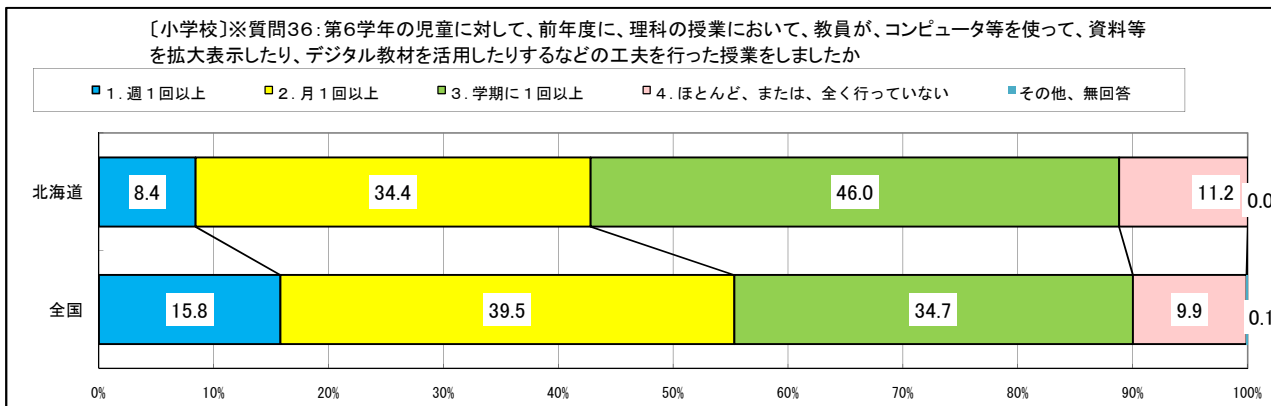
○ 第6学年(第3学年)の児童(生徒)に対して、前年度に、理科の授業において、インターネットを活用した授業を行った学校の割合は、全国と比べて、小学校調査で5.9ポイント低く、中学校調査で6.5ポイント高い。全道の国語のインターネットを活用した授業と比べて小学校調査において、28.9ポイント高く、中学校調査において、27.3ポイント高い。全道の算数・数学のインターネットを活用した授業と比べて小学校調査において、42.4ポイント高く、中学校調査において、34.5ポイント高い。



○ 第6学年(第3学年)の児童(生徒)に対して、前年度に、理科の授業において、発表や自分の考えを整理する際に、児童(生徒)がコンピュータを使う学習活動を行った学校の割合は、全国と比べて、小学校調査で6.3ポイント高い、中学校調査で18.0ポイント高い。

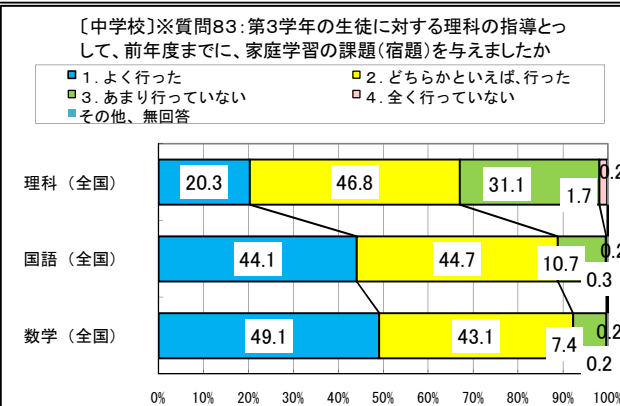
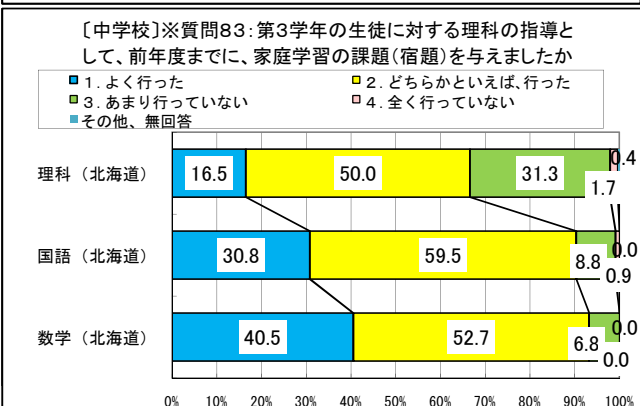
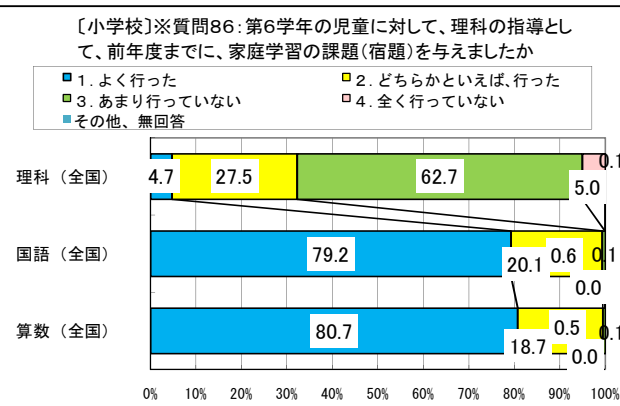
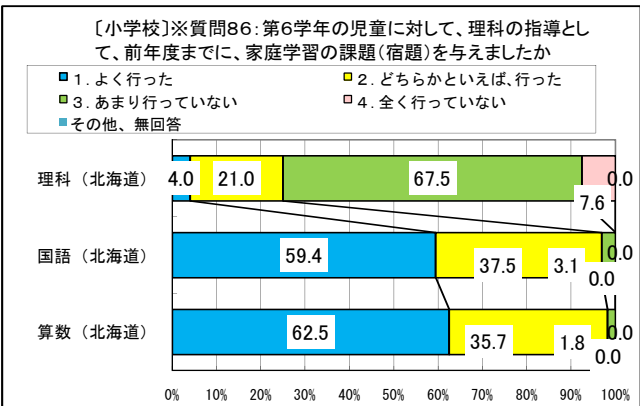


○ 第6学年(第3学年)の児童(生徒)に対して、前年度に、理科の授業において、教員が、コンピュータ等を使って、資料等を拡大表示したり、デジタル教材を活用したりするなどの工夫を行った授業を行った学校の割合は、全国と比べて、小学校調査で1.2ポイント低く、中学校調査で2.0ポイント高い。

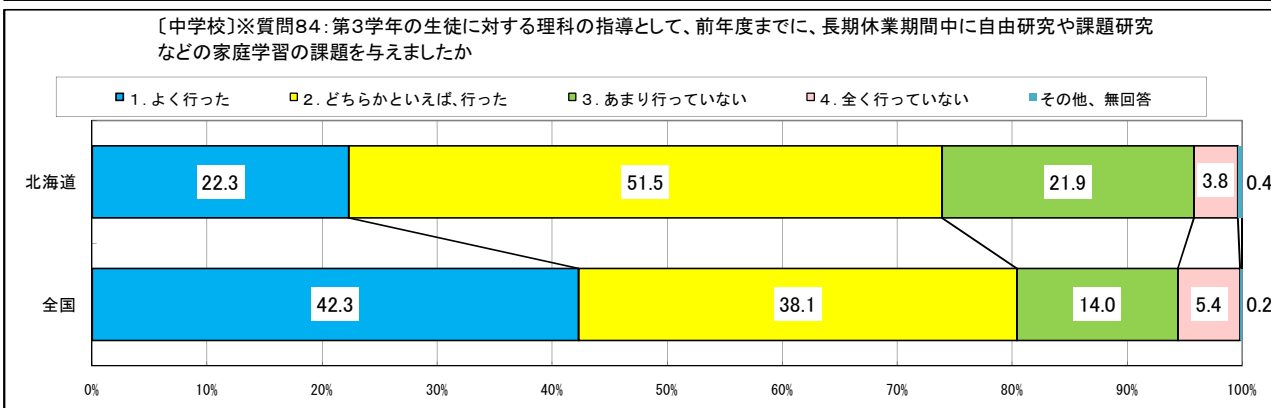
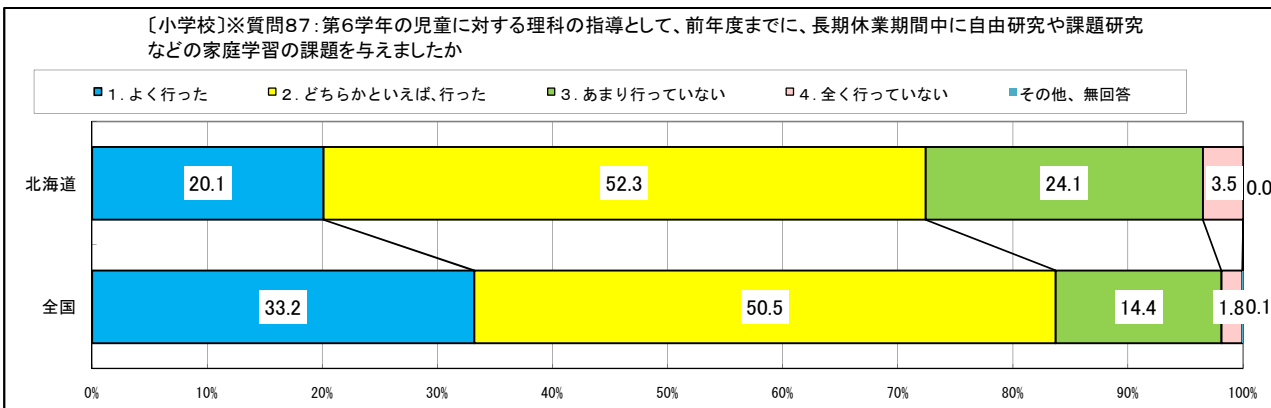


<家庭学習の課題(宿題)>

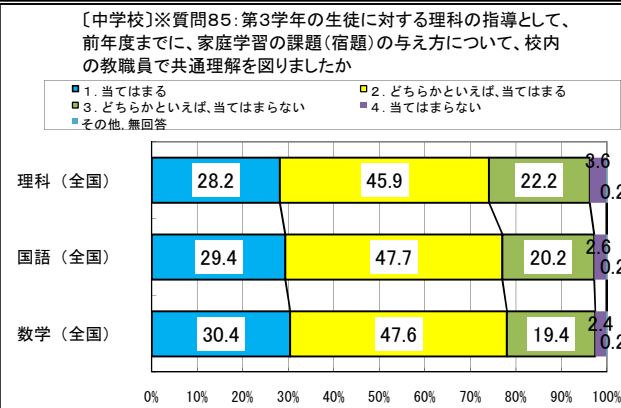
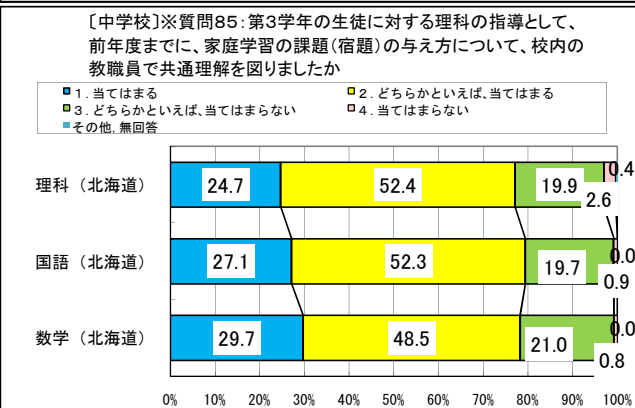
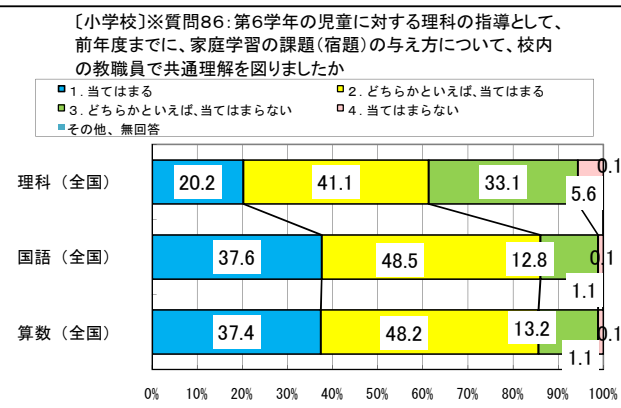
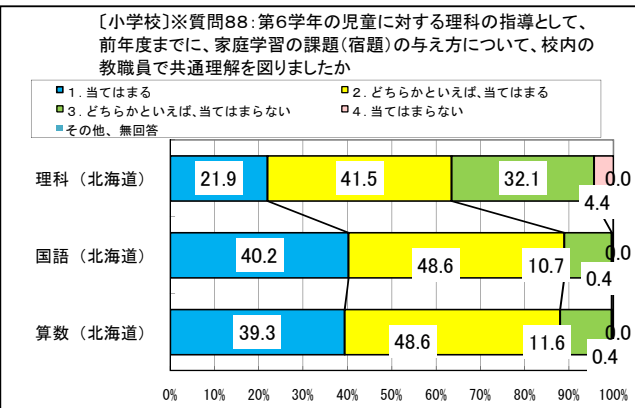
○ 第6学年(第3学年)の児童(生徒)に対する理科の指導として、前年度までに、家庭学習の課題(宿題)を与えた学校の割合は、全国と比べて、小学校調査で7.2ポイント低く、中学校調査で0.6ポイント低い。全道の国語の家庭学習の課題を与えた学校と比べて小学校調査において、71.9ポイント低く、中学校調査において、23.8ポイント低い。全道の算数・数学の家庭学習の課題を与えた学校と比べて、小学校調査において、73.2ポイント低く、中学校調査において、26.7ポイント低い。



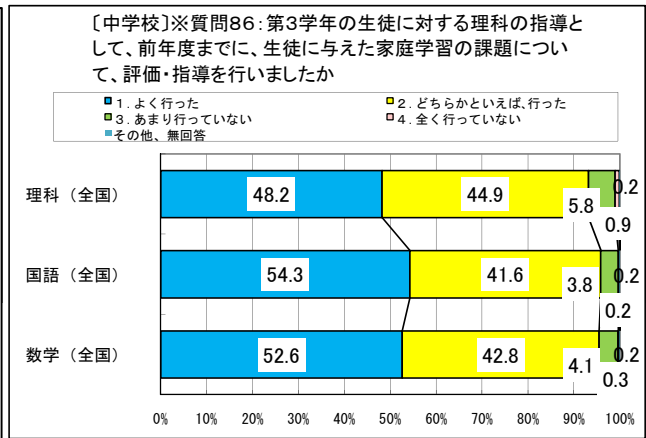
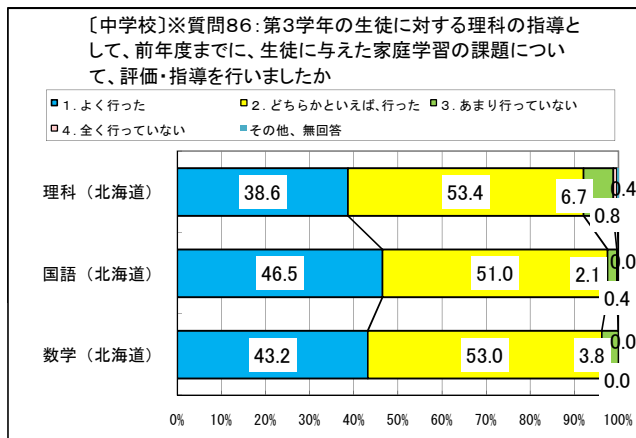
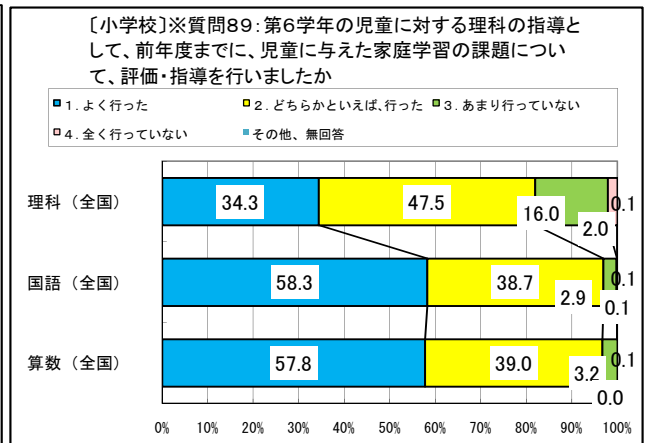
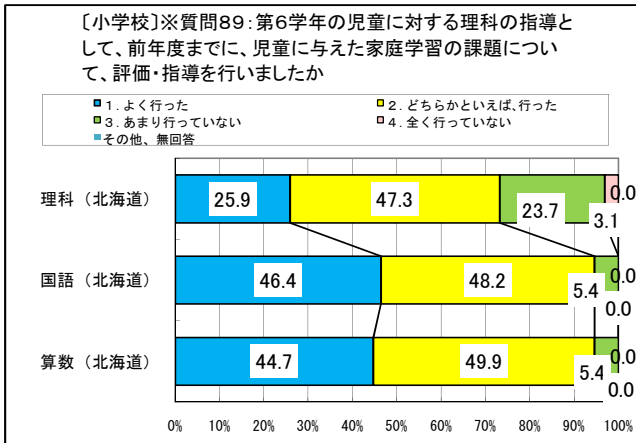
○ 第6学年(第3学年)の児童(生徒)に対する理科の指導として、前年度までに、長期休業期間中に自由研究や課題研究などの家庭学習の課題を与えた学校の割合は、全国と比べて、小学校調査で11.3ポイント低く、中学校調査で6.6ポイント低い



○ 第6学年(第3学年)の児童(生徒)に対する理科の指導として、前年度までに、家庭学習の課題(宿題)の与え方について、校内の教職員で共通理解を図った学校の割合は、全国と比べて、小学校調査で2.1ポイント高く、中学校調査で3.0ポイント高い。全道の国語の家庭学習の課題の与え方について共通理解を図った学校と比べて、小学校調査において、25.4ポイント低く、中学校調査において、2.3ポイント低い。全道の算数・数学の家庭学習の課題の与え方について共通理解を図った学校と比べて、小学校調査において、24.5ポイント低く、中学校調査において、1.1ポイント低い。



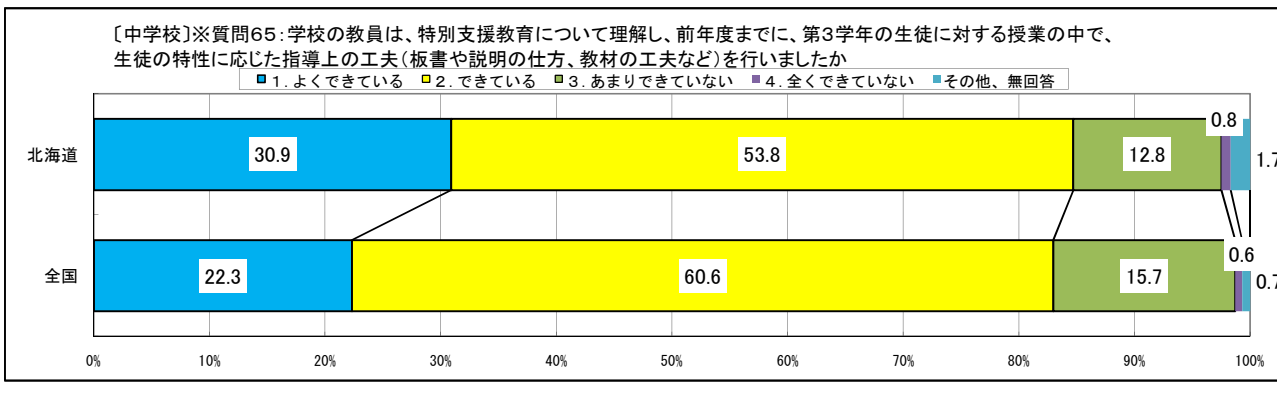
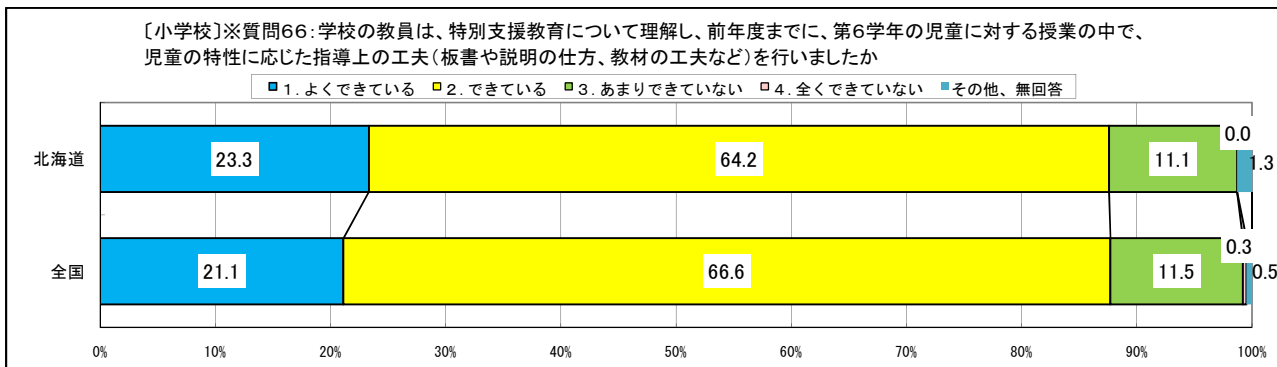
○ 第6学年(第3学年)の児童(生徒)に対する理科の指導として、前年度までに、児童(生徒)に与えた家庭学習の課題について、評価・指導を行った学校の割合は、全国と比べて、小学校調査で8.6ポイント低く、中学校調査で1.1ポイント低い。全道の国語の家庭学習の課題について評価・指導を行った学校と比べて小学校調査において、21.4ポイント低く、中学校調査において、5.5ポイント低い。全道の算数・数学の家庭学習の課題について評価・指導を行った学校と比べて、小学校調査において、21.4ポイント低く、中学校調査において、4.2ポイント低い。



理科関連以外の新規項目【学校質問紙】

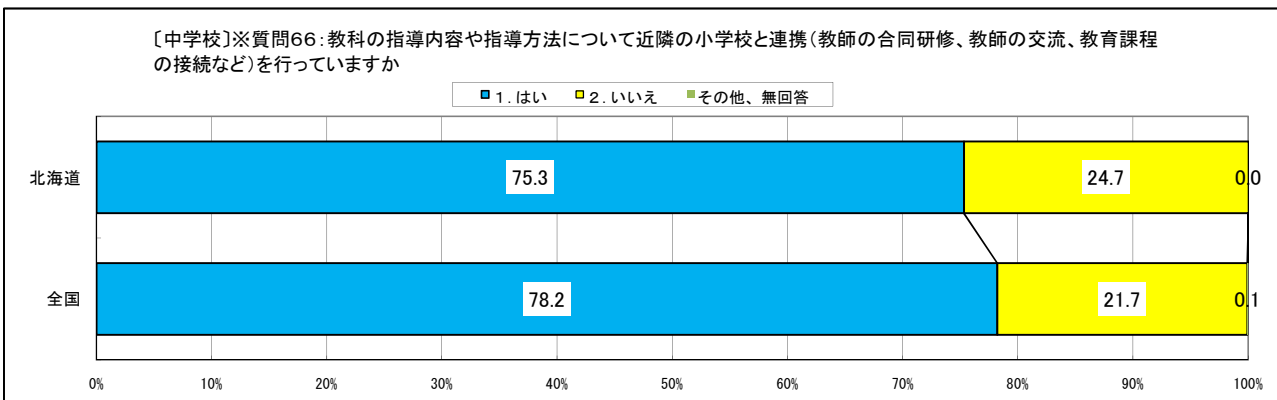
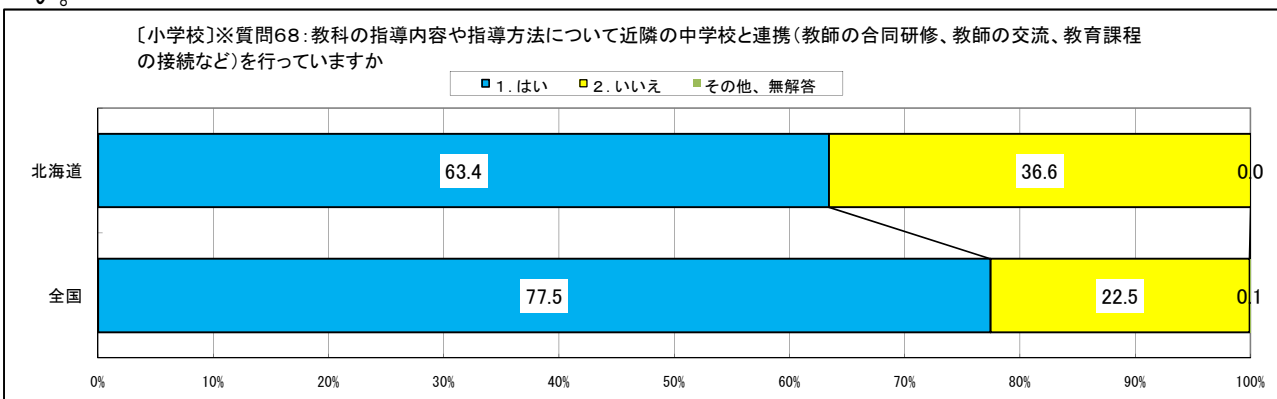
<特別支援教育>

○ 教員が特別支援教育について理解し、前年度までに、第6学年(第3学年)の児童(生徒)に対する授業の中で、児童(生徒)の特性に応じた指導上の工夫(板書や説明の仕方、教材の工夫など)を行った学校の割合は、全国と比べて、小学校調査において、0.2ポイント低く、中学校調査において、1.8ポイント高い。



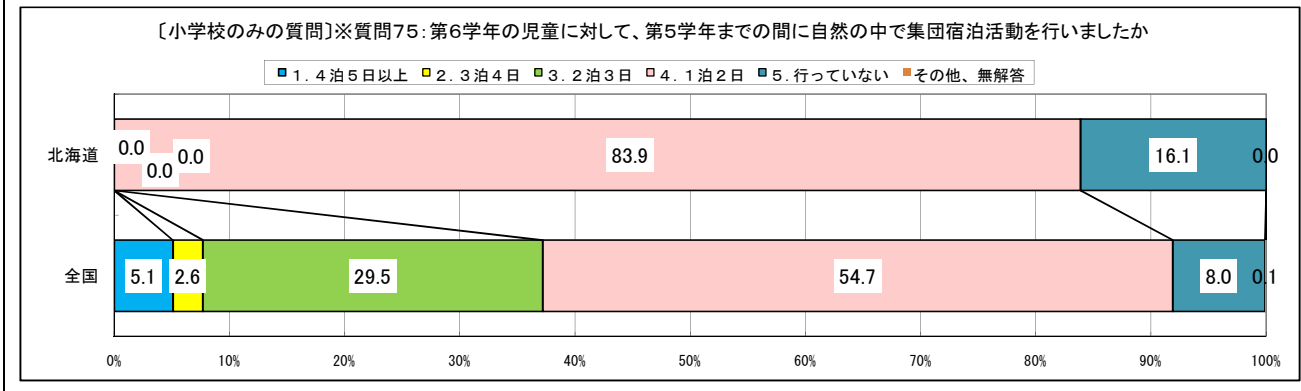
<小学校教育と中学校教育の連携>

○ 教科の指導内容や指導方法について近隣の小(中)学校と連携(教師の合同研修、教師の交流、教育課程の接続など)を行った学校の割合は、全国と比べて、小学校調査において、14.1ポイント低く、中学校調査において、2.9ポイント低い。



<集団宿泊活動>

○ 第6学年の児童に対して、第5学年までの間に自然の中での集団宿泊活動を行った小学校の割合は、全国と比べて、8.0ポイント低い。



知りたいと
思う気持ちが
スタートだ



北海道教育委員会